

平成25年
山梨県観光入込客統計調査報告書

目 次

第1部 観光入込客統計調査	1
1. 調査目的.....	2
2. 調査期間.....	2
3. 調査方法.....	2
4. 調査分析項目.....	3
5. 圏域分類.....	4
6. 用語の定義.....	5
7. 平成25年観光客入込客調査結果の概要.....	7
8. 調査結果.....	8
(1) 平成25年本県観光の概況.....	8
(2) 平成25年圏域別観光入込客数(実人数).....	10
(3) 平成25年市町村別観光入込客数(実人数).....	12
(4) 平成25年宿泊観光客数.....	15
(5) 平成25年観光消費額.....	17
【参考】観光入込客数(延べ人数).....	18
(6) 月別の観光動向.....	24
(7) 圏域別観光の動向.....	28
第2部 観光地点等パラメータ調査による分析	33
1. 調査の概要.....	34
2. 観光客の特性、動態状況の分析.....	35
(1) 本県観光客の全体像.....	35
(2) 属性(性別・年代)別の観光客の特徴.....	66
(3) 圏域別の観光客の特徴.....	70
<アンケート調査票>	81

第 1 部 観光入込客統計調査

1．調査目的

山梨県観光入込客統計調査（以下「本調査」という）は、観光客の旅行ニーズや行動パターンが多様化する中で、本県観光客の実態をよりの確に把握することにより、今後の観光施策や観光関係者の事業展開の基礎資料に供することを目的とする。

2．調査期間

平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日

3．調査方法

（1）調査方法

観光客の実態をよりの確に把握するため、本県では平成 22 年 4 月より観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準及び調査要領」を導入し、観光入込客数や観光消費額について、全国共通の基準により四半期毎に調査集計を行っている。

具体的には、観光地点等入込客数調査（単純集計による延べ人数）、観光客を対象とする観光地点アンケート（パラメータ）調査を実施し、及び の調査結果に、観光庁が実施する他の統計調査の結果を用いて統計量を補正し、観光入込客の分析を行った。

なお、調査方法の詳細を巻末に示す。

図表 1 観光入込客調査方法

項目	調査内容
調査対象	・年間入込客数が1万人以上、又は特定月で5千人以上の観光地点を集計する。（集計対象は前年実績により毎年当初に判定。）
調査方法	・全観光地点を市町村経由で照会
調査地点数	・平成25年調査対象地点443箇所、集計対象地点392箇所

（2）集計方法の留意点

観光入込客実人数の算定では、イベント・行祭事を含めていない。

また、各統計数値は、端数処理をしているため表中の合計値と個々の数値の合計が一致しないことがある。

4 . 調査分析項目

調査分析項目は以下のとおりである。

図表2 調査分析項目

項目	分析内容
観光客数	実人数、延べ人数（月別、圏域別、市町村別、外国人）
宿泊客数	実人数（月別、圏域別、外国人）
観光消費額	県内総消費額 1人あたり消費額（実人数ベース） 県外・県内宿泊客消費額 県外・県内日帰り客消費額 消費額内訳
観光動態	居住地 性別 年齢 日帰り・宿泊の別 平均訪問観光地点数（県外・県内） 平均宿泊数（県外・県内） 旅行目的 同行者数、グループ形態 利用交通手段 観光情報入手手段 観光消費の実態 観光地の満足度 自由意見 等

6 . 用語の定義

(1) 観光

余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動をいう。

(2) ビジネス目的兼観光

旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。

(3) 観光地点

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としないこととする。

(4) 行祭事・イベント

行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。

(5) 観光入込客

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者とする。本基準では、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。

(6) 訪日外国人客

観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を訪日外国人客とする。

(7) 観光地点等入込客数 (延べ人数)

観光地点及び行祭事・イベント (以下「観光地点等」という。) ごとの観光入込客の総数をいう。

(8) 観光入込客数 (実人数)

県内の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数えることとなる。この実人数は、観光地点パラメータ調査で把握された観光入込客の平均訪問地点数で、延べ人

数を除することで求められる。

(9) 訪問地点数

観光入込客 1 人の 1 回の旅行において県内で訪問した観光地点の数をいう。

(10) 観光消費額単価

観光入込客 1 人の 1 回の旅行における県内での観光消費額をいう。

(11) 観光消費額

本県を訪れた観光入込客の消費の総額をいう。観光入込客数(実人数)と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

7. 平成 25 年観光客入込客調査結果の概要

(1) 観光入込客

観光客実人数	29,678 千人 (前年(27,351 千人)比 108.5%)
観光客延人数	43,515 千人 (前年(42,946 千人)比 101.3%)
平均訪問観光地点数	1.3 地点 (前年 1.5 地点)

観光客実人数はイベント・行祭事を除き算定 (5 ページ 6(8)参照)
観光客延人数はイベント・行祭事を含み算定 (5 ページ 6(7)参照)

(2) 日帰り・宿泊別観光入込客

日帰り客実人数	23,157 千人 (前年(21,134 千人)比 109.6%)
宿泊客実人数	6,521 千人 (前年(6,217 千人)比 104.9%)

(3) 居住地別観光入込客

県外客実人数	22,120 千人 (前年(20,350 千人)比 108.7%)
県内客実人数	7,558 千人 (前年(7,001 千人)比 108.0%)

(4) 訪日外国人客

延べ宿泊者数	483 千人 (前年(359 千人)比 134.5%)
--------	-----------------------------

本項目は観光庁宿泊旅行統計調査の数字を比較。

(5) 目的別観光入込客 (延べ人数)

自然	6,091 千人 (前年(5,323 千人)比 114.4%)
歴史・文化	8,855 千人 (前年(8,853 千人)比 100.0%)
温泉・健康	6,025 千人 (前年(6,113 千人)比 98.5%)
スポ・レク	9,376 千人 (前年(9,327 千人)比 100.5%)
都市型観光	4,269 千人 (前年(4,473 千人)比 95.4%)
行祭事・イベント	3,605 千人 (前年(3,592 千人)比 100.4%)
その他	5,294 千人 (前年(5,265 千人)比 100.6%)

本項目は観光地点等から報告のあった観光入込客数の単純集計結果による。

(6) 季節別観光入込客

春(3~5月)	7,240 千人 (前年(6,403 千人)比 113.1%)
夏(6~8月)	9,550 千人 (前年(9,334 千人)比 102.3%)
秋(9~11月)	7,972 千人 (前年(7,585 千人)比 105.1%)
冬(1~2月、12月)	4,916 千人 (前年(4,029 千人)比 122.0%)

(7) 観光消費額

観光消費額	3,643 億円 (前年(3,312 億円)比 110.0%)
1人当たり平均消費額	12,274 円 (前年(12,109 円)比 101.4%)

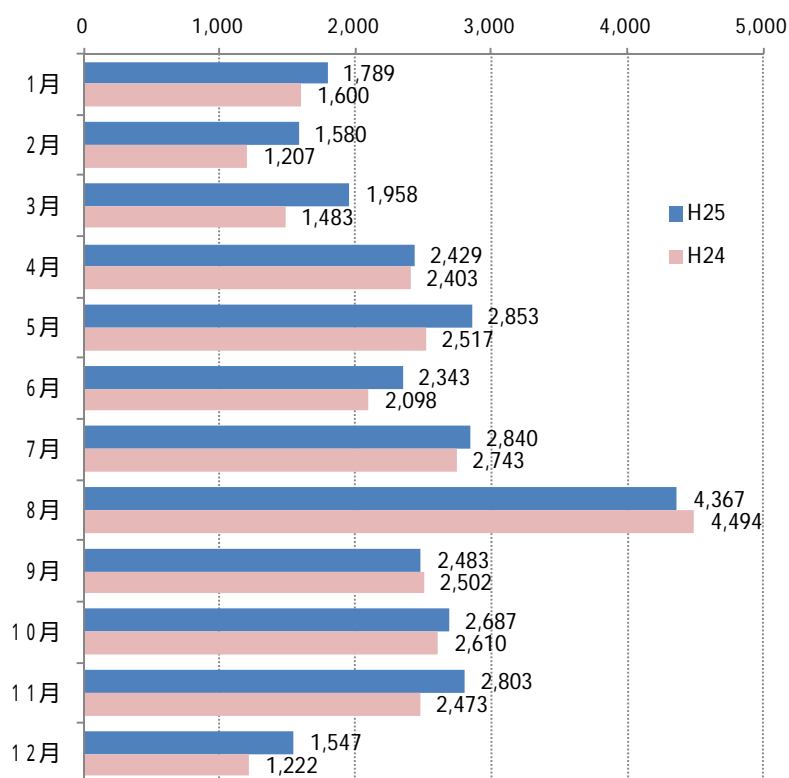
8. 調査結果

(1) 平成25年本県観光の概況

平成25年の山梨県における観光入込客数は、実人数で2,968万人と推計され、前年(2,735万人)から8.5%の増加となった。(図表5)月別の観光入込客(実人数)では、8月が437万人(構成比14.7%)と最も多く、次いで5月の285万人(同9.6%)となっている。

図表5 月別観光入込客(実人数)

項目	平成25年		平成24年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
1月	1,789,395	6.0%	1,599,975	5.8%	111.8%
2月	1,580,109	5.3%	1,206,782	4.4%	130.9%
3月	1,957,557	6.6%	1,483,243	5.4%	132.0%
4月	2,429,422	8.2%	2,402,975	8.8%	101.1%
5月	2,852,782	9.6%	2,516,816	9.2%	113.3%
6月	2,343,116	7.9%	2,098,208	7.7%	111.7%
7月	2,839,956	9.6%	2,743,076	10.0%	103.5%
8月	4,366,908	14.7%	4,493,550	16.4%	97.2%
9月	2,483,176	8.4%	2,502,374	9.1%	99.2%
10月	2,686,868	9.1%	2,609,626	9.5%	103.0%
11月	2,802,535	9.4%	2,472,802	9.0%	113.3%
12月	1,546,613	5.2%	1,221,572	4.5%	126.6%
年計	29,678,438	100.0%	27,351,000	100.0%	108.5%



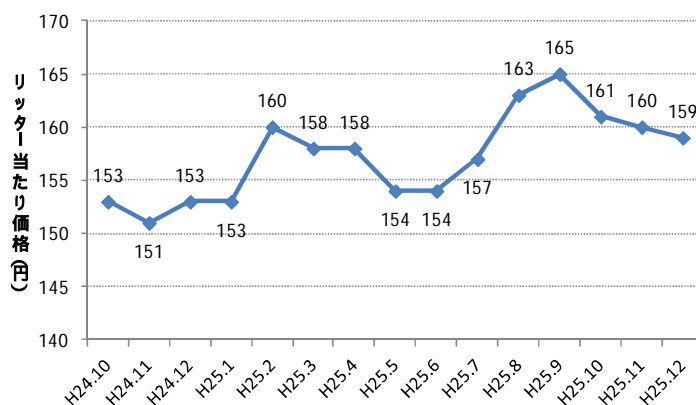
月別の特徴をみると、平成 24 年 12 月に発生した中央自動車道上り線笹子トンネルにおける天井板落下事故に伴って 2 月までは車線規制等が行われていたものの実人数についてはあまり影響は見られず 1 月から 3 月までは前年を上回って推移している。5 月から 7 月にかけては、富士山の世界文化遺産登録の影響が大きく、引き続き堅調に推移した。しかしながら、例年最も入込客数が多くなる 8 月は、甲府市で 40.7 度を記録するなど猛暑日が続き、減少に転じている。9 月も引き続き前年比で減少となったが、ガソリン価格（図表 6）が年内最高水準まで上昇したことも一因として考えられる。10 月及び 11 月については前年伸び悩んだ反動として、また 12 月については笹子トンネル事故の反動として増加している。

景気の上向き傾向がみられ、消費者心理も好転したことに加えて、富士山の世界文化遺産登録決定というイベントが重なり、本県の観光としては堅調な 1 年間であったと考えられる。月別の構成比においても 8 月を中心とした夏季への集中傾向が緩和され、冬季や春季の増加が大きいことは、課題である時期の平準化にプラスとなっている。

一方、夏季の減少は猛暑という特別要因も関係しており、世界遺産登録 2 年目となる平成 26 年以降についても同様の傾向が維持できるかが課題となる。また、第 2 部のパラメータ調査結果にあるように、世界遺産登録により新たに訪れている層がみられ、これらの層をリピーターとして定着させていけるかという点。平均訪問地点数が 1.5 から 1.3 に減少しており、県内を広く周遊するような観光行動に結びつけることができるかという点も、今後の課題となる。

主な出来事	
1月	1/12国民文化祭開幕
2月	2/8中央道が全面復旧(笹子トンネル事故)
3月	
4月	4/30イコモスによる富士山の世界文化遺産への登録勧告
5月	ゴールデンウィークの利用状況(64地点比較)が11.8%増
6月	6/22富士山の世界文化遺産への登録決定
7月	スバルラインの通行規制(8月とあわせて31日間)
8月	8/10甲府市で40.7度を記録
9月	9/4国が南アルプスのエコパーク登録の推薦書を提出
10月	
11月	11/10国民文化祭開幕
12月	

図表 6 レギュラーガソリン価格の推移（総務省「小売物価統計調査」より）



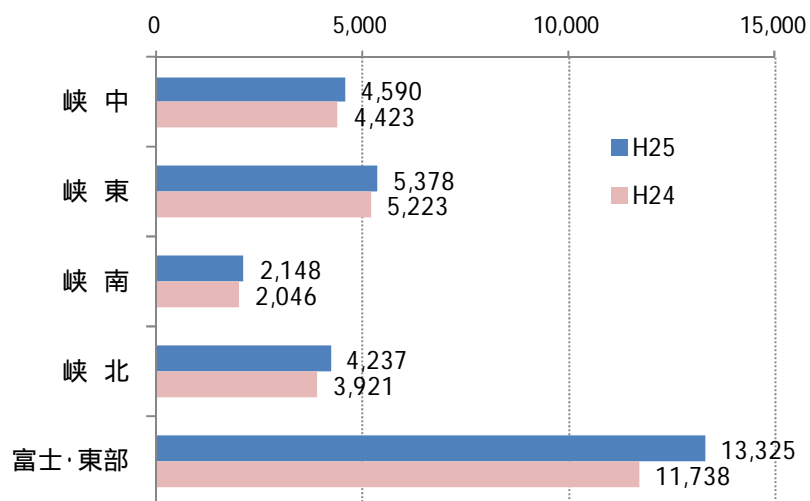
(2) 平成25年圏域別観光入込客数(実人数)

平成25年の観光入込客数を圏域別にまとめると、**図表7**のとおりである。

圏域別では、富士・東部圏域が1,333万人(前年比113.5%)と最も多く、構成比では県内全体の44.9%を占めている。次いで峡東が538万人(前年比103.0%)、峡中が459万人(同103.8%)、峡北が424万人(同108.1%)、峡南が215万人(同105.0%)となっている。前年との比較では、いずれの地域でも増加しているが、富士・東部での増加割合が高く13.5%増加した。峡北が8.1%増で続いているが、富士・東部の構成比が2.0ポイント上昇しており、この圏域への入込客の集中が続いている。

図表7 圏域別観光入込客(実人数)

圏域名	平成25年		平成24年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	4,590,067	15.5%	4,423,447	16.2%	103.8%
峡東	5,378,330	18.1%	5,223,329	19.1%	103.0%
峡南	2,148,210	7.2%	2,045,955	7.5%	105.0%
峡北	4,236,813	14.3%	3,920,661	14.3%	108.1%
富士・東部	13,325,019	44.9%	11,737,608	42.9%	113.5%
年計	29,678,438	100.0%	27,351,000	100.0%	108.5%



なお、平成25年の圏域別観光入込客数を、さらに詳細に、月別・小圏域単位でまとめると、**図表8**のとおりである。

図表8 平成25年観光入込客数 小圏域別・月別一覧表(実人数)

(単位:人、%)

	H25年												H24年		前年比	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計		
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	79,736	33,580	39,190	27,113	37,113	26,368	40,394	30,725	46,991	82,690	25,349	508,334	467,100	108.8%	
	芸術の森・武田神社周辺	134,726	157,176	245,179	225,819	284,952	192,256	234,175	147,762	259,110	246,013	124,096	2,389,786	2,373,968	100.7%	
	広河原・芦安温泉周辺	0	0	0	79	247	356	2,235	1,202	641	171	0	6,489	6,003	108.1%	
	櫛形山・果実郷周辺	10,420	10,180	11,832	24,523	13,556	32,124	23,087	16,181	12,278	13,269	12,187	193,677	176,794	109.5%	
	釜無川沿岸	67,644	183,026	76,769	85,176	67,297	78,456	61,302	58,281	86,865	93,766	63,869	989,463	873,202	113.3%	
峡東圏域	風土記の丘周辺	23,212	27,600	36,627	36,350	64,893	59,062	60,308	35,234	43,503	45,167	27,440	502,319	526,377	95.4%	
	小計	315,738	411,562	409,596	399,061	468,059	347,492	420,306	285,482	450,379	481,848	252,940	4,590,067	4,423,447	103.8%	
	大菩薩・恵林寺周辺	32,881	27,364	48,599	64,519	45,140	41,595	28,347	23,991	30,861	38,186	21,593	439,507	415,479	105.8%	
	勝沼ぶどう郷周辺	44,620	50,470	64,699	91,819	86,480	133,080	133,051	207,402	255,355	250,864	60,516	1,491,818	1,407,314	106.0%	
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	46,162	50,349	64,782	94,246	149,193	179,889	80,034	108,330	126,677	125,508	58,700	1,209,576	1,223,067	98.9%	
峡南圏域	石和温泉・果実郷周辺	187,551	126,721	155,335	284,102	139,206	157,962	209,881	352,546	166,599	184,577	116,058	2,237,428	2,177,466	102.8%	
	小計	311,215	254,903	333,415	514,686	420,019	512,526	451,313	692,270	579,492	454,244	256,866	5,376,330	5,223,329	103.0%	
	身延山・下部温泉周辺	117,149	47,207	112,615	200,119	119,494	92,655	67,256	73,161	56,219	97,616	66,222	1,147,643	1,116,084	102.8%	
	早川周辺	295	379	729	654	9,902	666	1,273	1,967	1,072	811	1,072	397	19,218	13,141	146.2%
	峡南北部	47,243	39,836	50,995	78,415	42,861	42,444	51,417	168,078	36,407	38,901	65,795	701,496	666,255	105.3%	
峡北圏域	峡南南部	19,978	17,271	24,179	29,535	24,364	20,736	17,957	46,061	17,731	20,279	22,734	279,853	250,473	111.7%	
	小計	184,665	104,692	188,518	308,723	196,622	156,501	137,903	289,266	111,429	157,608	187,532	2,148,210	2,045,955	105.0%	
	八ヶ岳高原周辺	156,299	124,459	156,891	182,735	256,900	208,475	264,747	420,506	225,099	251,542	189,012	2,568,880	2,392,597	107.4%	
	金峰・みずがき周辺	7,080	5,929	10,396	16,282	19,484	15,876	17,015	26,641	17,289	21,615	8,604	187,742	179,657	104.5%	
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	51,925	57,559	79,743	118,383	101,502	86,232	102,133	189,638	95,286	111,806	93,827	1,147,579	1,048,451	109.5%	
富士・東部圏域	茅ヶ岳周辺	6,893	5,108	9,543	18,257	23,124	32,359	38,776	131,250	10,221	11,586	20,301	332,611	299,957	110.9%	
	小計	222,197	193,056	256,574	335,657	401,009	342,942	422,670	768,034	347,895	396,549	324,672	4,236,813	3,920,661	108.1%	
	富士山五合目	22,602	23,053	87,435	170,216	225,496	217,129	480,719	501,083	327,273	312,900	218,125	92,502	2,678,531	2,313,140	115.8%
	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	458,810	304,895	386,212	322,466	441,488	425,796	596,222	978,743	418,765	424,045	318,187	5,760,806	5,159,333	111.7%	
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	145,563	135,455	123,049	192,739	440,115	154,656	181,703	320,187	158,013	144,839	157,862	2,247,081	1,845,813	121.7%	
東部圏域	山中湖・忍野周辺	42,403	73,390	42,390	45,182	80,732	46,286	69,578	182,318	80,986	63,380	81,341	906,026	799,648	113.3%	
	大月・北都留	36,099	30,764	47,669	47,612	68,315	56,767	50,543	85,334	63,273	51,517	80,624	663,406	629,734	105.3%	
	桂川・道志川周辺	50,103	48,339	82,700	93,079	110,927	82,909	101,815	129,368	89,270	114,413	56,678	1,069,169	989,940	108.0%	
	小計	755,579	615,896	769,454	871,295	1,367,073	983,543	1,480,578	2,197,032	1,158,878	1,084,952	1,354,239	686,499	13,325,019	11,737,608	113.5%
	合計	1,789,395	1,580,109	1,957,557	2,429,422	2,852,782	2,343,116	2,839,956	4,366,908	2,483,176	2,686,868	2,802,535	15,466,613	29,678,438	27,351,000	108.5%
四半期合計	7,625,320												7,036,016	100.0%		
月別構成比	6.0%	5.3%	6.6%	8.2%	9.6%	7.9%	9.6%	14.7%	8.4%	9.1%	9.4%	5.2%	100.0%		108.5%	

(3) 平成25年市町村別観光入込客数(実人数)

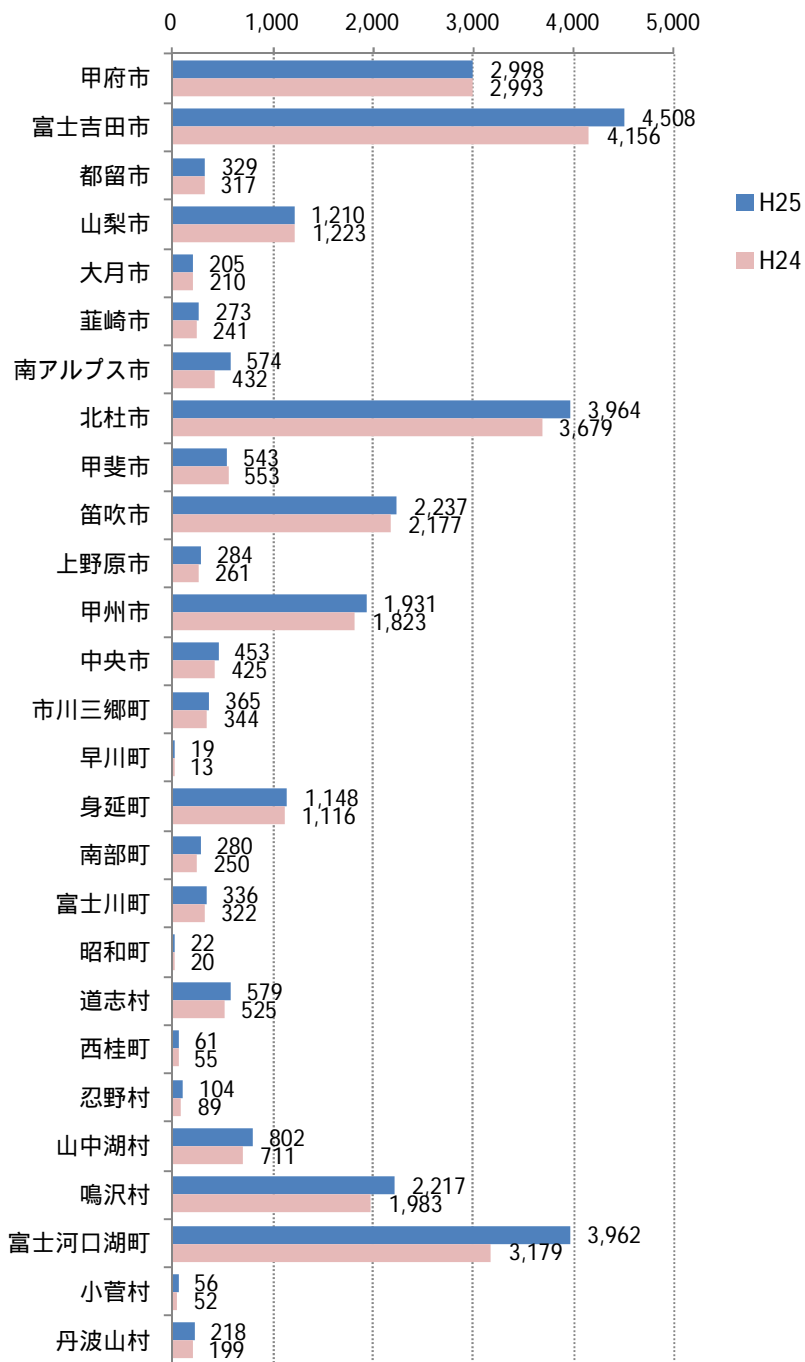
平成25年の観光入込客数を市町村別にまとめると、**図表9**のとおりである。

富士吉田市が451万人(構成比15.2%)と最も多く、次いで北杜市が396万人(同13.4%)、富士河口湖町396万人(同13.4%)などとなっている。前年との比較では、山梨市、大月市、甲斐市を除いたすべての市町村において増加となっており、全県にわたり概ね順調に入込客数が伸びたことが推測できる。県内のシェア3%以上の市町村について構成比をみると、甲府市や山梨市、笛吹市で減少し、富士河口湖町や鳴沢村で増加した。特に富士河口湖町は、対前年比(24.6%増)構成比(1.7ポイント増)ともに大幅に増加した。

図表9 市町村別観光入込客(実人数)

(単位:人、%)

市町村名	平成25年		平成24年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
甲府市	2,998,061	10.1%	2,993,194	10.9%	100.2%
富士吉田市	4,508,126	15.2%	4,156,117	15.2%	108.5%
都留市	329,423	1.1%	317,211	1.2%	103.8%
山梨市	1,209,576	4.1%	1,223,068	4.5%	98.9%
大月市	205,203	0.7%	210,351	0.8%	97.6%
韮崎市	272,602	0.9%	241,192	0.9%	113.0%
南アルプス市	573,580	1.9%	432,152	1.6%	132.7%
北杜市	3,964,212	13.4%	3,679,470	13.5%	107.7%
甲斐市	543,284	1.8%	552,993	2.0%	98.2%
笛吹市	2,237,428	7.5%	2,177,467	8.0%	102.8%
上野原市	283,978	1.0%	260,971	1.0%	108.8%
甲州市	1,931,325	6.5%	1,822,794	6.7%	106.0%
中央市	453,213	1.5%	425,081	1.6%	106.6%
市川三郷町	365,251	1.2%	344,251	1.3%	106.1%
早川町	19,218	0.1%	13,141	0.0%	146.2%
身延町	1,147,643	3.9%	1,116,084	4.1%	102.8%
南部町	279,853	0.9%	250,472	0.9%	111.7%
富士川町	336,245	1.1%	322,004	1.2%	104.4%
昭和町	21,929	0.1%	20,028	0.1%	109.5%
道志村	578,757	2.0%	525,114	1.9%	110.2%
西桂町	61,293	0.2%	55,429	0.2%	110.6%
忍野村	104,378	0.4%	89,069	0.3%	117.2%
山中湖村	801,648	2.7%	710,578	2.6%	112.8%
鳴沢村	2,216,517	7.5%	1,983,052	7.3%	111.8%
富士河口湖町	3,961,776	13.3%	3,179,116	11.6%	124.6%
小菅村	56,147	0.2%	51,580	0.2%	108.9%
丹波山村	217,773	0.7%	199,021	0.7%	109.4%
年計	29,678,438	100.0%	27,351,000	100.0%	108.5%



なお、平成 25 年の市町村別観光入込客数を、さらに詳細に月別でまとめると、**図表 10** のとおりである。

図表10 平成25年観光入込客数 市町村別・月別一覽表(実人数)

(単位:人、%)

	H25年												H24年		前年比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	
甲府市	213,440	192,480	285,343	256,917	350,325	189,900	230,568	290,542	185,759	317,361	337,915	147,513	2,998,061	2,993,194	100.2%
富士吉田市	367,395	177,352	309,887	251,304	357,414	280,460	459,760	879,093	396,859	386,256	395,279	247,066	4,508,126	4,156,117	108.5%
都留市	14,487	13,342	27,835	27,793	30,898	27,979	24,725	27,898	48,355	31,368	33,728	21,014	329,423	317,211	103.8%
山梨市	46,162	50,349	64,782	94,246	149,193	179,889	80,034	108,330	126,677	125,508	125,707	58,700	1,209,576	1,223,068	98.9%
大月市	10,061	8,438	11,728	11,974	13,669	22,125	14,261	37,318	16,511	16,934	28,623	13,561	205,203	210,351	97.6%
韮崎市	19,261	17,010	21,114	19,068	21,733	19,653	18,791	43,351	18,793	35,242	20,308	18,278	272,602	241,192	113.0%
南アルプス市	36,025	151,726	35,236	45,159	34,009	52,870	44,547	40,509	31,297	33,855	34,197	34,150	573,580	432,152	132.7%
北杜市	202,936	176,046	235,460	316,589	379,276	323,289	403,879	724,684	329,102	361,307	304,364	207,279	3,964,212	3,679,470	107.7%
甲斐市	40,435	40,397	52,174	44,137	45,532	54,393	38,904	42,483	38,267	53,346	51,781	41,434	543,284	552,993	98.2%
笛吹市	187,551	126,721	155,335	264,102	139,206	157,962	209,881	352,546	166,599	184,577	176,889	116,058	2,237,428	2,177,467	102.8%
上野原市	15,845	17,134	29,023	21,863	24,034	22,071	21,920	22,962	32,511	22,381	30,780	23,455	283,978	260,971	108.8%
甲州市	77,502	77,834	113,298	156,338	131,620	174,674	161,398	231,394	286,216	287,295	151,648	82,109	1,931,325	1,822,794	106.0%
中央市	24,716	25,783	35,595	52,826	38,193	49,582	32,530	45,940	29,425	32,627	57,019	28,977	453,213	425,081	106.6%
市川三郷町	23,516	20,265	23,166	23,075	19,298	18,266	16,662	145,187	17,642	18,219	19,626	20,328	365,251	344,251	106.1%
早川町	295	379	729	654	9902	666	1,273	1,967	1,072	811	1,072	397	19,218	13,141	146.2%
身延町	117,149	47,207	112,615	200,119	119,494	92,655	67,256	73,161	56,219	97,616	97,931	66,222	1,147,643	1,116,084	102.8%
南都町	19,978	17,271	24,179	29,535	24,364	20,736	17,957	46,061	17,731	20,279	22,734	19,029	279,853	250,472	111.7%
富士川町	23,727	19,571	27,828	55,340	23,563	24,179	34,755	22,891	18,766	20,682	46,169	18,775	336,245	322,004	104.4%
昭和町	1,123	1,176	1,249	22	0	861	943	831	735	13,190	935	865	21,929	20,028	109.5%
道志村	23,142	22,466	37,701	53,406	66,475	42,457	63,356	84,186	50,060	45,142	66,661	23,706	578,757	525,114	110.2%
西桂町	4,533	3,666	5,185	5,294	5,866	5,608	5,271	6,506	4,916	4,597	5,516	4,336	61,293	55,429	110.6%
忍野村	3,344	3,066	6,084	6,121	10,365	6,626	10,916	32,597	8,906	7,787	6,016	2,649	104,378	89,069	117.2%
山中湖村	39,059	70,324	36,306	39,062	70,367	39,660	58,761	149,721	72,080	55,593	92,023	78,692	801,648	710,578	112.8%
鳴沢村	110,359	101,820	123,982	151,700	198,520	155,269	280,189	385,665	219,287	201,148	182,238	106,340	2,216,517	1,983,052	111.8%
富士河口湖町	149,221	184,231	162,826	282,417	551,164	361,852	518,694	535,254	287,904	294,381	483,647	150,185	3,961,776	3,179,116	124.6%
小菅村	3,163	2,468	3,255	3,967	14,641	3,449	3,720	6,213	3,515	3,808	5,407	2,541	56,147	51,580	108.9%
丹波山村	14,971	11,588	15,640	16,396	23,659	15,988	19,105	29,618	17,974	15,558	24,322	12,954	217,773	199,021	109.4%
合計	1,789,395	1,580,109	1,957,557	2,429,422	2,852,782	2,343,116	2,839,956	4,366,908	2,483,176	2,686,868	2,802,535	1,546,613	29,678,438	27,351,000	108.5%
月別構成比	6.0%	5.3%	6.6%	8.2%	9.6%	7.9%	9.6%	14.7%	8.4%	9.1%	9.4%	5.2%	100.0%		

(4) 平成 25 年宿泊観光客数

平成 25 年の宿泊観光客数（実人数）は、652 万人と推計された。これは、前年（622 万人）と比較すると、4.9%の伸びとなる。

圏域別に見ると、富士・東部圏域が 333 万人（前年比 112.9%）と全体の半数弱を占め最多となった。次いで、峡東圏域（125 万人、前年比 102.7%）、峡中圏域（88 万人、前年比 86.4%）、峡北圏域（87 万人、前年比 110.3%）、峡南圏域（20 万人、前年比 79.0%）となっており、峡北圏域で大幅に増加し、峡中圏域で減少した。

さらに、小圏域別に見ると、主なエリアでは、河口湖周辺の宿泊施設群などを擁する「富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺」で 188 万人と群を抜いて多く、メジャーな温泉観光地のある「石和温泉・果実郷周辺」で 111 万人と続き、山中湖周辺の宿泊施設群を持つ「山中湖・忍野周辺」は 99 万人と大幅に増加した。その他には、八ヶ岳地域を含む「八ヶ岳高原周辺」が 69 万人、市街地の宿泊施設群を有する「芸術の森・武田神社周辺」で 58 万人などとなっている。

峡中・峡東の市街地型観光地においては年間を通して比較的客数の変動が小さい一方、富士北麓や峡北の自然資源豊かなエリアについては、特に夏季において客数が著しく増加するなど、季節的な変動が大きくなっている。

なお、外国人の宿泊客については、観光庁の宿泊旅行統計調査結果によると、平成 24 年の宿泊客数は国籍別に 1 位中国（全体の 41.5%）、2 位台湾（同 21.5%）、3 位タイ（同 11.0%）という結果であったが、平成 25 年も 1 位中国（同 25.9%）、2 位台湾（同 24.6%）、3 位タイ（同 18.4%）と同じ 3 か国が上位を占めた。しかし、中国人宿泊客数が前年比 - 22.0%と落ち込み、シェアも 25.9%となった一方、台湾（同 42.8%）とタイ（前年比 109.8%増）は大きく増加した。また、香港（同 79.2%）、マレーシア（同 131.0%）も大きく増加し、アメリカ（同 71.6%）やドイツ（169.2%）などのシェアが低い欧米諸国からの宿泊客も増加しており、国籍の多様化の動きがみられる。

平成 25 年の推計宿泊者数を小圏域別・月別にまとめると、**図表 11** のとおりである。

図表 1-1 平成25年 四半期別・圏域別推計宿泊客数一覧表(実人数ベース)

(単位:人、%)

区 分	1-3月期			4-6月期			7-9月期			10-12月期			H25宿泊客数計			H24 宿泊客数 計	前年比
	宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)			
		うち 外国人	圏域計 (うち外国人)		うち 外国人	圏域計 (うち外国人)		うち 外国人	圏域計 (うち外国人)		うち 外国人	圏域計 (うち外国人)		うち 外国人	圏域計 (うち外国人)		
峡 中	昇仙峡・湯村温泉周辺	31,126	545	42,446	1,869	51,175	2,402	45,029	778	169,776	5,594	169,776	5,594				
	芸術の森・武田神社周辺	115,546	780	116,042	709	192,846	2,098	155,198	1,350	579,633	4,938	579,633	4,938				
	広河原・芦安温泉周辺	9	-	349	-	14,053	80	14,053	17	17,475	97	17,475	97	876,248	1,013,959	86.4%	
	桐形山・果実郷周辺	3,815	-	2,632	-	-	-	2,929	-	9,376	-	9,376	-	(16,576)			
	釜無川沿岸	14,797	108	15,056	1,120	19,438	3,768	20,925	782	70,216	5,778	70,216	5,778				
	風土記の丘周辺	7,641	7	8,142	31	13,057	130	932	-	29,772	169	29,772	169				
	大菩薩・恵林寺周辺	10,526	56	11,374	-	12,105	59	10,579	3	44,583	119	44,583	119				
	勝沼ぶどう郷周辺	2,849	11	3,969	18	6,644	10	5,158	23	18,620	62	18,620	62	1,249,174	1,216,200	102.7%	
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	15,411	18	17,791	22	20,670	59	20,138	28	74,010	127	74,010	127	(40,147)			
	石和温泉・果実郷周辺	226,233	2,421	256,698	16,687	291,248	4,386	337,763	16,346	1,111,962	39,839	1,111,962	39,839				
峡 南	身延山・下部温泉周辺	23,002	52	38,577	150	50,502	568	39,777	24	151,857	794	151,857	794				
	早川周辺	-	-	7,656	13	17,240	15	5,213	151	30,110	179	30,110	179	199,477	252,549	79.0%	
	峡南北部	1,911	-	1,313	-	2,057	31	1,513	-	6,795	31	6,795	31	(1,316)			
	峡南南部	2,284	-	2,202	37	3,985	276	2,244	-	10,715	313	10,715	313				
峡 北	八ヶ岳高原周辺	124,414	6,198	153,055	19,392	255,310	14	154,992	10,857	687,771	36,461	687,771	36,461				
	金峰・みずがき周辺	2,854	-	5,579	-	9,102	11	6,452	9	23,987	20	23,987	20	868,032	787,153	110.3%	
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	17,029	9	35,517	-	68,501	521	34,703	17	155,750	547	155,750	547	(37,029)			
富士・東部	茅ヶ岳周辺	-	-	308	-	-	-	216	1	524	1	524	1				
	富士山五合目	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-				
	富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	292,205	27,248	422,391	47,612	727,829	45,424	435,063	58,342	1,877,489	178,626	1,877,489	178,626				
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	53,122	10,378	98,207	18,737	144,016	30,535	83,429	27,244	378,774	86,895	378,774	86,895	3,328,067	2,947,139	112.9%	
	山中湖・忍野周辺	89,830	48	276,029	44,550	473,110	34,573	153,875	29,941	992,845	109,112	992,845	109,112	(374,932)			
	大月・北都留	7,908	27	10,901	52	17,103	15	12,999	43	48,911	137	48,911	137				
	桂川・道志川周辺	3,488	92	7,762	-	12,010	26	6,788	43	30,048	161	30,048	161				
合計	1,046,000	48,000	1,534,000	151,000	2,402,000	125,000	2,402,000	1,539,000	146,000	6,521,000	471,000	6,521,000	471,000	6,217,000	6,217,000	104.9%	

観光庁「宿泊旅行統計調査」の集計値を基に、回答宿泊施設における従業員数規模ごとの平均値を算出し、小圏域ごとに調査対象施設数に乗じる等により推計した数値

(5) 平成25年観光消費額

本県の観光消費額を、国からの提供データ、アンケート調査に基づく1人あたり観光消費額単価等から観光庁提供の推計支援ツール(年間版)を用いて算出した。この結果、総消費額は3,643億円(前年(3,312億円)比110.0%)となった(図表12)。また、1人当たりの平均観光消費額を求めると、12,274円となった。

図表12 宿泊・日帰り別観光消費額総括表

(A)観光入込客数(実人数) (千人回)

区分	日帰り客 23,157		宿泊客 6,521		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
県内	6,738	1	545	274	7,558
県外	15,545	648	4,075	1,157	21,425
訪日外国人	203	22	440	30	695
合計	22,486	671	5,060	1,461	29,678

宿泊客数は観光庁「宿泊旅行統計調査」の数値を活用

(B)観光消費額単価 (円/人回)

	日帰り客		宿泊客	
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス
県内	5,329	5,137	16,403	20,288
県外	8,729	5,237	25,091	24,117
訪日外国人	15,738	8,892	88,630	73,820

(C)観光消費額 = (A)観光入込客(実人数) × (B)観光消費額単価 (百万円)

	日帰り客 178,382		宿泊客 185,872		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
県内	35,905	6	8,936	5,561	50,408
県外	135,689	3,393	102,255	27,903	269,240
訪日外国人	3,195	194	38,961	2,256	44,606
合計	174,789	3,593	150,152	35,720	364,254

観光地点パラメータ調査による平均値(参考値)

サンプル数 (人)	平均同行者数 (人)	1人当たり 平均訪問地点数 (地点)	1人当たり 平均消費額 (円)	1人当たり平均訪 問都道府県数 (箇所)
13,380	4.0	1.3	12,274	1.1

【参考】観光入込客数（延べ人数）

実人数の推計の基礎となった観光地点等入込客数（市町村調査による延べ人数）について、参考までに集計及び前年比較を行った。

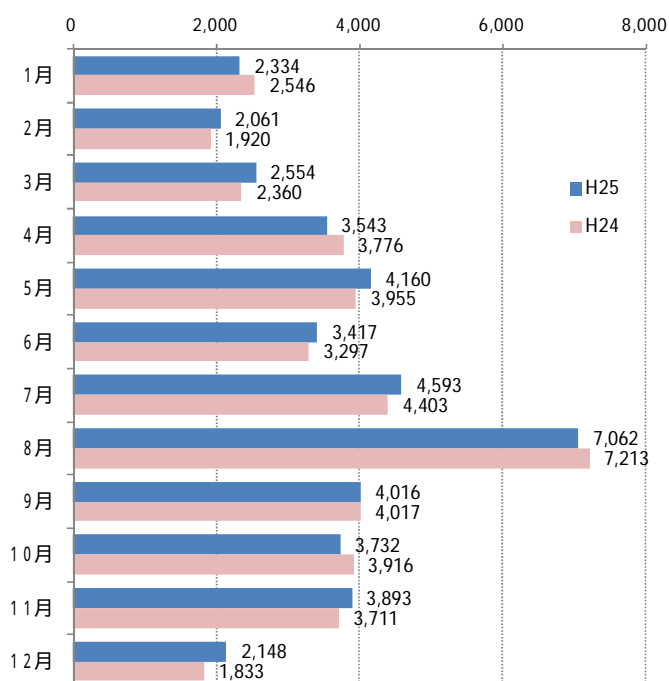
月別の推移

平成 25 年の延べ観光入込客数は 4,351 万人であり、前年に比べて 1.3%の増加となった（図表 13）。

図表 13 月別観光入込客（延べ人数）

（単位：人、％）

項目	平成25年		平成24年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
1月	2,334,381	5.4%	2,545,749	5.9%	91.7%
2月	2,061,355	4.7%	1,920,132	4.5%	107.4%
3月	2,553,760	5.9%	2,360,015	5.5%	108.2%
4月	3,542,971	8.1%	3,775,644	8.8%	93.8%
5月	4,160,383	9.6%	3,954,515	9.2%	105.2%
6月	3,417,107	7.9%	3,296,783	7.7%	103.6%
7月	4,592,924	10.6%	4,403,106	10.3%	104.3%
8月	7,062,390	16.2%	7,212,917	16.8%	97.9%
9月	4,015,921	9.2%	4,016,738	9.4%	100.0%
10月	3,732,191	8.6%	3,916,282	9.1%	95.3%
11月	3,892,859	8.9%	3,710,950	8.6%	104.9%
12月	2,148,321	4.9%	1,833,221	4.3%	117.2%
年計	43,514,563	100.0%	42,946,052	100.0%	101.3%



圏域別の推移

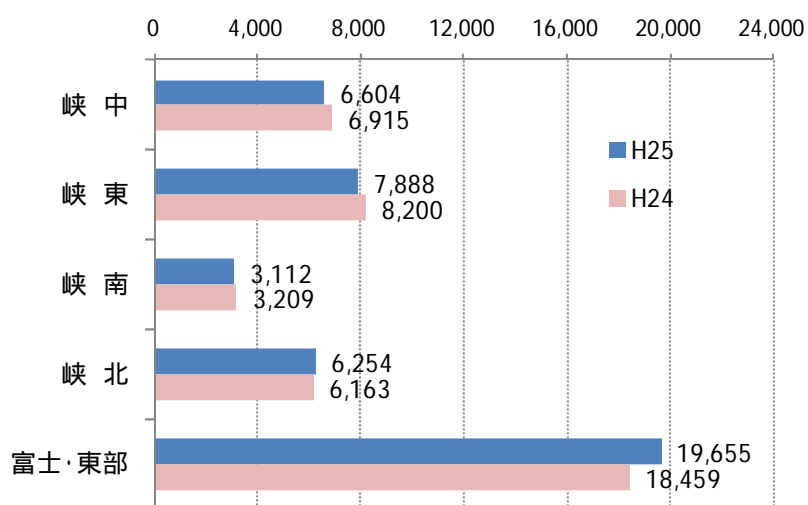
圏域別に見ると、富士・東部が1,966万人（前年比106.5%）で最多となり、次いで、峡東（789万人、前年比96.2%）、峡中（660万人、同95.5%）、峡北（625万人、同101.5%）、峡南（311万人、同97.0%）であった。富士・東部及び峡北では増加したが、他の圏域は前年から減少となった（図表14）。

小圏域の主たる地域を見ていくと、峡中の「芸術の森・武田神社周辺（345万人、前年比93.0%）」、峡東の「石和温泉・果実郷周辺（327万人、同95.7%）」、峡南の「身延山・下部温泉周辺（164万人、前年比94.1%）」、峡北の「八ヶ岳高原周辺（378万人、同100.6%）」、富士・東部圏域の「富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺（844万人、同104.2%）」となっている（図表15）。

図表14 圏域別観光入込客（延べ人数）

（単位：人、%）

項目	平成25年		平成24年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	6,604,333	15.2%	6,914,508	16.1%	95.5%
峡東	7,888,286	18.1%	8,200,413	19.1%	96.2%
峡南	3,112,378	7.2%	3,208,841	7.5%	97.0%
峡北	6,254,324	14.4%	6,162,902	14.4%	101.5%
富士・東部	19,655,242	45.2%	18,459,388	43.0%	106.5%
年計	43,514,563	100.0%	42,946,052	100.0%	101.3%



図表 15 平成 25 年観光入込客数 小圏域別・月別一覽表(延べ人数)

(単位:人、%)

	H25年												H24年		前年比		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計			
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	104,021	43,807	51,126	39,541	54,124	57,000	42,643	65,328	49,690	65,273	114,860	35,211	722,624	729,988	99.0%	
	芸術の森・武田神社周辺	175,759	205,046	319,852	329,326	415,563	202,014	310,927	378,720	236,968	359,916	341,724	172,375	3,450,190	3,711,051	93.0%	
	広河原・芦安温泉周辺	0	0	0	115	360	519	2,520	3,614	1,944	890	238	0	10,200	9,514	107.2%	
	榊形山・果実郷周辺	13,593	13,281	15,435	35,763	19,770	46,849	37,338	26,168	19,857	18,431	19,503	16,928	282,916	277,576	101.9%	
	釜無川沿岸	88,246	238,769	100,150	124,217	98,143	114,417	99,140	108,376	94,255	120,660	130,246	88,717	1,405,336	1,364,184	103.0%	
	風土記の丘周辺	30,282	36,006	47,782	53,012	94,638	86,134	69,414	97,534	56,983	60,428	62,739	38,115	733,067	822,195	89.2%	
	小計	411,901	536,909	534,345	581,974	682,598	506,933	561,982	679,740	461,697	625,598	669,310	351,346	6,604,333	6,914,508	95.5%	
	峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺	42,896	35,698	63,401	94,092	65,830	60,660	45,844	38,800	49,910	50,604	53,042	29,994	630,771	651,093	96.9%
		勝沼ぶどう郷周辺	58,210	65,841	84,404	133,905	126,119	194,078	215,177	335,422	412,973	348,463	157,605	84,059	2,216,256	2,208,467	100.4%
		西沢渓谷・フルーツ公園周辺	60,221	65,683	84,512	137,445	217,577	262,343	129,435	175,197	204,868	174,337	174,613	81,537	1,767,768	1,919,613	92.1%
石和温泉・果実郷周辺		244,673	165,316	202,644	385,156	203,013	230,366	339,430	570,156	269,433	256,387	245,707	161,210	3,273,491	3,421,240	95.7%	
小計		406,000	332,538	434,961	750,598	612,539	747,447	729,886	1,119,575	937,184	829,791	630,967	358,800	7,888,286	8,200,413	96.2%	
峡南圏域		身延山・下部温泉周辺	152,829	61,584	146,914	291,845	174,265	135,125	108,770	118,319	90,920	135,593	136,031	91,985	1,644,180	1,746,398	94.1%
		早川周辺	385	495	951	954	14,441	971	2,059	3,181	1,734	1,127	1,489	551	28,338	20,658	137.2%
		峡南北部	61,632	51,968	66,526	114,357	62,507	61,899	83,154	271,824	58,880	54,036	91,393	54,316	1,032,492	1,048,684	98.5%
		峡南南部	26,062	22,531	31,543	43,073	35,532	30,240	29,041	74,492	28,675	28,169	31,578	28,432	407,368	393,101	103.6%
		小計	240,908	136,578	245,934	450,229	286,745	228,235	223,024	467,816	180,209	218,925	260,491	173,284	3,112,378	3,208,841	97.0%
	峡北圏域	八ヶ岳高原周辺	203,902	162,365	204,675	266,494	374,652	304,032	428,163	680,064	364,041	349,404	262,547	183,653	3,783,992	3,760,000	100.6%
		金峰・みずがき周辺	9,236	7,735	13,562	23,745	28,414	23,153	27,517	43,085	27,961	30,024	29,910	11,951	276,293	281,142	98.3%
		甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	67,739	75,090	104,030	172,645	148,027	125,757	165,174	306,692	154,102	155,304	130,330	82,712	1,687,602	1,647,037	102.5%
		茅ヶ岳周辺	8,993	6,664	12,450	26,625	33,723	47,191	62,710	212,264	165,530	16,094	28,199	34,994	506,437	474,723	106.7%
		小計	289,870	251,854	334,717	489,509	584,816	500,133	683,564	1,242,105	562,634	550,826	450,986	313,310	6,254,324	6,162,902	101.5%
富士・東部圏域		富士山五合目	29,486	30,074	114,064	248,236	328,854	316,652	777,443	810,377	529,282	434,634	302,986	128,490	4,050,578	3,657,386	110.8%
		富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	598,547	397,755	503,839	470,271	643,848	620,964	964,241	1,582,873	677,249	539,019	951,745	441,978	8,442,329	8,104,512	104.2%
		本栖湖・精進湖・西湖周辺	189,896	176,710	160,525	281,083	641,846	225,544	293,859	517,823	255,546	201,189	219,278	129,044	3,292,343	2,904,212	113.4%
		山中湖・忍野周辺	55,318	95,742	55,301	65,892	117,737	67,501	112,525	294,854	130,975	88,038	136,180	112,987	1,333,050	1,256,006	106.1%
		大月・北都留	47,093	40,133	62,187	69,436	99,628	82,787	81,740	138,007	102,328	71,560	111,991	62,353	969,243	984,997	98.4%
	桂川・道志川周辺	65,362	63,062	107,887	135,743	161,772	120,911	164,660	209,220	178,817	122,611	158,925	78,729	1,567,699	1,552,275	101.0%	
	小計	985,702	803,476	1,003,803	1,270,661	1,993,685	1,434,359	2,394,468	3,553,154	1,874,197	1,507,051	1,881,105	953,581	19,655,242	18,459,388	106.5%	
	合計	2,334,381	2,061,355	2,553,760	3,542,971	4,160,383	3,417,107	4,592,924	7,062,390	4,015,921	3,732,191	3,892,859	2,148,321	43,514,563	42,946,052	101.3%	
	四半期合計	6,949,496												9,773,371	100.0%		
	月別構成比	5.4%	4.7%	5.9%	8.1%	9.6%	7.9%	10.6%	16.2%	9.2%	8.6%	8.9%	4.9%			100.0%	

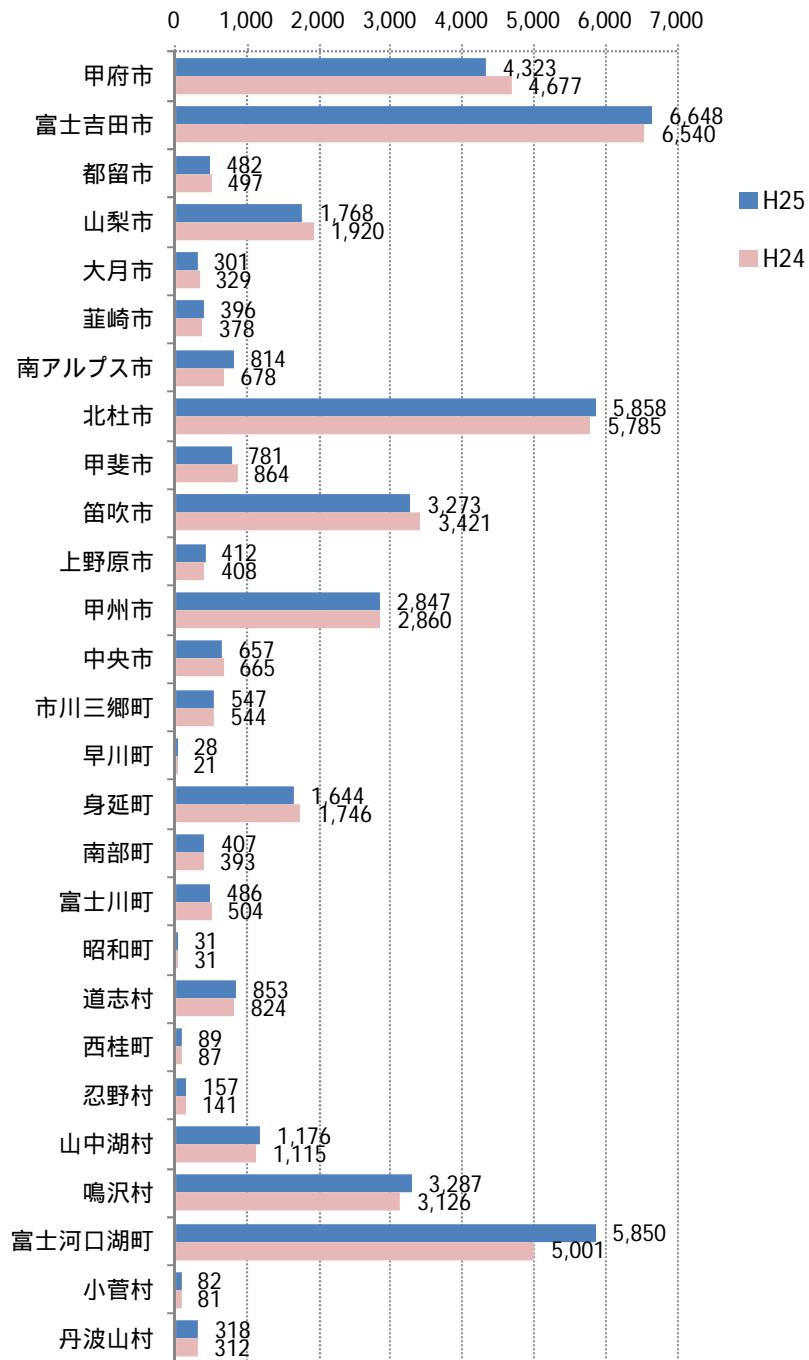
市町村別の推移

市町村別に見ると、富士吉田市で665万人（前年比101.6%）と最多であり、次いで北杜市（586万人、同101.3%）、富士河口湖町（585万人、同117.0%）、甲府市（432万人、同92.4%）などとなっている（図表16、17）。

図表16 市町村別観光入込客（延べ人数）

（単位：人、％）

項目	平成25年		平成24年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
甲府市	4,322,613	9.9%	4,676,953	10.9%	92.4%
富士吉田市	6,647,528	15.3%	6,539,902	15.2%	101.6%
都留市	481,932	1.1%	497,154	1.2%	96.9%
山梨市	1,767,768	4.1%	1,919,613	4.5%	92.1%
大月市	301,332	0.7%	328,632	0.8%	91.7%
韮崎市	396,469	0.9%	377,958	0.9%	104.9%
南アルプス市	813,595	1.9%	678,261	1.6%	120.0%
北杜市	5,857,855	13.5%	5,784,944	13.5%	101.3%
甲斐市	780,701	1.8%	863,548	2.0%	90.4%
笛吹市	3,273,491	7.5%	3,421,240	8.0%	95.7%
上野原市	411,594	0.9%	408,246	1.0%	100.8%
甲州市	2,847,027	6.5%	2,859,560	6.7%	99.6%
中央市	656,629	1.5%	665,062	1.5%	98.7%
市川三郷町	546,859	1.3%	544,407	1.3%	100.5%
早川町	28,338	0.1%	20,658	0.0%	137.2%
身延町	1,644,180	3.8%	1,746,398	4.1%	94.1%
南部町	407,368	0.9%	393,101	0.9%	103.6%
富士川町	485,633	1.1%	504,277	1.2%	96.3%
昭和町	30,795	0.1%	30,684	0.1%	100.4%
道志村	853,229	2.0%	823,638	1.9%	103.6%
西桂町	88,980	0.2%	86,913	0.2%	102.4%
忍野村	157,472	0.4%	141,245	0.3%	111.5%
山中湖村	1,175,578	2.7%	1,114,761	2.6%	105.5%
鳴沢村	3,287,478	7.6%	3,125,574	7.3%	105.2%
富士河口湖町	5,850,244	13.4%	5,000,634	11.6%	117.0%
小菅村	81,838	0.2%	80,835	0.2%	101.2%
丹波山村	318,037	0.7%	311,854	0.7%	102.0%
年計	43,514,563	100.0%	42,946,052	100.0%	101.3%



図表17 平成25年観光入込客数 市町村別・月別一覽表(延べ人数)

(単位:人、%)

	H25年												H24年 合計	前年比	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			合計
甲府市	278,446	251,102	372,248	374,677	510,900	276,942	372,886	469,879	300,419	440,830	469,381	204,903	4,322,613	4,676,953	92.4%
富士吉田市	479,291	231,367	404,268	366,491	521,238	409,011	743,548	1,421,715	641,821	536,529	549,062	343,187	6,647,528	6,539,902	101.6%
都留市	18,899	17,406	36,313	40,532	45,061	40,804	39,987	45,118	78,202	43,571	46,850	29,189	481,932	497,154	96.9%
山梨市	60,221	65,683	84,512	137,445	217,577	262,343	129,435	175,197	204,868	174,337	174,613	81,537	1,767,768	1,919,613	92.1%
大月市	13,125	11,008	15,300	17,462	19,934	32,266	23,063	60,353	26,703	23,522	39,759	18,837	301,332	328,632	91.7%
韮崎市	25,127	22,191	27,544	27,808	31,695	28,661	30,390	70,109	30,393	48,953	28,209	25,389	396,469	377,958	104.9%
南アルプス市	46,997	197,937	45,967	65,858	49,597	77,103	72,044	65,514	50,615	47,026	47,501	47,436	813,595	678,261	120.0%
北杜市	264,743	229,663	307,173	461,701	553,121	471,472	653,174	1,171,996	532,241	501,873	422,777	287,921	5,857,855	5,784,944	101.3%
甲斐市	52,750	52,700	68,065	64,368	66,402	79,324	62,918	68,706	61,887	74,100	71,927	57,554	780,701	863,548	90.4%
笛吹市	244,673	165,316	202,644	385,156	203,013	230,366	339,430	570,156	269,433	256,387	245,707	161,210	3,273,491	3,421,240	95.7%
上野原市	20,671	22,353	37,862	31,884	35,050	32,187	35,450	37,136	52,578	31,088	42,755	32,580	411,594	408,246	100.8%
甲州市	101,106	101,539	147,805	227,997	191,949	254,738	261,021	374,222	462,883	399,067	210,647	114,053	2,847,027	2,859,560	99.6%
中央市	32,243	33,636	46,436	77,039	55,699	72,308	52,609	74,297	47,588	45,321	79,202	40,251	656,629	665,062	98.7%
市川三郷町	30,678	26,437	30,222	33,652	28,144	26,638	26,947	234,804	28,531	25,307	27,262	28,237	546,859	544,407	100.5%
早川町	385	495	951	954	14,441	971	2,059	3,181	1,734	1,127	1,489	551	28,338	20,658	137.2%
身延町	152,829	61,584	146,914	291,845	174,265	135,125	108,770	118,319	90,920	135,593	136,031	91,985	1,644,180	1,746,398	94.1%
南部町	26,062	22,531	31,543	43,073	35,532	30,240	29,041	74,492	28,675	28,169	31,578	26,432	407,368	393,101	103.6%
富士川町	30,954	25,531	36,304	80,705	34,363	35,261	56,207	37,020	30,349	28,729	64,131	26,079	485,633	504,277	96.3%
昭和町	1,465	1,534	1,629	32	0	1,256	1,525	1,344	1,188	1,832	1,299	1,202	30,795	30,684	100.4%
道志村	30,190	29,308	49,184	77,885	96,945	61,917	102,462	136,150	80,959	62,705	92,595	32,929	853,229	823,638	103.6%
西桂町	5,914	4,783	6,764	7,720	8,555	8,178	8,524	10,522	7,950	6,385	7,662	6,023	88,980	86,913	102.4%
忍野村	4,363	4,000	7,937	8,926	15,116	9,663	17,493	52,718	14,404	10,816	8,356	3,680	157,472	141,245	111.5%
山中湖村	50,955	91,742	47,364	56,966	102,621	57,838	95,032	242,136	116,571	77,222	127,824	109,307	1,175,578	1,114,761	105.5%
嶋沢村	143,970	132,831	161,743	221,233	289,514	226,438	453,136	623,718	354,643	279,404	253,137	147,711	3,287,478	3,125,574	105.2%
富士河口湖町	194,668	240,341	212,417	411,866	803,796	527,711	838,859	865,640	465,613	408,909	671,810	208,614	5,850,244	5,000,634	117.0%
小菅村	4,126	3,220	4,247	5,785	21,352	5,030	6,016	10,048	5,685	5,289	7,510	3,530	81,838	80,835	101.2%
丹波山村	19,530	15,117	20,404	23,911	34,503	23,316	30,898	47,900	29,068	21,611	33,785	17,994	318,037	311,854	102.0%
合計	2,334,381	2,061,355	2,553,760	3,542,971	4,160,383	3,417,107	4,592,924	7,062,390	4,015,921	3,732,191	3,892,859	2,148,321	43,514,563	42,946,052	101.3%
月別構成比	5.4%	4.7%	5.9%	8.1%	9.6%	7.9%	10.6%	16.2%	9.2%	8.6%	8.9%	4.9%	100.0%		

(6) 月別の観光動向

月別の観光動向について概要をまとめた。通年の傾向として、富士山の世界文化遺産登録の影響が大きく、富士・東部を中心に、自然を目的とした入込客数の増加がみられた。また、猛暑の影響も考えられるが、夏季の観光ハイシーズンにおける集中化がやや緩和されている。

1月

1月の観光入込客数の対前年同月比は111.8%と増加した。気温は平年並みであったが、日照時間が多く、晴れの日が多くなった。中央自動車道上り線笹子トンネルの事故の影響による通行規制が続いていたこともあって、温泉施設や公園等を中心に各観光地点を訪れる延べ人数は対前年同月比で減少したものの、神社仏閣等を中心とした参拝客の増加や屋内型の観光施設の利用者の増加がみられ、実人数では増加した。

2月

2月の観光入込客数の対前年同月比は130.9%と大幅に増加した。中央自動車道の通行規制が全面的に解除され、日照時間もやや多かったこともあって、一部の公園等の利用者が伸び悩んだものの、温泉施設や屋内型の観光施設、道の駅等で客足が増加し、全体として堅調に推移した。1月は減少した延べ人数も対前年同月比で増加となっている。

3月

3月の観光入込客数の対前年同月比は132.0%と引き続き大幅に増加した。平年に比べて気温が高めに推移したことに加えて、降水量が少なく、日照に恵まれた。また、桜の開花が平年よりも1週間ほど早く、3月中に満開となったため、県内の桜の名所を中心に利用者が増加した。引き続き道の駅等の利用者が増加したほか、峡南や富士・東部の屋外型の観光施設などにおいても客足の増加が目立っている。一方、一部の峡中の屋内型の観光施設では減少した。

4月

4月の観光入込客数の対前年同月比は101.1%とほぼ横ばいであった。気温は平年並みで、日照に恵まれたが、降水量も多かった。桜が3月には満開となったため、桜に関連した観光地点で減少したが、ゴールデンウィークと花の満開となった時期が重なった富士・東部の観光地点等では増加している。歴史・文化施設や温泉施設、都市型観光施設で減少した地点が多かった。道の駅等については、富士・東部は引き続き増加しているが、峡中や峡南では減少した地点もみられた。

5月

5月の観光入込客数の対前年同月比は113.3%と増加した。平年に比べて気温が高めで、降水量が少なく、日照に恵まれたことに加え、ゴールデンウィーク期間中の休日が天候に恵まれたこと、4月30日にイコモスが富士山の世界文化遺産への登録勧告を行ったこと、2月から4月にかけて上昇していたガソリンが下落したことなどから客足が大きく増加した。自然やスポーツ・レクリエーション、道の駅等の観光地点で増加した地点が多くみられた。一方、歴史・文化や都市型観光施設では減少した地点が多くなっている。

6月

6月観光入込客数の対前年同月比は111.7%と引き続き増加した。梅雨入りはほぼ平年並みの6月10日ごろであったが、降水量はやや少なく推移した。気温は平年よりやや高めとなった。富士山の世界遺産登録勧告の影響が続いており、富士・東部で増加した地点が多い。県内全体としても自然やスポーツ・レクリエーション施設で増加した地点が多くなっている。

7月

7月の観光入込客数の対前年同月比は103.7%と微増であった。梅雨明けが平年より2週間ほど早い7月6日ごろであり、降水量も非常に少なく、日照にも恵まれた。平均気温は平年より1.5度高い27.0度、最高気温の平均も平年より2.5度高い33.4度となった。そのため、気温が非常に高くなった峡中や峡東では、スポーツ・レクリエーション施設で減少し、屋内型の都市型観光施設等で増加した。避暑地となる峡北や富士・東部では、夏のイベントや自然、スポーツ・レクリエーション施設で増加がみられた。

8月

8月の観光入込客数の対前年同月比は97.2%と減少した。前月から引き続いて降水量は少なく、厳しい暑さが続いた。10日に甲府で40.7度を記録するなど、平均気温は平年より1.9度高い28.5度、最高気温の平均も平年より2.8度高い35.3度となった。また、スバルラインでのマイカー規制が8月2日から25日まで行われた影響もみられた。自然や温泉施設で減少し、マイカー規制に加えてガソリン価格が上昇したため、これまで堅調であった道の駅等についても減少した。その一方で、峡北や富士・東部のスポーツ・レクリエーション施設などの一部は引き続き利用者の増加がみられた。

9月

9月の観光入込客数の対前年同月比は99.2%とほぼ横ばいであった。引き続き暑い日々が続き、平均気温は平年より1.1度高い23.9度、最高気温の平均も平年より2.0度高い30.0度となった。降水量については、平年並みとなった。ガソリン価格も高い水準で推移しており、峡北や富士・東部の自然、歴史・文化、スポーツ・レクリエーション施設の一部で増加がみられたものの、全体的に減少となる地点が多くみられた。

10月

10月の観光入込客数の対前年同月比は103.0%とやや増加した。例年より暖かい気温で推移したが、降水量が多く平年の2倍となり、日照時間も少なかった。そのため自然やスポーツ・レクリエーション施設で減少し、ガソリン価格は下落したものの道の駅等についても減少した。歴史・文化や温泉施設については、増加した地点と減少した地点があるが、峡東、富士・東部の歴史・文化施設や峡東、峡北の温泉施設では増加がみられ、全体をけん引した。

11月

11月の観光入込客数の対前年同月比は113.3%と大きく増加した。気温は平年並みとなったものの、降水量はやや少なく、日照に恵まれた。県全体として増加している地点が多く、峡中、峡東、富士・東部のスポーツ・レクリエーション施設などで大きく増加している。道の駅等についても、ガソリン価格の下落もあって、増加に転じている地点が多くみられた。

12月

12月の観光入込客数の対前年同月比は126.6%と大きく増加した。天候は気温、降水量、日照ともに平年並みであったが、前年の中央自動車道上り線笹子トンネルにおける天井板落下事故の反動が大きく、スポーツ・レクリエーション施設や道の駅等を中心に県全体として増加した。また、富士・東部の歴史・文化施設や峡北の温泉施設などでも増加がみられる。

図表 1 8 甲府における気象状況等

	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
1月	2.0	(2.8)	8.3	(8.8)	-3.4	(-2.4)	37.0	(40.2)	234.6	(204.8)
2月	4.2	(4.3)	9.7	(10.3)	-0.7	(-1.0)	44.5	(46.1)	201.8	(189.9)
3月	11.2	(8.0)	18.6	(14.2)	5.1	(2.7)	30.0	(87.9)	234.0	(198.7)
4月	13.6	(13.8)	20.5	(20.4)	7.4	(8.3)	108.0	(77.7)	237.1	(202.0)
5月	19.2	(18.3)	26.5	(24.6)	13.6	(13.3)	16.0	(86.3)	258.4	(196.3)
6月	22.7	(21.9)	28.5	(27.3)	19.0	(17.9)	89.5	(122.5)	122.9	(148.9)
7月	27.0	(25.5)	33.4	(30.9)	22.8	(21.8)	33.0	(132.6)	191.9	(164.1)
8月	28.5	(26.6)	35.3	(32.5)	24.1	(22.8)	39.0	(149.5)	233.6	(197.3)
9月	23.9	(22.8)	30.0	(28.0)	19.2	(19.1)	205.5	(180.3)	204.5	(142.2)
10月	18.6	(16.5)	23.5	(21.9)	14.7	(12.3)	266.5	(125.2)	129.0	(160.9)
11月	9.6	(10.4)	16.3	(16.4)	4.1	(5.5)	32.0	(54.9)	203.6	(176.6)
12月	4.4	(5.0)	10.5	(11.2)	-1.0	(-0.2)	38.0	(32.1)	210.1	(201.3)

() 内の値は1981年～2010年の平年値

	桜		梅雨		イチョウ
	開花	満開	梅雨入り	梅雨明け	黄葉
平成25年	3月19日	3月26日	6月10日ごろ	7月6日ごろ	11月26日
平年値(1981～2010年)	3月27日	4月3日	6月8日ごろ	7月21日ごろ	11月12日

(7) 圏域別観光の動向

圏域の観光動向を見るために、観光入込客数（実人数）の推移と施設ごとの市町村報告値をみながら、前年比較を行った。

峡中圏域

峡中圏域では、対前年比 103.8%と増加した（**図表 19**）。

小圏域別に見ると、「昇仙峡・湯村温泉周辺」では、一部の歴史・文化施設やスポーツ・レクリエーション施設で大幅に客数が減少した地点がある一方、都市型施設などで客数が増加しており、地域としては前年から増加となった。

「芸術の森・武田神社周辺」では、公共的な歴史・文化施設やスポーツ・レクリエーション施設で堅調に客数を伸ばしたところと客数が減少したところに分かれ、全体としてはほぼ横ばいとなった。

「広河原・芦安温泉周辺」では、温泉施設の利用者が増加した。

「楡形山・果実郷周辺」では、温泉施設の利用者が減少したものの、歴史・文化施設で客数が増加したため、全体として 9.5%の増となった。

「釜無川沿岸」では、スポーツ・レクリエーション施設の利用者が減少したものの、歴史・文化施設で客数が増加したため、全体として 13.3%の増となった。

「風土記の丘周辺」では、前年に大きく客足を伸ばした歴史・文化施設で反動があったため、全体として減少となった。

図表 19 峡中圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成25年	平成24年	対前年比
昇仙峡・湯村温泉周辺	508,334	467,100	108.8%
芸術の森・武田神社周辺	2,389,786	2,373,968	100.7%
広河原・芦安温泉周辺	6,489	6,003	108.1%
楡形山・果実郷周辺	193,677	176,794	109.5%
釜無川沿岸	989,463	873,202	113.3%
風土記の丘周辺	502,319	526,377	95.4%
小計	4,590,067	4,423,447	103.8%

峡東圏域

峡東圏域では、対前年比 103.0%と増加した（**図表 20**）。

小圏域別に見ると、「大菩薩・恵林寺周辺」では、一部の自然、歴史・文化施設で堅調に伸び、観光農園や物産販売施設では減少がみられたが、全体としては増加した。

「勝沼ぶどう郷周辺」では、ぶどう狩りが振るわず、ワイナリーでは増減が施設によってわかれたが、道の駅で大きく客数を伸ばし、全体として増加した。

「西沢渓谷・フルーツ公園周辺」では、主力の公園施設が振るわず、一部の温泉施設等は増加したが、全体としてやや減少した。

「石和温泉・果実郷周辺」では、ぶどう狩り・桃狩りが低調であったが、物販施設や歴史・文化施設等で客数が伸びたため、全体としてやや増加した。

図表 20 峡東圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成25年	平成24年	対前年比
大菩薩・恵林寺周辺	439,507	415,479	105.8%
勝沼ぶどう郷周辺	1,491,818	1,407,314	106.0%
西沢渓谷・フルーツ公園周辺	1,209,576	1,223,067	98.9%
石和温泉・果実郷周辺	2,237,428	2,177,466	102.8%
小計	5,378,330	5,223,329	103.0%

峡南圏域

峡南圏域では、対前年比 105.0%と増加した（**図表 21**）。

小圏域別にみると、「身延山・下部温泉周辺」の観光入込客数は、主力の歴史・文化施設では減少したが、自然施設などで増加し、全体としてやや増加となった。

「早川周辺」の増加率は高いものの絶対数が少ないため、6,000 人程度の増加となっている。

「峡南北部」では、温泉施設で増減が分かれたが、全体としてはやや増加となった。

「峡南南部」では、温泉施設がやや低調であったが、道の駅やスポーツ・レクリエーション施設などで入込が伸びを示し、全体として増加した。

図表 2 1 峡南圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成25年	平成24年	対前年比
身延山・下部温泉周辺	1,147,643	1,116,084	102.8%
早川周辺	19,218	13,141	146.2%
峡南北部	701,496	666,255	105.3%
峡南南部	279,853	250,473	111.7%
小計	2,148,210	2,045,955	105.0%

峡北圏域

峡北圏域では、対前年比 108.1%と増加した（**図表 22**）。

小圏域別に見ると、「八ヶ岳高原周辺」では、主力の都市型観光施設や一部の温泉施設で伸び悩んだものの、歴史・文化施設や屋外型のレクリエーション施設、道の駅などで客数を伸ばし、全体として 7.4%の増加となった。

「金峰・みずがき周辺」では、物産販売施設で客数が伸び悩んだものの温泉施設等で増加し、全体として増加となった。

「甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺」では、順調に客足が伸びた施設が多く、歴史・文化施設やスポーツ・レクリエーション施設、道の駅等で特に増加し、全体として 9.5%増加した。

「茅ヶ岳周辺」では、主力のスポーツ・レクリエーション施設で客数が伸び、全体として 10.9%の増加となった。

図表 2 2 峡北圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成25年	平成24年	対前年比
八ヶ岳高原周辺	2,568,880	2,392,597	107.4%
金峰・みずがき周辺	187,742	179,657	104.5%
甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	1,147,579	1,048,451	109.5%
茅ヶ岳周辺	332,611	299,957	110.9%
小計	4,236,813	3,920,661	108.1%

富士・東部圏域

富士・東部圏域では、対前年比 113.5%と増加した（**図表 23**）。

小圏域別に見ると、「富士山五合目」は、4 月までは伸び悩んだものの世界文化遺産登録への動きを契機として増加に転じた。8 月はマイカー規制の影響もあって減少したが、9 月以降も大幅な増加となり、年間では 15.8%の増加となった。

「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺」でも、世界遺産関連の施設等を中心に客足が伸び、多くの観光地点で増加し、全体としては 11.7%の増加となった。

「本栖湖・精進湖・西湖周辺」では、自然や道の駅などで大きく増加しており、全体として 21.7%の大幅な増加となった。

「山中湖・忍野周辺」では、温泉施設やレクリエーション施設で順調に客数が伸び、全体として 13.3%の増加となった。

「大月・北都留」では、歴史・文化施設で客数が伸び悩んだものの、この地域で主力のゴルフ場が堅調であったため、全体として 5.3%の増加となった。

「桂川・道志川周辺」では、都留市内の歴史・文化施設で伸び悩んだものの、温泉施設や道の駅が好調となり、全体としては 8.0%の増加となった。

図表 2 3 富士・東部圏域 の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成25年	平成24年	対前年比
富士山五合目	2,678,531	2,313,140	115.8%
富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	5,760,806	5,159,333	111.7%
本栖湖・精進湖・西湖周辺	2,247,081	1,845,813	121.7%
山中湖・忍野周辺	906,026	799,648	113.3%
大月・北都留	663,406	629,734	105.3%
桂川・道志川周辺	1,069,169	989,940	108.0%
小計	13,325,019	11,737,608	113.5%

第2部 観光地点等パラメータ調査による分析

1. 調査の概要

県内を訪れた観光客に対して、平成 25 年の冬・春・夏・秋のシーズンごとに県内各地の観光地点において、対面聞き取り式によるアンケート調査を実施した。

本報告は、その調査結果を集計するとともに、性別・年齢階層別等の分析をすることにより、旅行の目的や訪問先、消費額等の動態や旅行での満足度を明らかにする。

(1) 調査日

観光地点を、

- 歴史・文化
- 都市型観光
- 温泉・健康
- スポーツ・レクリエーション
- 自然
- その他

に分類し、季節ごとに峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部地域それぞれ 2 カ所ずつ調査地点を定め、県下 10 カ所で調査を実施した。

- 冬 : 平成 25 年 2 月 10 日 (日)
ハケ岳リゾートアウトレットのみ 2 月 2 日 (土)
- 春 : 平成 25 年 5 月 18 日 (土)
- 夏 : 平成 25 年 8 月 3 日 (土)
- 秋 : 平成 25 年 11 月 3 日 (日)

(2) 調査地点、サンプル数

分類	観光地点名称	圏域	冬	春	夏	秋	計
歴史・文化	武田神社	峡中	76	77	78	76	307
歴史・文化	山梨県立美術館	峡中	76	78	76	76	306
歴史・文化	勝沼ぶどうの丘	峡東	76	75	79	75	305
都市型観光	モンデ酒造	峡東	76	101	75	76	328
歴史・文化	身延山久遠寺	峡南	103	76	102	76	357
温泉・健康	みはらしの丘みたまの湯	峡南	75	75	76	76	302
都市型観光	ハケ岳アウトレット	峡北	102	102	104	103	411
その他・道の駅	道の駅こぶちざわ	峡北	77	76	75	75	303
スポーツ・レクリエーション	富士急ハイランド	東部・富士北麓	101	102	102	100	405
自然	カチカチ山ロープウェイ	東部・富士北麓	74	76	76	87	313
合計			836	838	843	820	3,337

(3) 本報告書の計算値について

アンケート結果の数値は端数処理により、項目の合計が 100%にならない場合がある。

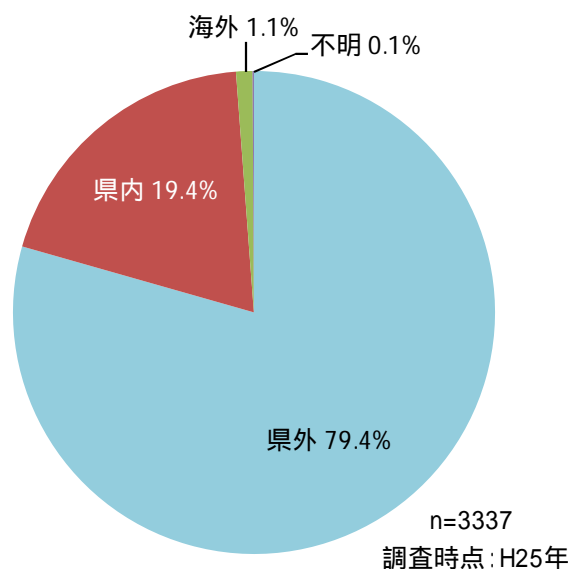
2. 観光客の特性、動態状況の分析

観光客アンケート調査の結果を基に、本県の観光客の全体像と、分類別の観光客の特徴を分析した。

(1) 本県観光客の全体像

居住地

観光客の居住地は、「県内」が19.4%、「県外」が79.4%、「海外」が1.1%である。前年調査と比較すると、県外が2.1ポイント増加し、県内が2.4ポイント減少しており、来県者の増加傾向がみられる。

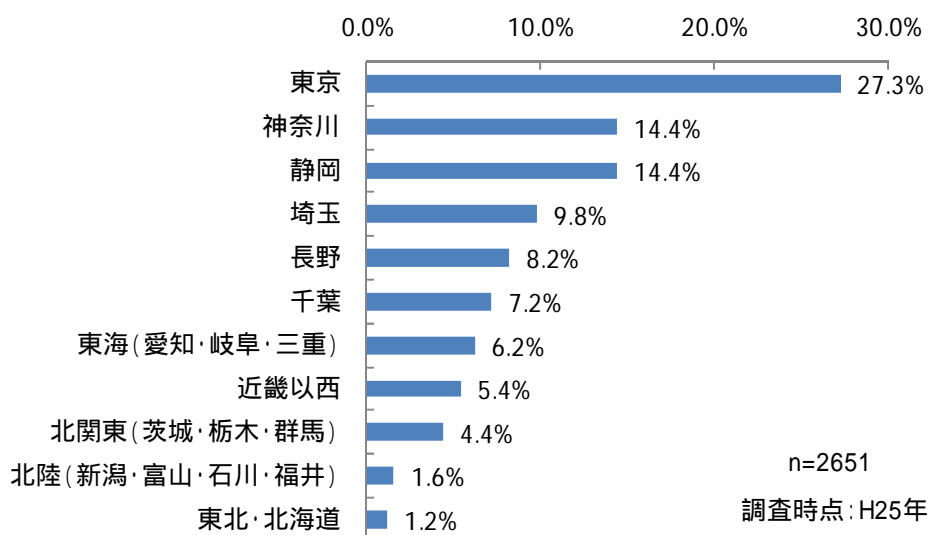


カテゴリ	H25年 (%)	H24年 (%)	比較増減 (ポイント)
県外	79.4%	77.3%	2.1
県内	19.4%	21.8%	2.4
海外	1.1%	0.9%	0.2
不明	0.1%	0.0%	0.1

有意な差あり

外国人及び不明の者を除いた県外客の居住地は、東京都 723 人 (27.3%)、神奈川県 383 人 (14.4%)、静岡県 383 人 (14.4%)、埼玉県 259 人 (9.8%)、長野県 217 人 (8.2%) と、隣接する都県からの来訪者が多い。

季節変動をみると、夏は遠方からの来訪割合が増加したため、相対的に隣接県都からの来訪者割合が減少している。

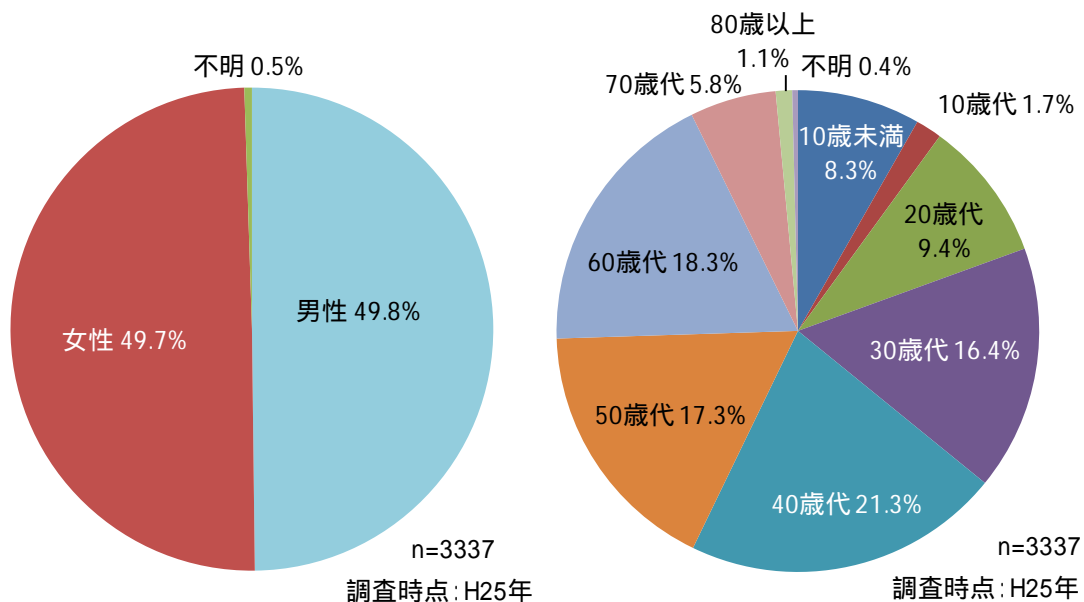


H25年	冬	春	夏	秋	年間
東京	30.7%	28.0%	24.6%	26.1%	27.3%
神奈川	13.6%	15.2%	13.6%	15.3%	14.4%
静岡	16.3%	14.3%	13.5%	13.8%	14.4%
埼玉	9.9%	10.3%	9.0%	9.9%	9.8%
長野	9.9%	8.4%	7.5%	7.1%	8.2%
千葉	6.6%	6.1%	9.6%	6.3%	7.2%
東海 (愛知・岐阜・三重)	4.2%	7.9%	7.4%	7.0%	6.2%
近畿以西	3.4%	3.4%	8.4%	7.9%	5.4%
北関東 (茨城・栃木・群馬)	4.0%	5.5%	5.7%	3.6%	4.4%
北陸 (新潟・富山・石川・福井)	0.8%	1.5%	1.1%	3.4%	1.6%
東北・北海道	0.5%	0.6%	2.1%	1.8%	1.2%

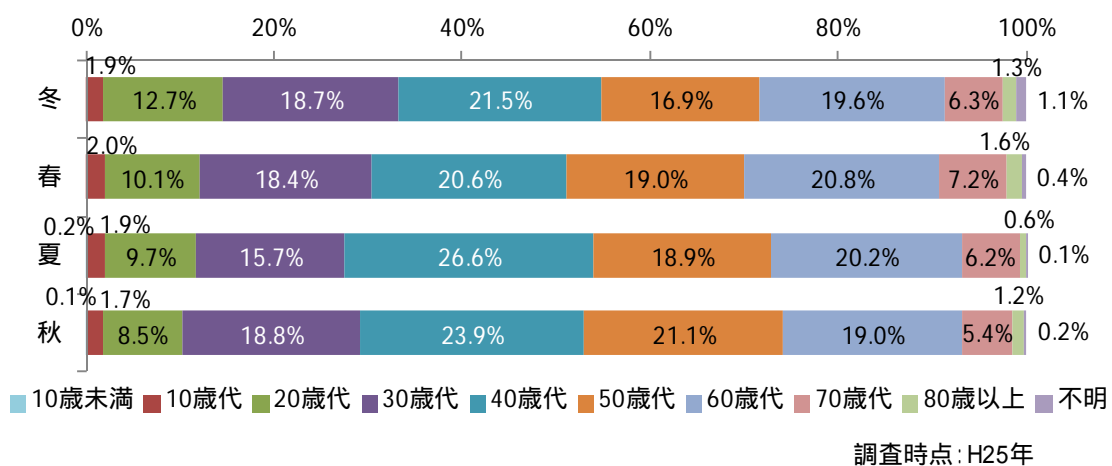
性別・年代

アンケート回答者のうち、男性は49.8%、女性は49.7%である。

年齢層をみると、「40歳代」(21.3%)が最も多く、「30歳代」、「50歳代」、「60歳代」が17%前後で均衡している。



季節毎で見ると、春は「60歳代」、それ以外の季節は「40歳代」の割合が最も高くなっている。

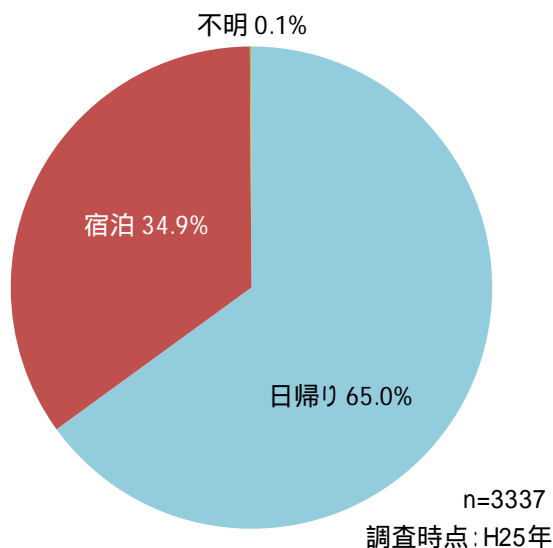


滞在状況（日帰り・宿泊）

滞在状況は、「日帰り」が65.0%を占める。「宿泊」は、34.9%であった。

平成24年調査結果と比較すると、「日帰り」が3.1ポイント減少し、「宿泊」が3.1ポイント増加している。

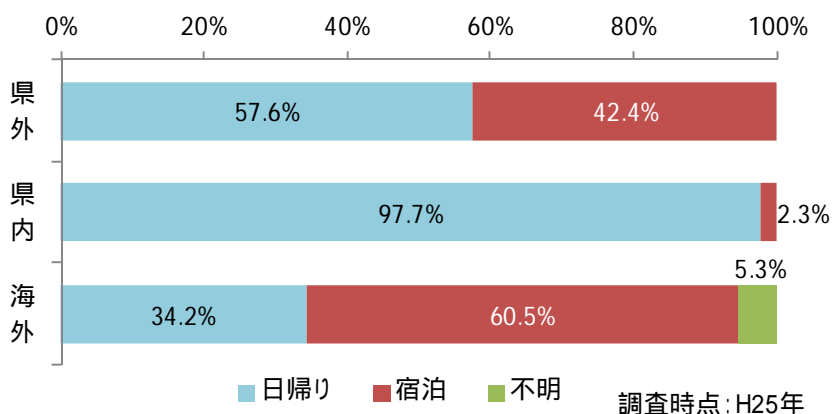
居住地別でみると、県内は「日帰り」が97.7%を占めるのに対し、県外では42.4%、海外では60.5%が「宿泊」となっている。



【前年対比】

カテゴリ	H25年 (% ^入 -入)	H24年 (% ^入 -入)	比較増減 (ポイント)
日帰り	65.0%	68.1%	3.1
宿泊	34.9%	31.8%	3.1
不明	0.1%	0.1%	0.0

有意な差あり

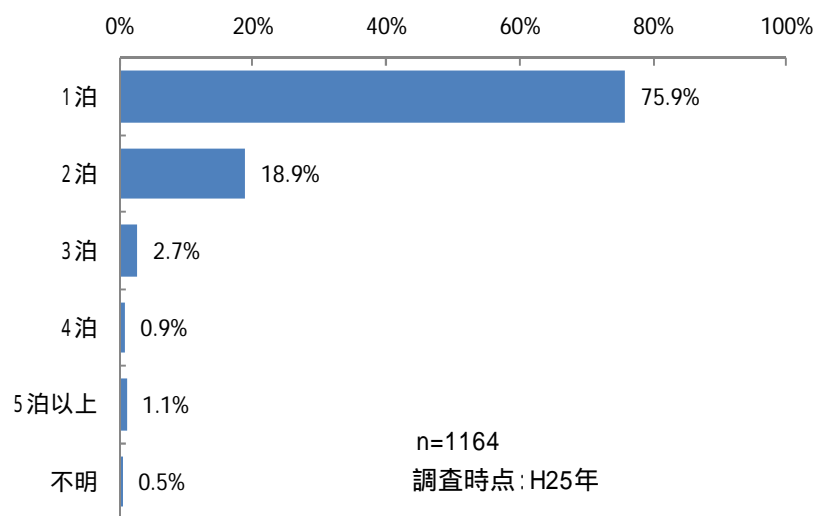


カテゴリ	県外 (% ^入 -入)	県内 (% ^入 -入)	海外 (% ^入 -入)
日帰り	57.6%	97.7%	34.2%
宿泊	42.4%	2.3%	60.5%
不明	0.0%	0.0%	5.3%

有意な差あり

宿泊客のうち、山梨県内への宿泊数は、「1泊」(75.9%)が最も高く、次いで「2泊」(18.9%)である。

平成24年調査結果と比較すると、「1泊」の割合が7.1ポイント減少し、その一方で「2泊」の割合が7.3ポイント増加した。



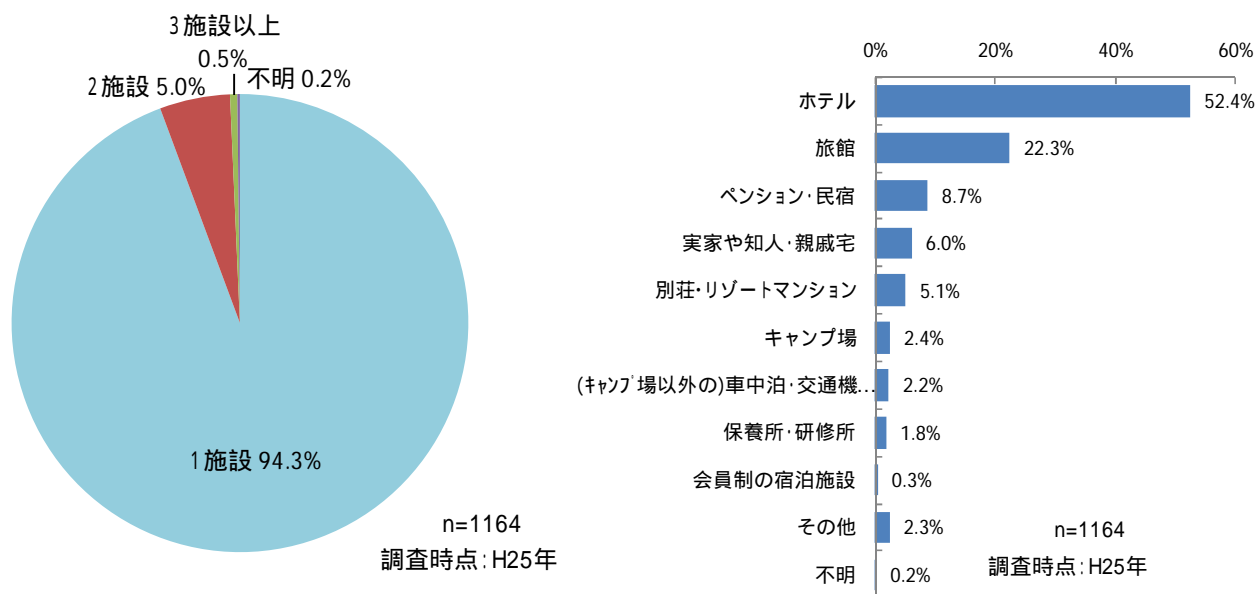
*複数回答

【前年対比】

カテゴリ	H25年 (%入)	H24年 (%入)	比較増減 (ポイント)
1泊	75.9%	83.0%	7.1
2泊	18.9%	11.6%	7.3

宿泊施設

県内宿泊者のうち、宿泊した施設数は「1施設」(94.3%)がほとんどである。
 宿泊施設の種類は、「ホテル」(52.4%)が過半数を占める。次いで、「旅館」(22.3%)、
 「ペンション・民宿」(8.7%)、「実家や知人・親戚宅」(6.0%)の順となっており、前年と
 同様の構成であった。



*複数回答

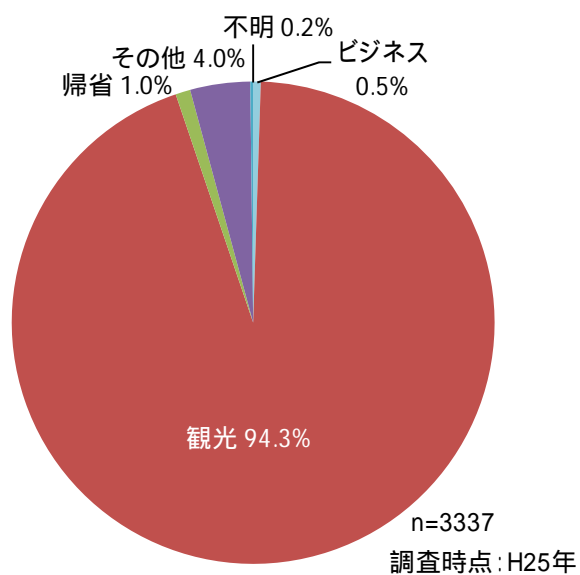
【前年対比】

カテゴリ	H25年 (%入)	H24年 (%入)	比較増減 (ポイント)
ホテル	52.4%	53.0%	0.6
旅館	22.3%	23.7%	1.4
ペンション・民宿	8.7%	5.9%	2.8
実家や知人・親戚宅	6.0%	5.4%	0.6
別荘・リゾートマンション	5.1%	5.9%	0.8
キャンプ場	2.4%	1.2%	1.2
(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	2.2%	1.1%	1.1
保養所・研修所	1.8%	2.2%	0.4

旅行の主な目的

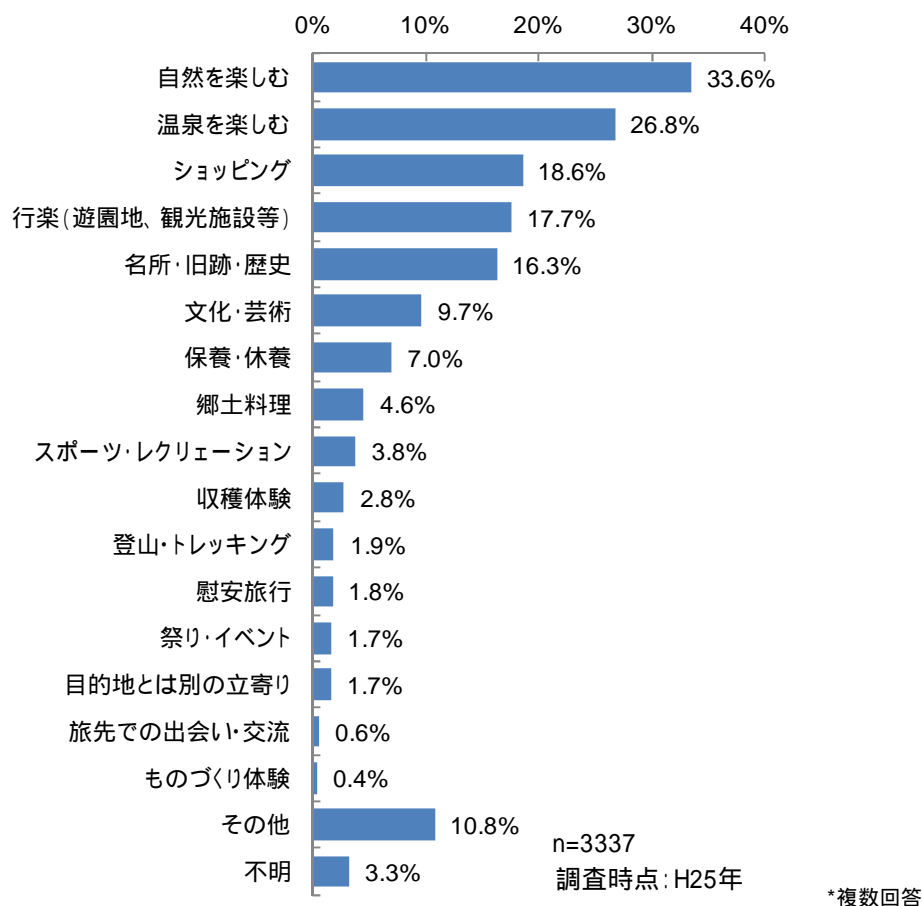
旅行の主な目的は、「観光」が94.3%を占める。

「その他」(4.0%)の内容は「神社仏閣の参拝」などである。



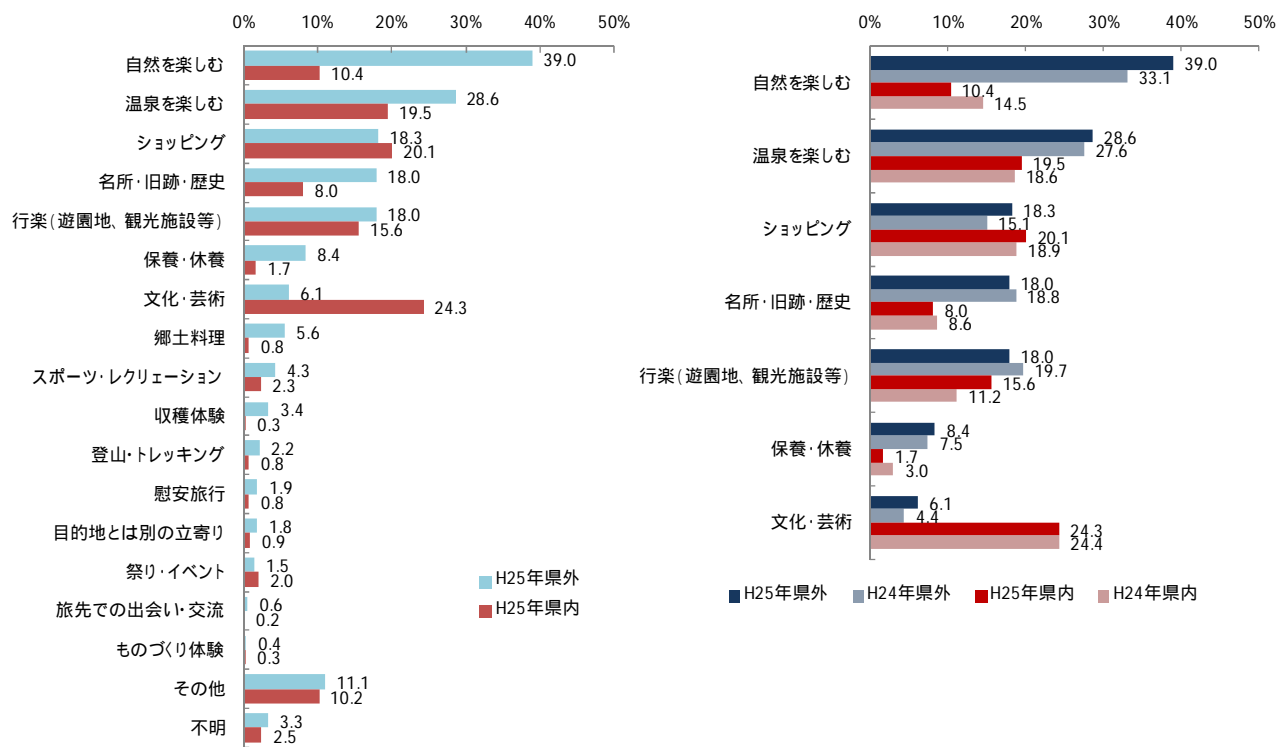
観光旅行に限ってその目的をみると、「自然を楽しむ」が33.6%と最も高く、次いで「温泉を楽しむ」(26.8%)、「ショッピング」(18.6%)となっている。

平成24年調査結果と比較すると、ほぼ同様の構成比であったが、特に「自然を楽しむ」が4.4ポイント増加している。



	冬	春	夏	秋	H25年	H24年	比較増減
自然を楽しむ	21.1%	36.9%	32.5%	44.0%	33.6%	29.2%	4.4
温泉を楽しむ	33.1%	29.5%	22.4%	22.1%	26.8%	25.6%	1.2
ショッピング	21.8%	18.6%	17.2%	16.8%	18.6%	15.8%	2.8
行楽(遊園地、観光施設等)	19.5%	19.5%	15.3%	16.5%	17.7%	17.9%	0.2
名所・旧跡・歴史	21.1%	16.1%	13.8%	14.4%	16.3%	16.7%	0.4
文化・芸術	9.6%	9.1%	9.4%	10.7%	9.7%	8.9%	0.8
保養・休養	5.6%	8.4%	6.9%	7.2%	7.0%	6.4%	0.6
郷土料理	4.4%	4.8%	4.0%	5.1%	4.6%	3.3%	1.3
スポーツ・レクリエーション	5.9%	2.6%	3.4%	3.4%	3.8%	3.1%	0.7

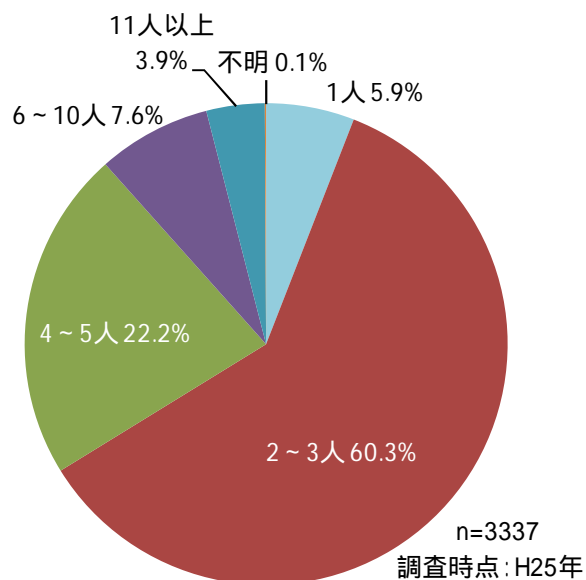
観光旅行の目的を居住地別にみると、県外客では「自然を楽しむ」(39.0%)が最も高く、次いで、「温泉を楽しむ」(28.6%)、「ショッピング」(18.3%)の順となっている。一方、県内客では「文化・芸術」が24.3%で最も高く、「ショッピング」(20.1%)が続いている。平成24年調査結果と比較するとほぼ同様の傾向であるが、「自然を楽しむ」が県外で5.9ポイント増加しており、県内では4.1ポイント減少している。



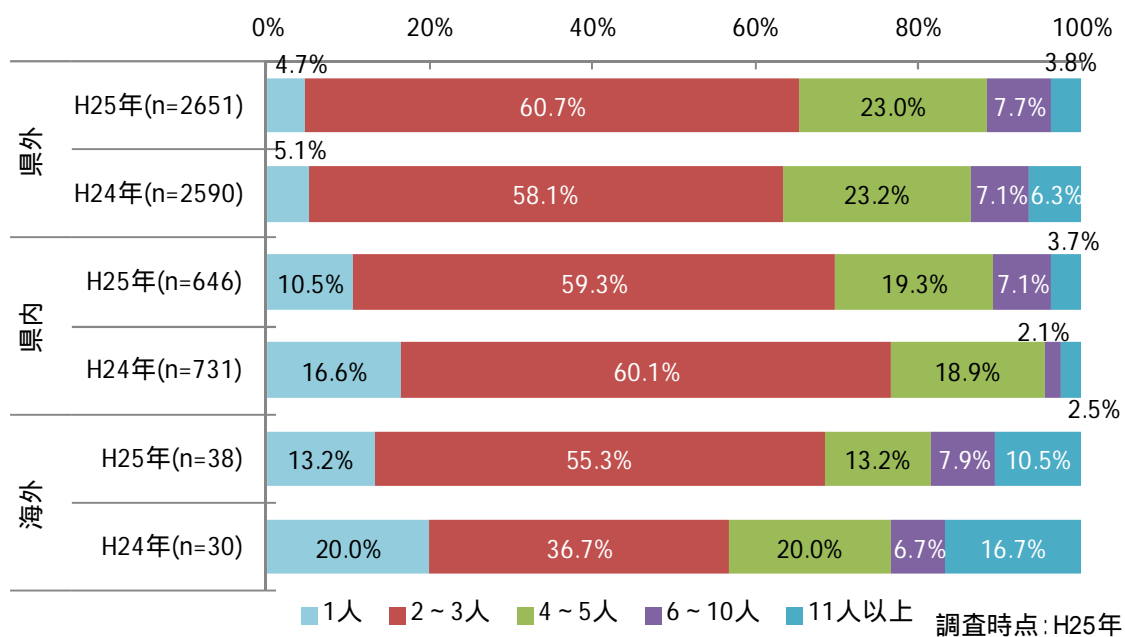
* 複数回答

同行者

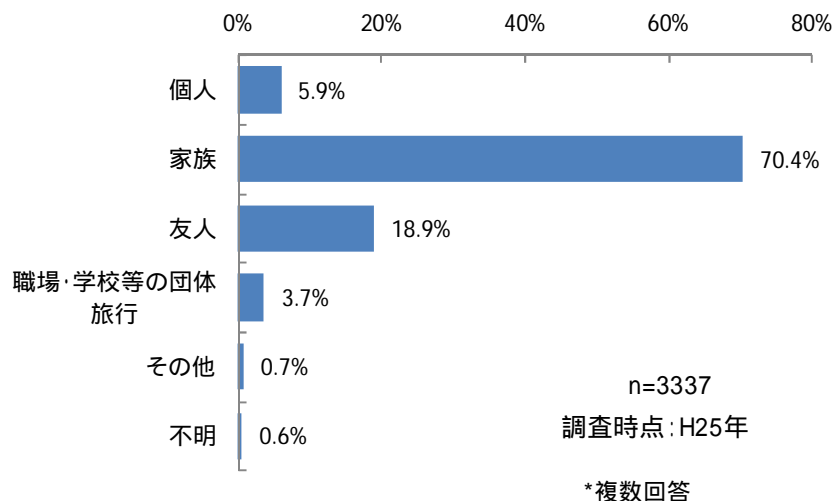
同行人数は、「2～3人」が60.3%と最も高く、次いで「4～5人」(22.2%)となっており、5人以下の少人数のグループによる旅行が9割近くを占めている。



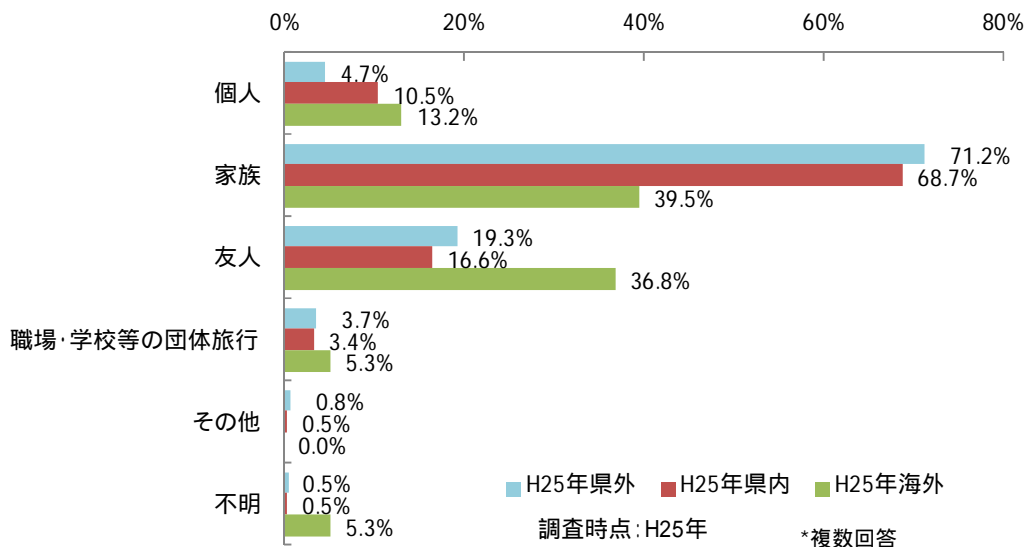
居住地別の旅行人数では、県外は前年調査と同様に、2～3人程度のグループが最も多い傾向は変わらない。一方で、県内は1人の割合が減少し、6人以上の割合が高くなっている。



同行者は「家族」が70.4%で最も高く、次いで「友人」(18.9%)となっている。



居住地別にみても、同様の傾向であり、「家族」が6割、「友人」が2割前後となっている。前年調査と比較すると「家族」が5.0ポイント増加し、それ以外は減少している。



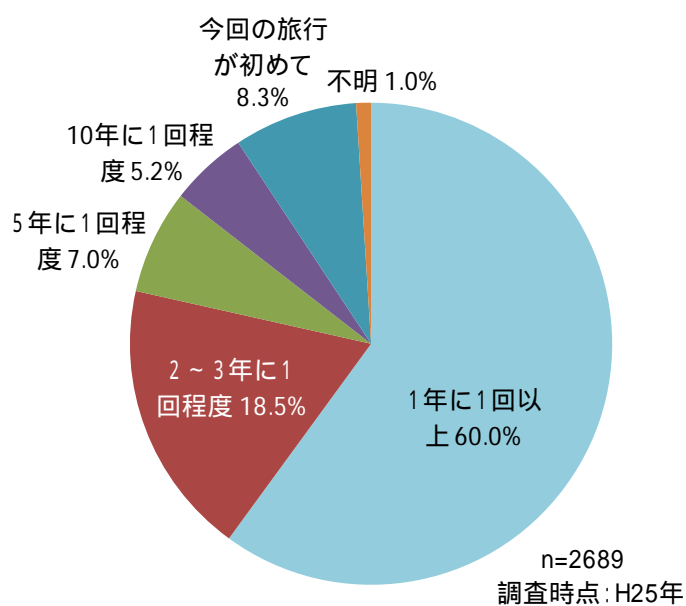
【前年対比】

カテゴリー	H25年 (%ポイント)	H24年 (%ポイント)	比較増減 (ポイント)
個人	5.9%	7.7%	1.8
家族	70.4%	65.4%	5.0
友人	18.9%	20.1%	1.2
職場・学校等の団体旅行	3.7%	4.8%	1.1
その他	0.7%	1.4%	0.7
不明	0.6%	0.9%	0.3

県外客の山梨への訪問頻度

県外客が山梨を訪れる頻度は、「1年に1回以上」が60.0%で最も高く、次いで「2～3年に1回程度」(18.5%)、「今回の旅行が初めて」(8.3%)、「5年に1回程度」(7.0%)と続いている。

また、前年調査と比較すると、「今回の旅行が初めて」が1.3ポイント増加しているが、一方で「1年に1回以上」が1.5ポイント減少している。



【前年対比】

カテゴリ	H25年 (%ポイント)	H24年 (%ポイント)	比較増減 (ポイント)
1年に1回以上	60.1%	61.6%	1.5
2～3年に1回程度	18.5%	18.9%	0.4
5年に1回程度	7.0%	7.3%	0.3
10年に1回程度	5.2%	5.0%	0.2
今回の旅行が初めて	8.3%	7.0%	1.3
不明	1.0%	0.3%	0.7

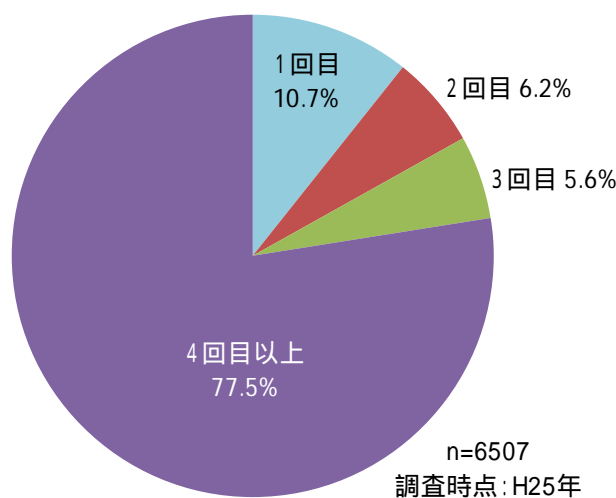
有意な差あり

同行者の本県への訪問回数

同行者全員の山梨県への訪問回数を知っていると回答した 2,153 人（県外居住者の 81.2%）について、回答した方と同行者も含めた山梨県への訪問回数をみると、「4 回目以上」が 77.5%と最も高く、次いで「1 回目」（10.7%）となっている。

季節毎では、上半期では 4 回目以上が 8 割近くであったが、夏以降は減少傾向がみられる。

前年調査と比較すると、差は統計誤差の範囲内であるが、「1 回目」が 1.3 ポイント減少、「4 回目以上」が 0.8 ポイント増加している。



カテゴリ	冬 (%ポイント)	春 (%ポイント)	夏 (%ポイント)	秋 (%ポイント)	H25年 (%ポイント)	H24年 (%ポイント)	比較増減 (ポイント)
1回目	10.4%	9.9%	10.7%	11.6%	10.7%	12.0%	1.3
2回目	5.3%	5.8%	5.8%	7.6%	6.2%	6.2%	0.0
3回目	5.3%	5.1%	6.7%	5.4%	5.6%	5.1%	0.5
4回目以上	79.1%	79.1%	76.8%	75.4%	77.5%	76.7%	0.8

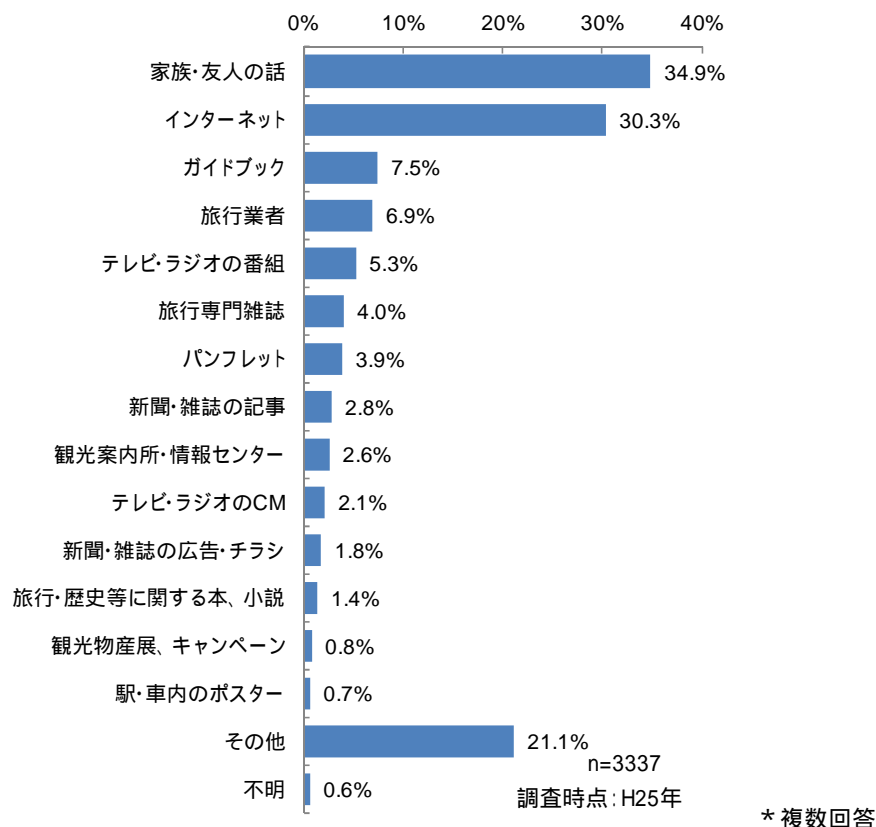
有意な差あり

差は統計誤差の範囲内

旅行計画の参考資料

観光客が旅行計画を立てる際に参考にするものとしては、「家族・友人の話」が34.9%で最も高い。次いで「インターネット」(30.3%)、「ガイドブック」(7.5%)と続いている。

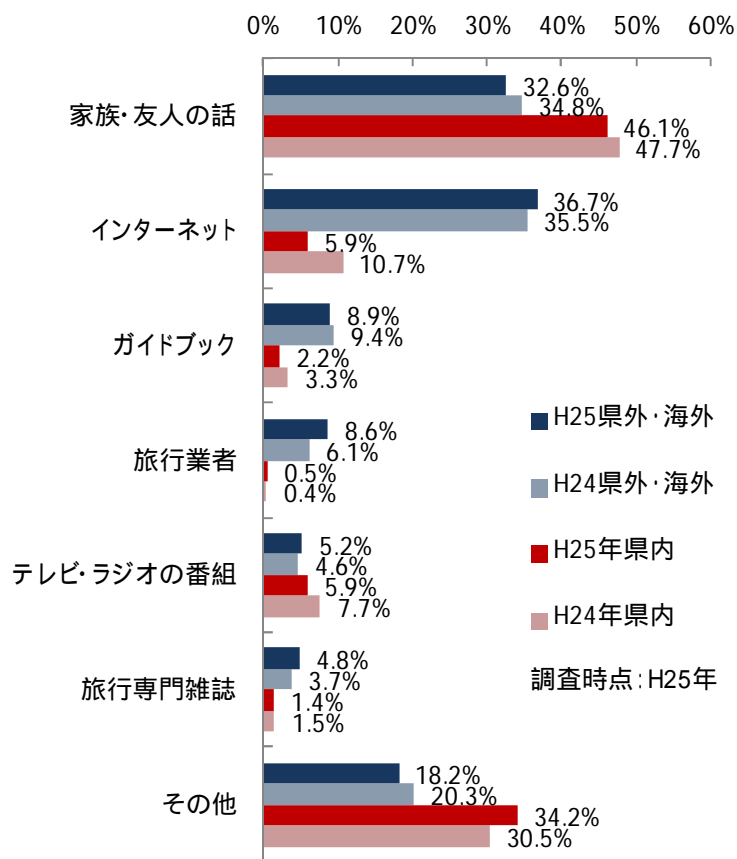
「その他」が21.1%と多くなっているが、これは回答者が訪問地を以前から知っていたり、リピーターであるケースが多い。



【前年対比】

	H25年	H24年	比較増減
家族・友人の話	34.9%	37.6%	2.8
インターネット	30.3%	30.1%	0.2
ガイドブック	7.5%	8.1%	0.6
旅行業者	6.9%	4.9%	2.1
テレビ・ラジオの番組	5.3%	5.3%	0.0
旅行専門雑誌	4.0%	3.2%	0.8
パンフレット	3.9%	4.8%	0.9
新聞・雑誌の記事	2.8%	3.3%	0.5

旅行計画の参考資料を居住地別にみると、県外では「インターネット」(36.7%)が「家族・友人の話」(32.6%)を上回り、前年から増加傾向が続いている。県内では「家族・友人の話」(46.1%)がもっとも高くなっている。

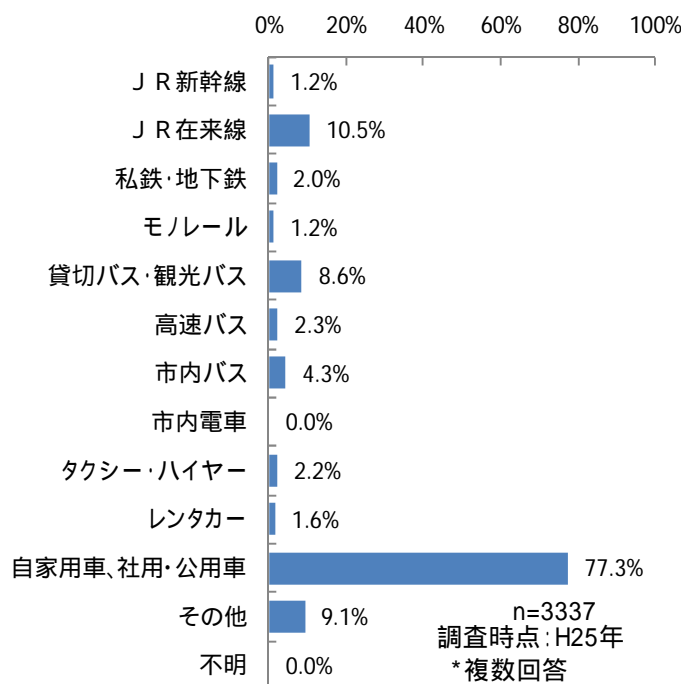


* 複数回答

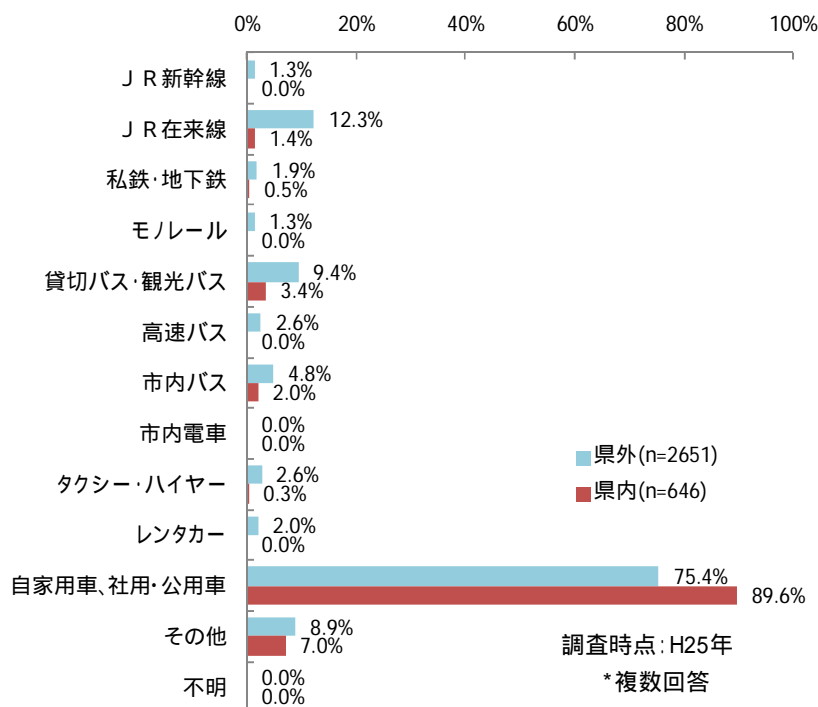
観光客の交通手段

訪問地へ来る直前とその直後で利用する交通機関については、全ての調査地点合計では、「自家用車、社用・公用車」が圧倒的に多く7割以上を占める。次いで「JR 在来線」(10.5%)、「貸切バス・観光バス」(8.6%)となっている。

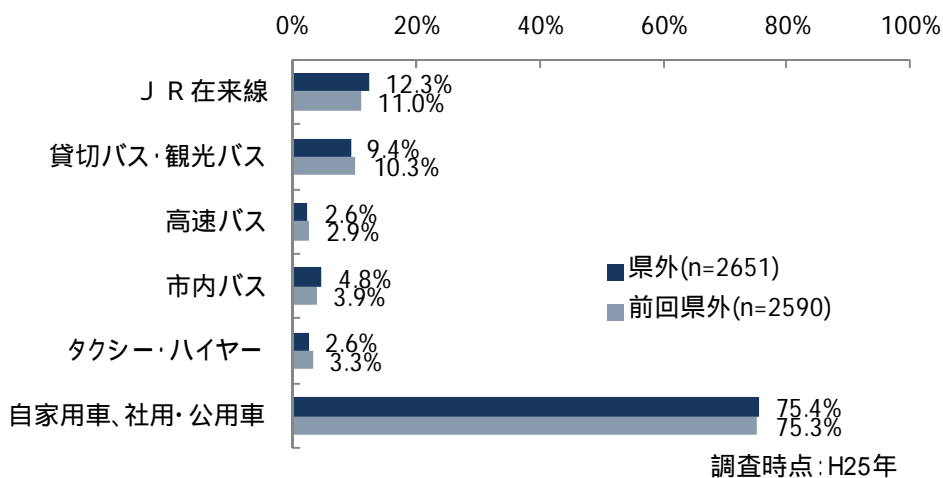
【全体】



【居住地（県内・県外）×交通】



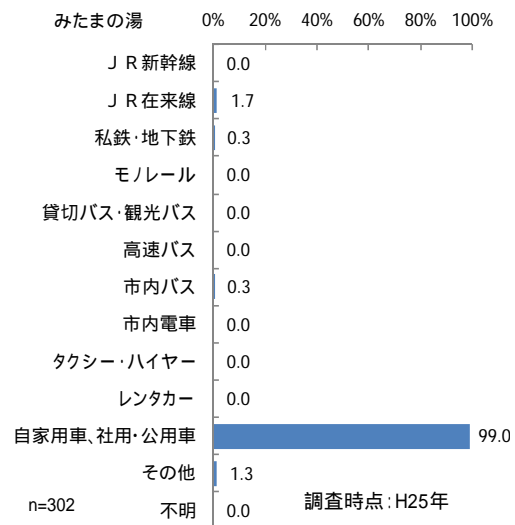
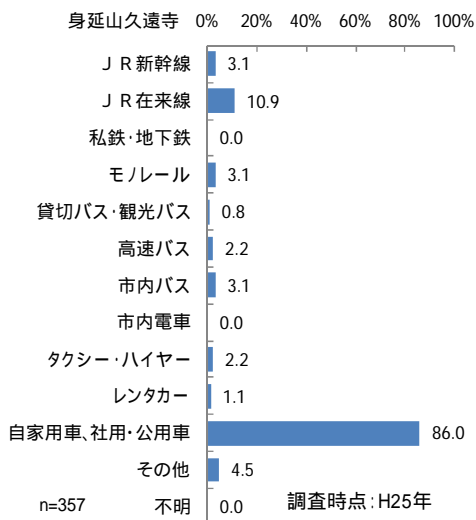
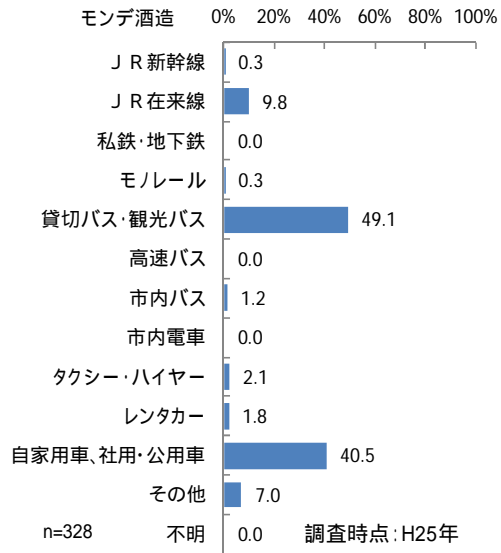
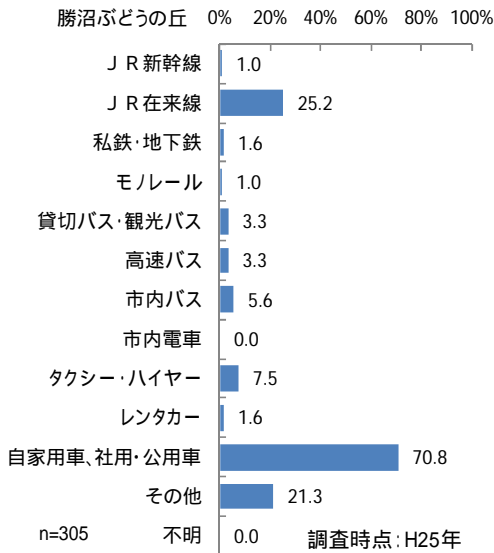
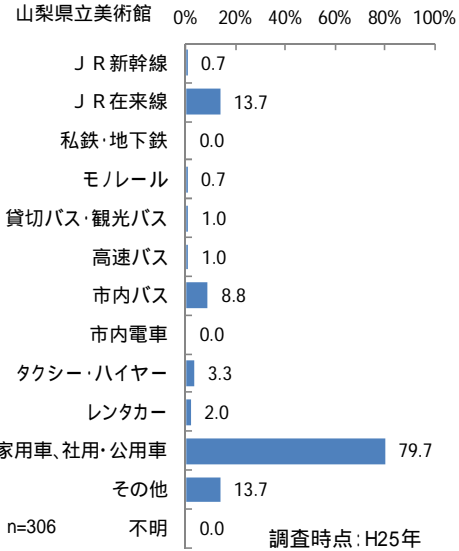
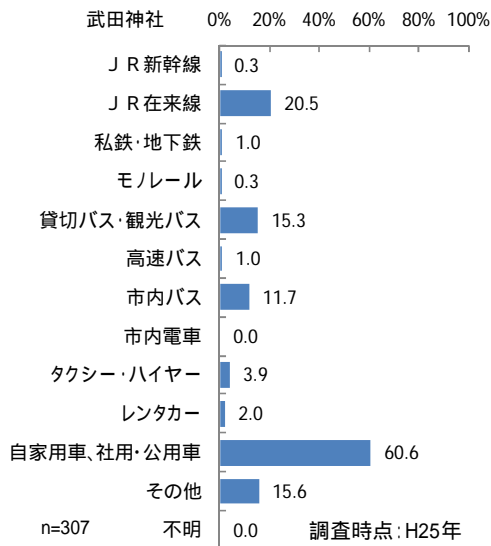
【経年比較】

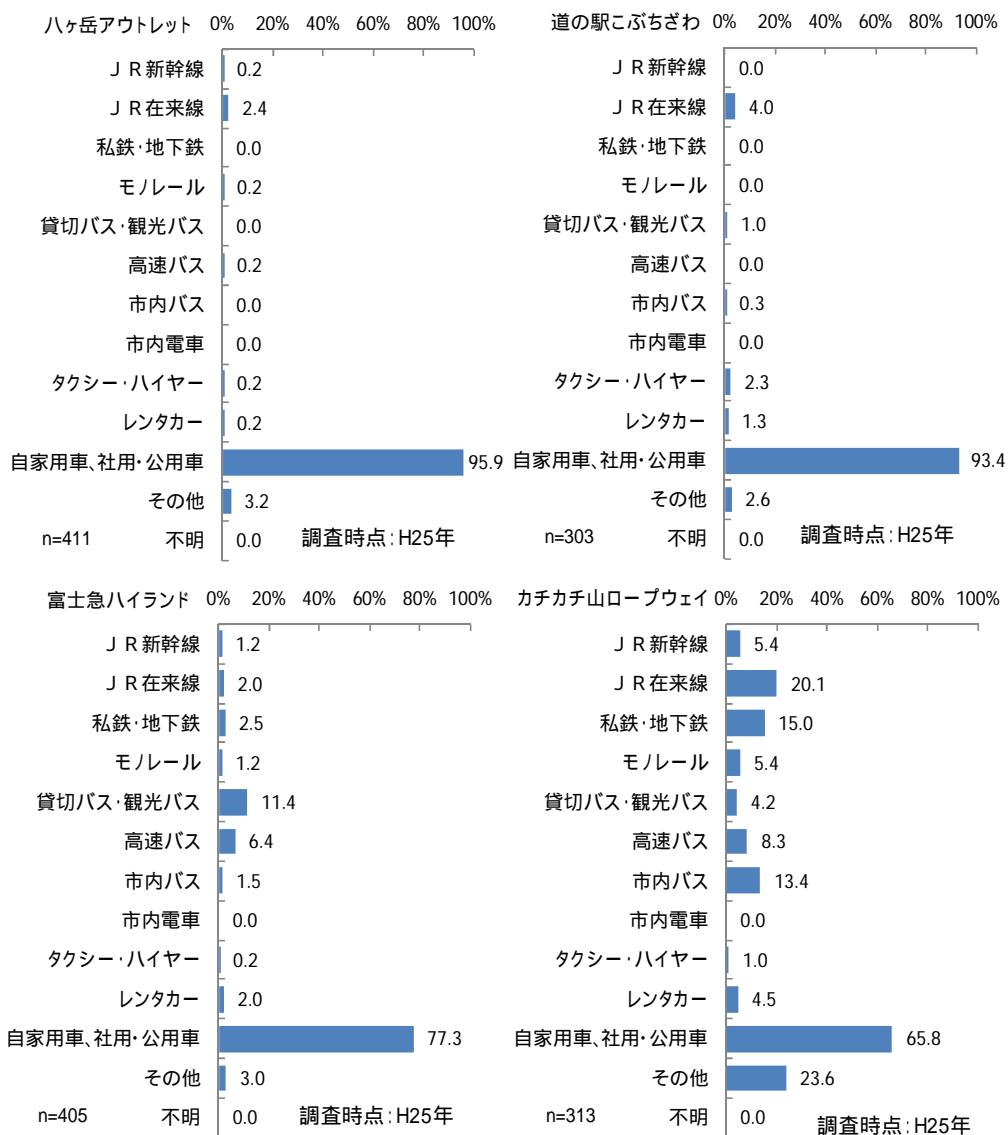


地点別では、「モンデ酒造」での「貸切バス・観光バス」の利用が半数近くを占めており、団体バス旅行が有力顧客層を形成している状況がうかがえる。

その他では、「勝沼ぶどうの丘」は「J R 在来線」や「タクシー・ハイヤー」、**「カチカチ山ロープウェイ」**では「J R 在来線」や「私鉄・地下鉄」、「市内バス」の利用割合が比較的高い。

一方、「八ヶ岳アウトレット」、「道の駅こぶちさわ」、「みたまの湯」では、「自家用車、社用・公用車」の割合が高く、9割前後になっている。公共交通機関の利用が不便な立地が大きく影響していると考えられる。





県内での観光消費額

本県での観光消費の実態を把握するため、観光客を「パック旅行以外の個人・団体旅行者」と「パック旅行者」に分け、それぞれの観光消費額を分析した。

また、パック旅行以外の旅行者に関しては、さらに「県外からの宿泊客」、「県外からの日帰り客」、「県内からの日帰り客」の3つの属性に分け、項目別にそれぞれの平均観光消費額を求めた。

(1) パック旅行以外の個人・団体旅行

属性（県外宿泊・県外及び県内日帰り）別の一人当たり平均観光消費額は、「県外からの宿泊客」が26,823円、「県外からの日帰り客」が8,424円、「県内からの日帰り客」が4,184円となった。全体の平均消費額は、宿泊が27,108円、日帰りの支出が7,135円だった。

季節別にみると、宿泊では、県外客が夏と冬が高いのに対して、日帰りでは夏と秋が高くなっている。県内外ともに、日帰りでは冬の消費額が低い。

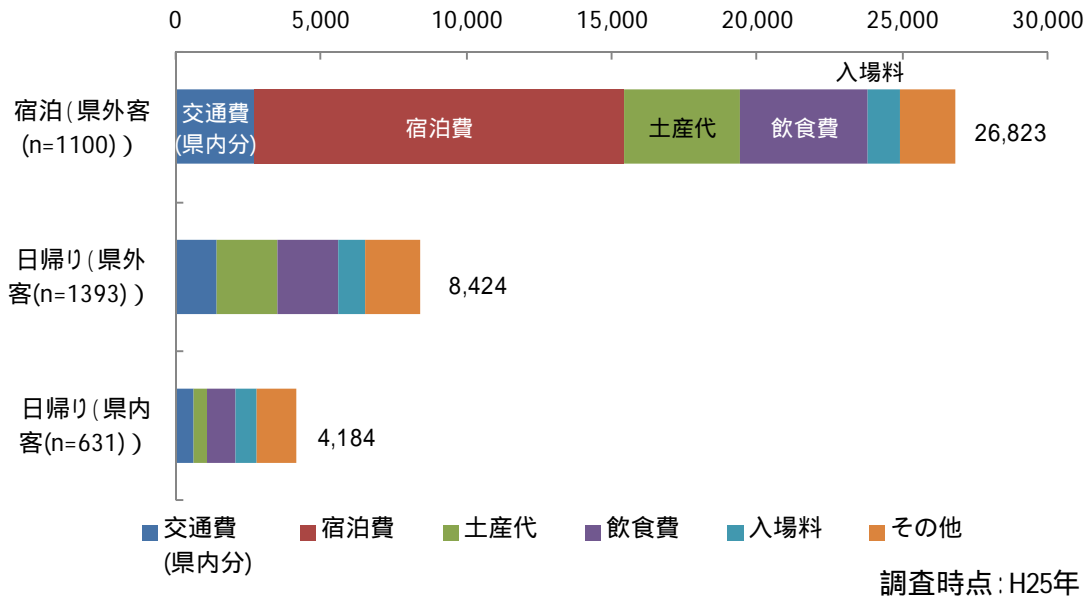
前年と比較すると、全体的に消費額は増加した。

属性		冬	春	夏	秋	H25年	H24年
宿泊	県外客	26,927	24,899	28,682	26,743	26,823	25,442
	県内客	27,994	24,902	29,037	26,512	27,108	25,295
日帰り	県外客	7,498	7,788	9,988	8,385	8,424	7,699
	県内客	3,738	4,284	4,391	4,568	4,184	3,868
全体		6,030	6,756	8,439	7,457	7,135	6,440
全体		13,239	12,951	16,121	14,631	14,219	12,437

調査時期：H25年			交通費 (県内分)	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計	交通費 (県外分)
宿泊	県外客 (n=1100)	平均額	2,726	12,674	4,052	4,378	1,126	1,868	26,823	3,884
		中央値	2,000	12,000	3,000	3,000	0	0	20,000	2,000
	宿泊全体 (n=1128)	平均額	2,762	12,942	4,023	4,380	1,163	1,838	27,108	3,850
		中央値	2,000	12,000	3,000	3,000	0	0	20,000	2,000
日帰り	県外客 (n=1393)	平均額	1,418	0	2,080	2,117	915	1,894	8,424	1,867
		中央値	1,000	0	1,500	1,500	500	0	4,500	1,300
	県内客 (n=631)	平均額	596	0	454	1,009	687	1,438	4,184	13
		中央値	450	0	0	1,000	0	0	1,450	0
	日帰り全 (n=2033)	平均額	1,181	0	1,588	1,775	845	1,747	7,135	1,293
		中央値	1,000	0	1,000	1,500	0	0	3,500	800
全体 (n=3161)	平均額	1,743	4,586	2,452	2,701	958	1,779	14,219	2,201	
	中央値	1,100	0	1,550	2,000	0	0	4,650	1,200	

平均消費額

(単位:円)

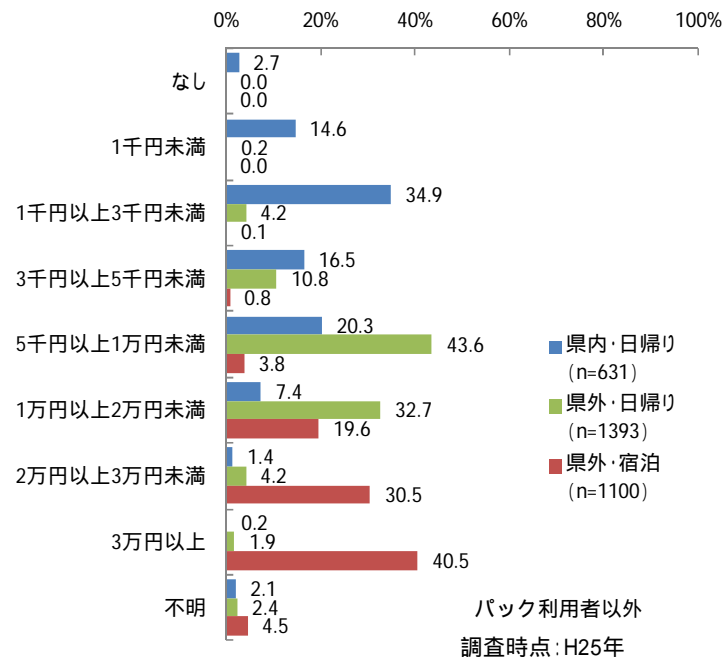


【前年対比】

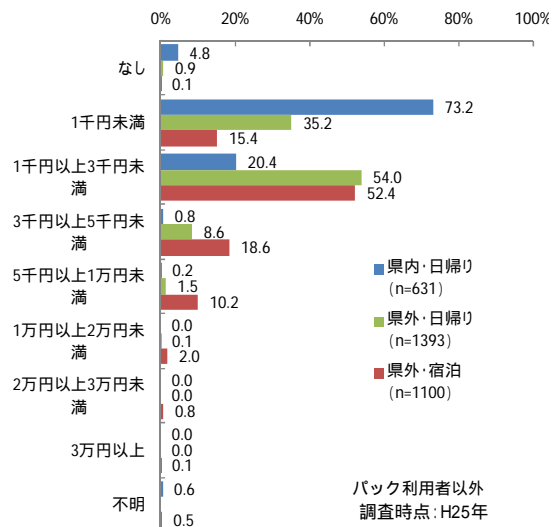
カテゴリ		H25年	H24年	比較増減(円)
		(%↑-入)	(%↑-入)	
宿泊全体		27,108	25,295	1,813
日帰り	県外客	8,424	7,699	725
	県内客	4,184	3,868	316
	全体	7,135	6,440	695
観光全体		14,219	12,437	1,782

観光客が山梨県内で消費した金額の平均

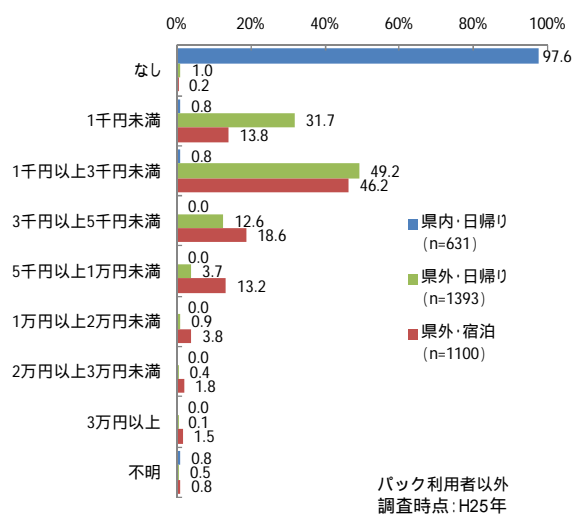
消費額全体【居住地/宿泊・日帰り別】



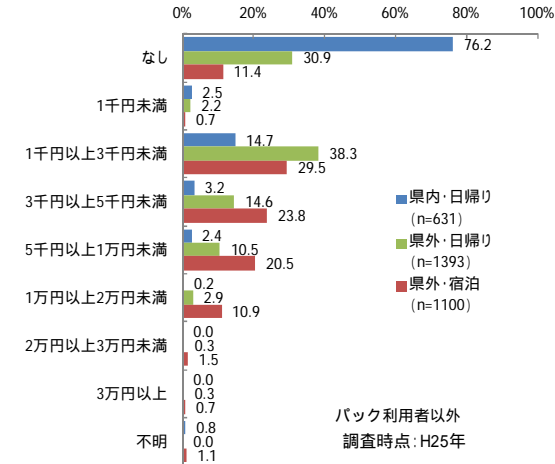
交通費(県内) [居住地 / 宿泊・日帰り別]



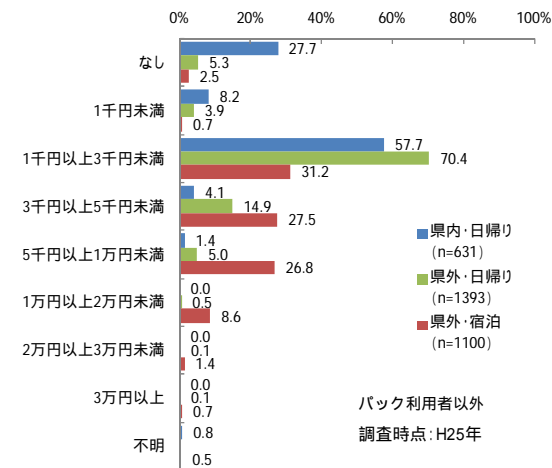
交通費(県外) [居住地 / 宿泊・日帰り別]



土産代 [居住地 / 宿泊・日帰り別]



飲食費 [居住地 / 宿泊・日帰り別]

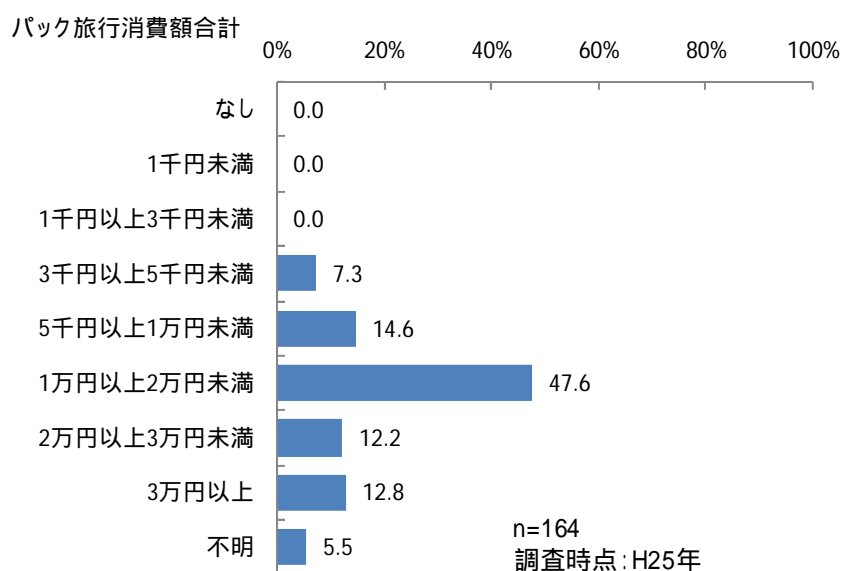
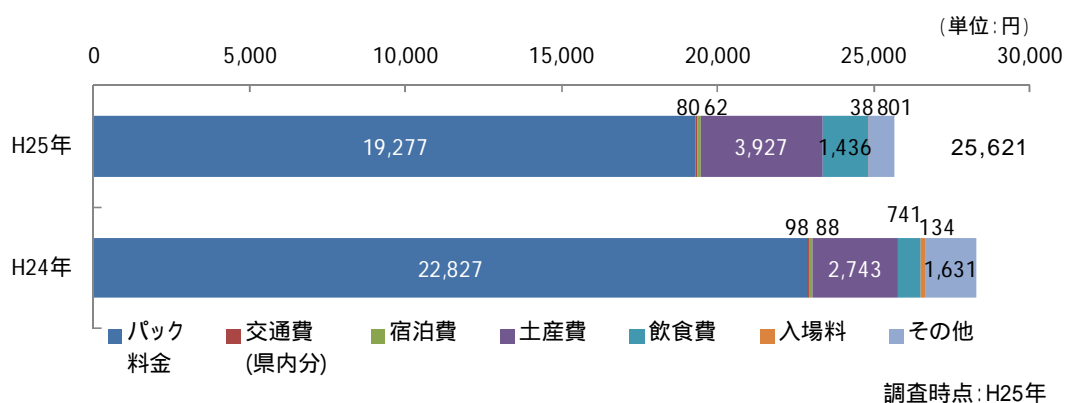


(2) パック旅行者

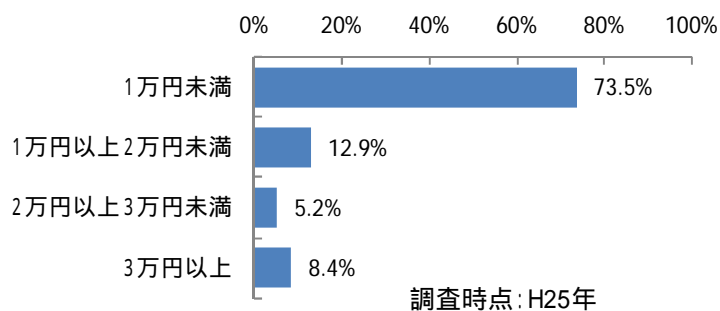
パック料金の平均額は19,277円であった。パック料金は「1万円未満」(73.5%)が最も多く、次いで、「1万円以上～2万円未満」(12.9%)である。前年と比較すると、3万円以上の割合が減少し1万円未満の割合が増加しており、パック料金の平均額が減少している。

パック料金以外の消費額では、「1万円未満」(77.4%)が最も多く、次いで、「1万円以上～2万円未満」(19.4%)となっており、前年調査と比較して平均額が増加している。

調査時期：H25年		パック料金	交通費 (県内分)	宿泊費	土産費	飲食費	入場料	その他	合計	交通費 (県外分)
全体	平均額	19,277	80	62	3,927	1,436	38	801	25,621	0
	中央値	7,800	0	0	3,000	1,000	0	0	11,800	0
(前年)	平均額	22,827	98	88	2,743	741	134	1,631	28,262	49
	中央値	7,800	0	0	3,000	1,000	0	0	11,800	0



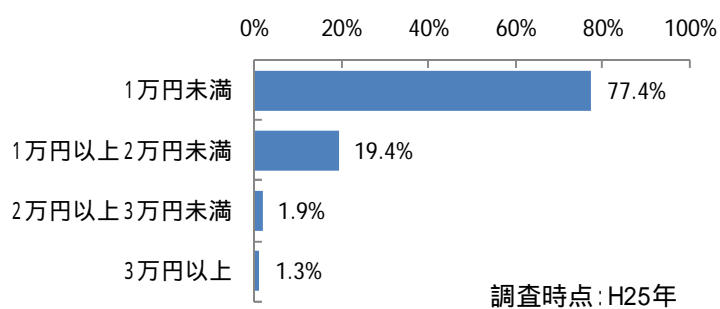
パック料金



パック料金

カテゴリー	冬	春	夏	秋	H25年	H24年
平均額(円)	15,152	16,327	27,888	9,776	19,277	22,827
1万円未満	67.9%	84.4%	72.2%	75.0%	73.5%	56.3%
1万円以上2万円未満	15.1%	0.0%	20.4%	6.3%	12.9%	18.4%
2万円以上3万円未満	5.7%	0.0%	5.6%	12.5%	5.2%	5.8%
3万円以上	11.3%	15.6%	1.9%	6.3%	8.4%	19.4%

その他



その他

カテゴリー	冬	春	夏	秋	H25年	H24年
平均額(円)	6,877	5,338	7,231	3,164	6,344	5,435
1万円未満	64.2%	84.4%	79.6%	100.0%	77.4%	81.6%
1万円以上2万円未満	32.1%	6.3%	20.4%	0.0%	19.4%	13.6%
2万円以上3万円未満	3.8%	3.1%	0.0%	0.0%	1.9%	4.9%
3万円以上	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%

観光客の満足度

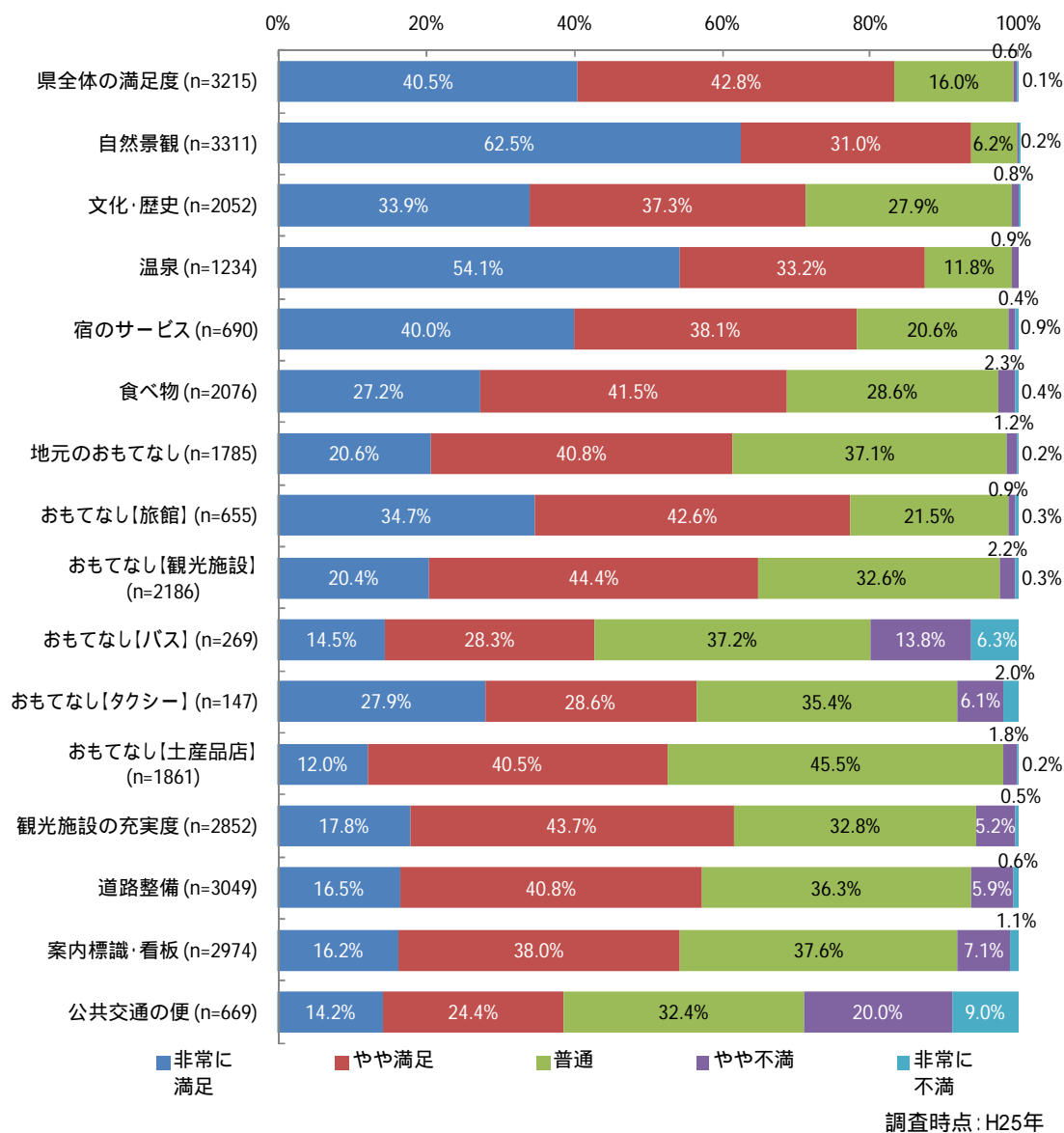
今回の旅行において、観光客が『満足』と答えた割合（「わからない」及び不明を除いた回答者のうち、「非常に満足」または「やや満足」と回答した人の割合）が最も高いのは、個別項目では「自然景観」（93.5%）で、次いで「温泉」（87.4%）となっている。なお、「山梨県全体の満足度」をプラスに評価した割合は83.3%となっている。

逆に、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合が高いのは、「公共交通の便」（29.0%）、「地元のおもてなし【バス】」（20.1%）の順となった。

『満足』の割合は増加した項目が多く、『不満』においても減少した項目が多いことから、県全体への満足度を押し上げていると考えられる。

	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=3215)	83.3%	40.5%	42.8%	16.0%	0.7%	0.6%	0.1%
自然景観 (n=3311)	93.5%	62.5%	31.0%	6.2%	0.2%	0.2%	0.0%
文化・歴史 (n=2052)	71.2%	33.9%	37.3%	27.9%	0.8%	0.8%	0.0%
温泉 (n=1234)	87.4%	54.1%	33.2%	11.8%	0.9%	0.9%	0.0%
宿のサービス (n=690)	78.1%	40.0%	38.1%	20.6%	1.3%	0.9%	0.4%
食べ物 (n=2076)	68.7%	27.2%	41.5%	28.6%	2.7%	2.3%	0.4%
地元のおもてなし (n=1785)	61.4%	20.6%	40.8%	37.1%	1.5%	1.2%	0.2%
おもてなし【旅館】 (n=655)	77.3%	34.7%	42.6%	21.5%	1.2%	0.9%	0.3%
おもてなし【観光施設】 (n=2186)	64.9%	20.4%	44.4%	32.6%	2.6%	2.2%	0.3%
おもてなし【バス】 (n=269)	42.8%	14.5%	28.3%	37.2%	20.1%	13.8%	6.3%
おもてなし【タクシー】 (n=147)	56.5%	27.9%	28.6%	35.4%	8.2%	6.1%	2.0%
おもてなし【土産品店】 (n=1861)	52.6%	12.0%	40.5%	45.5%	1.9%	1.8%	0.2%
観光施設の充実度 (n=2852)	61.5%	17.8%	43.7%	32.8%	5.6%	5.2%	0.5%
道路整備 (n=3049)	57.3%	16.5%	40.8%	36.3%	6.5%	5.9%	0.6%
案内標識・看板 (n=2974)	54.3%	16.2%	38.0%	37.6%	8.2%	7.1%	1.1%
公共交通の便 (n=669)	38.6%	14.2%	24.4%	32.4%	29.0%	20.0%	9.0%

「わからない」及び不明を除く

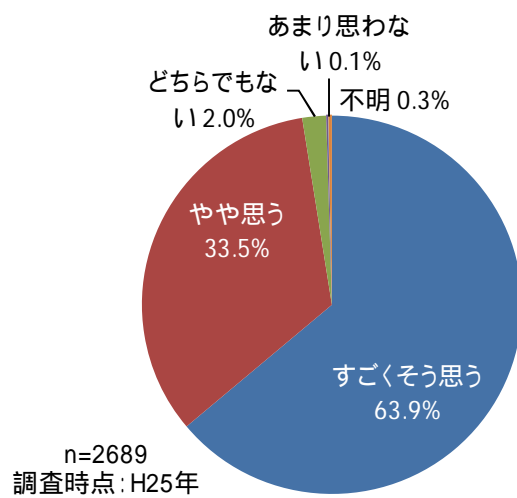


【前年対比】

カテゴリ	H25年 (% [^] -入)	H24年 (% [^] -入)	比較増減 (ポイント)
満足			
自然景観	93.5%	93.3%	0.2%
温泉	87.4%	86.7%	0.6%
文化・歴史	71.2%	66.9%	4.3%
不満			
公共交通の便	29.0%	30.7%	1.7%
おもてなし【バス】	20.1%	17.5%	2.6%
案内標識・看板	8.2%	10.5%	2.3%

再訪希望

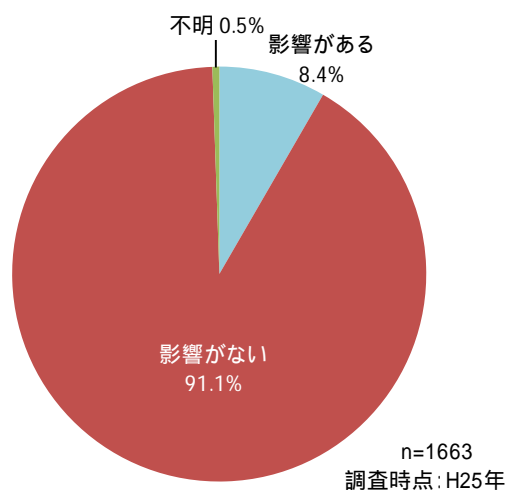
県外からの観光客に山梨再訪の意向についてたずねたところ、「すごくそう思う」(63.9%)、「やや思う」(33.5%)をあわせて97.4%を占めている。



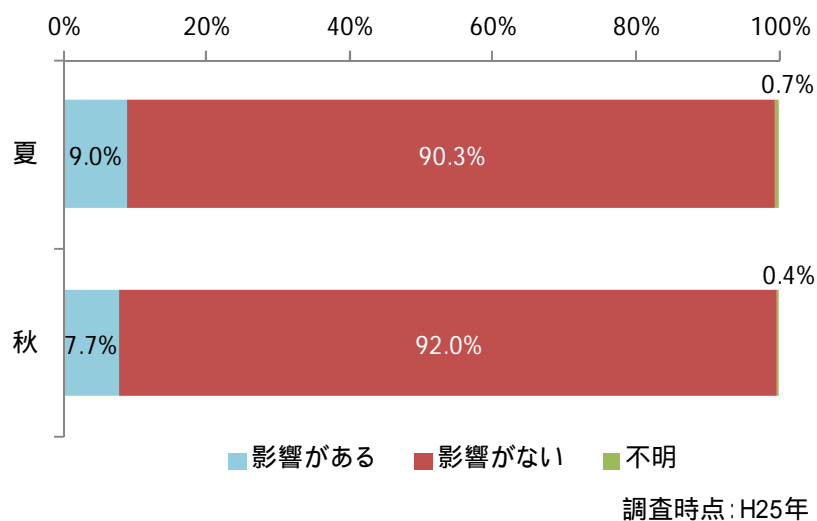
世界遺産の影響

今回の旅行が、富士山が世界遺産に登録されたことがきっかけとなったかたずねたところ、「影響がある」と回答した割合は8.4%であった。

なお、富士山が世界文化遺産登録が旅行に与えた影響に関する設問は、平成24年8月の調査からの新規追加項目である。

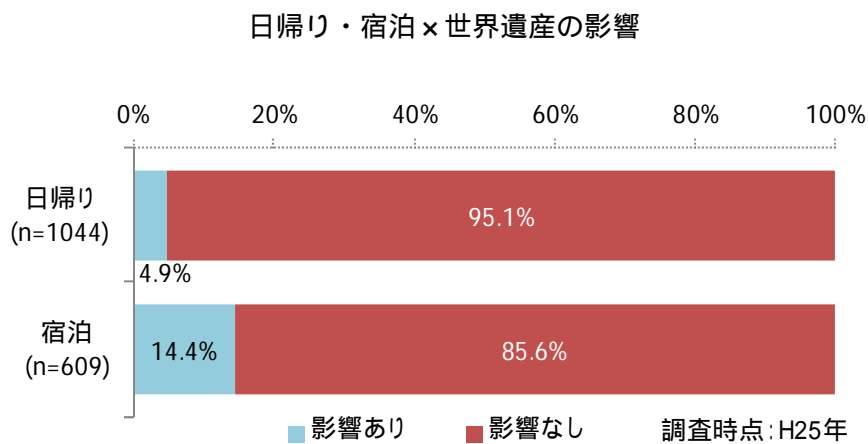
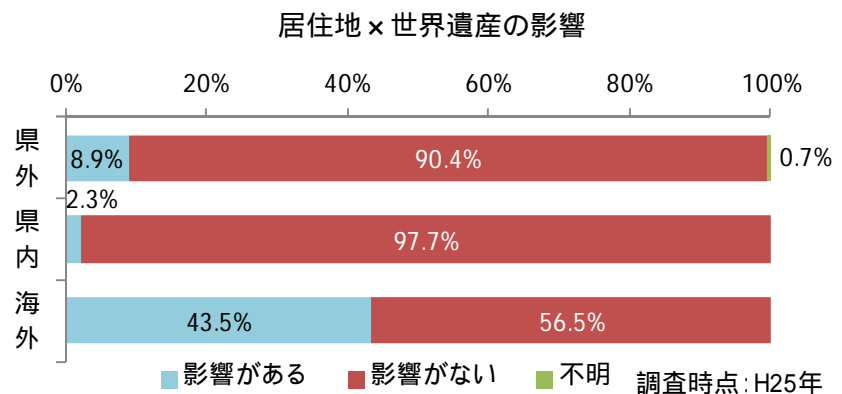


世界遺産登録の影響 × 季節別



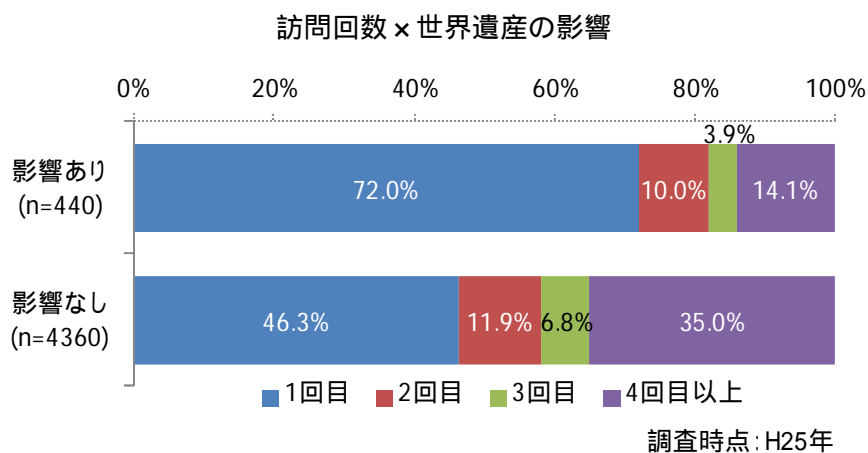
富士山が世界文化遺産登録が旅行に与えた影響に関する設問は、平成24年8月の調査からの新規追加項目

海外からの来訪者では「影響がある」と答えた割合が43.5%と半数近い。
 また、「影響がある」と回答した人は「宿泊」が「日帰り」と比較して3倍近く多い。

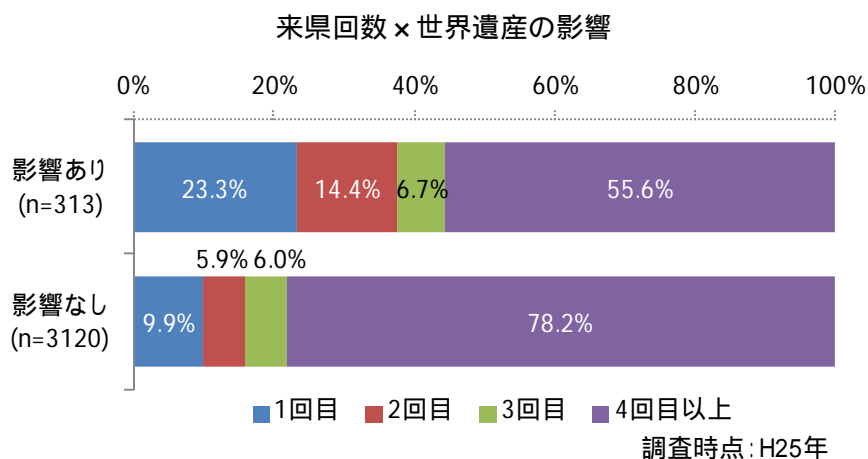


世界文化遺産登録の影響ありなしでみると、「影響あり」と回答した人のうち、調査地点の訪問回数が「1回目」は72.0%に対し、「影響なし」と回答した人では46.3%であった。一方「4回目以上」は、「影響あり」では14.1%にとどまっているが、「影響なし」で35.0%となっている。

来県回数についても同様の構成となっている。



カテゴリ	影響あり (%ベース)	影響なし (%ベース)	比較増減(ポイント)
1回目	72.0%	46.3%	25.7%
2回目	10.0%	11.9%	1.9%
3回目	3.9%	6.8%	2.9%
4回目以上	14.1%	35.0%	20.9%



カテゴリ	影響あり (%ベース)	影響なし (%ベース)	比較増減(ポイント)
1回目	23.3%	9.9%	13.4%
2回目	14.4%	5.9%	8.5%
3回目	6.7%	6.0%	0.7%
4回目以上	55.6%	78.2%	22.6%

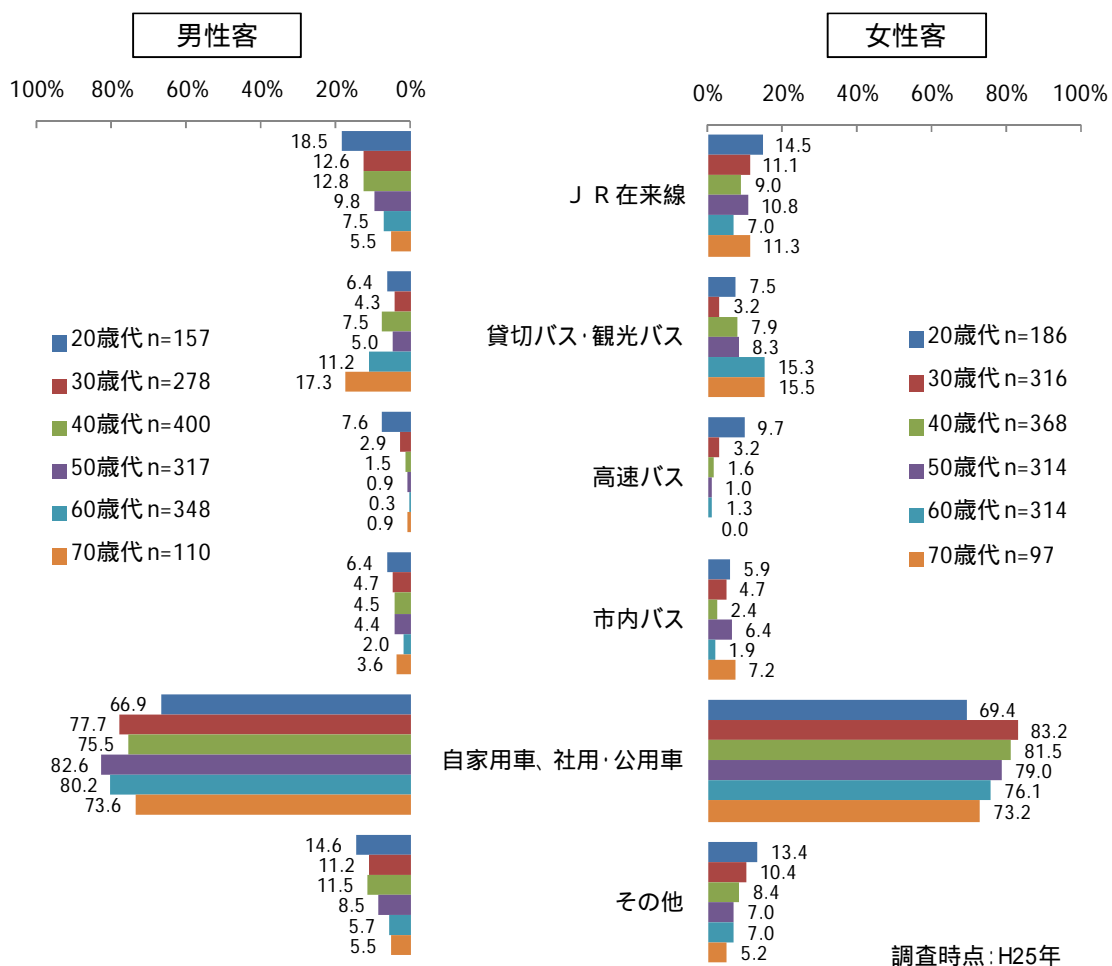
(2) 属性(性別・年代)別の観光客の特徴

アンケート回答者の属性(性別及び年代)別に特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

- 観光客の交通手段
- 観光客の旅行目的
- 旅行計画の参考資料
- 宿泊の有無

観光客の交通手段

交通手段は、性別・年代を問わず「自家用車、社用・公用車」が最も高くなっているが、20歳代では男女ともJR在来線や高速バスが利用されており、相対的に自動車利用が低くなっている。60歳代以上では貸切バス・観光バスの利用が多くなっている。



* 複数回答

観光客の旅行目的

旅行目的の割合が高い上位3項目をみると、「自然を楽しむ」は男女ともに全ての年代で高くなっており、「温泉を楽しむ」も20歳代女性以外で高くなっている。ほかに男性は20・40歳代で「行楽(遊園地、観光施設等)」、30・50歳代では「ショッピング」、60・70歳代になると「名所・旧跡・歴史」の割合が高くなっている。女性は20～40歳代で「行楽(遊園地、観光施設等)」、50・60歳代では「歴史・旧跡・名所」の割合が高い。また、20・70歳代で「ショッピング」の割合が高くなっている。

男女で大きな差はみられなかったが、「名所・旧跡・歴史」では男性が、「文化・芸術」では女性がやや多くなっている。

なお、サンプル数が40未満となった年齢層は表から除外している。

男性	20歳代 (n=157)	30歳代 (n=278)	40歳代 (n=400)	50歳代 (n=317)	60歳代 (n=348)	70歳代 (n=110)	合計 (n=1654)
自然を楽しむ	26.8	37.1	36.3	36.6	37.4	32.7	35.1
温泉を楽しむ	28.7	23.4	24.3	25.6	28.7	35.5	26.4
名所・旧跡・歴史	14.6	15.8	19.0	16.1	23.3	25.5	18.6
行楽(遊園地、観光施設等)	29.9	18.0	22.0	10.4	8.9	6.4	16.2
慰安旅行	3.8	3.2	2.3	2.5	2.0	2.7	2.6
登山・トレッキング	1.3	2.9	1.8	3.5	2.9	0.0	2.4
スポーツ・レクリエーション	1.9	7.6	6.8	5.7	2.0	0.9	4.7
収穫体験	1.9	2.9	2.8	1.6	2.3	1.8	2.4
ものづくり体験	0.6	0.4	0.5	0.0	0.3	0.0	0.3
ショッピング	15.9	25.9	19.3	20.2	18.1	9.1	19.2
郷土料理	3.2	6.5	5.8	3.5	5.5	2.7	4.8
文化・芸術	6.4	5.0	7.0	8.2	8.0	13.6	7.8
祭り・イベント	0.6	2.9	1.5	1.3	0.9	0.9	1.4
保養・休養	7.0	6.5	6.5	7.6	8.6	7.3	7.3
旅先での出会い・交流	1.9	0.0	0.5	0.6	0.3	0.9	0.6
目的地とは別の立寄り	0.0	1.1	0.8	1.6	2.0	4.5	1.4
その他	5.1	7.6	8.8	15.1	12.6	19.1	10.9
不明	4.5	2.2	2.8	2.5	6.3	3.6	3.7
サンプル数	157	278	400	317	348	110	1654

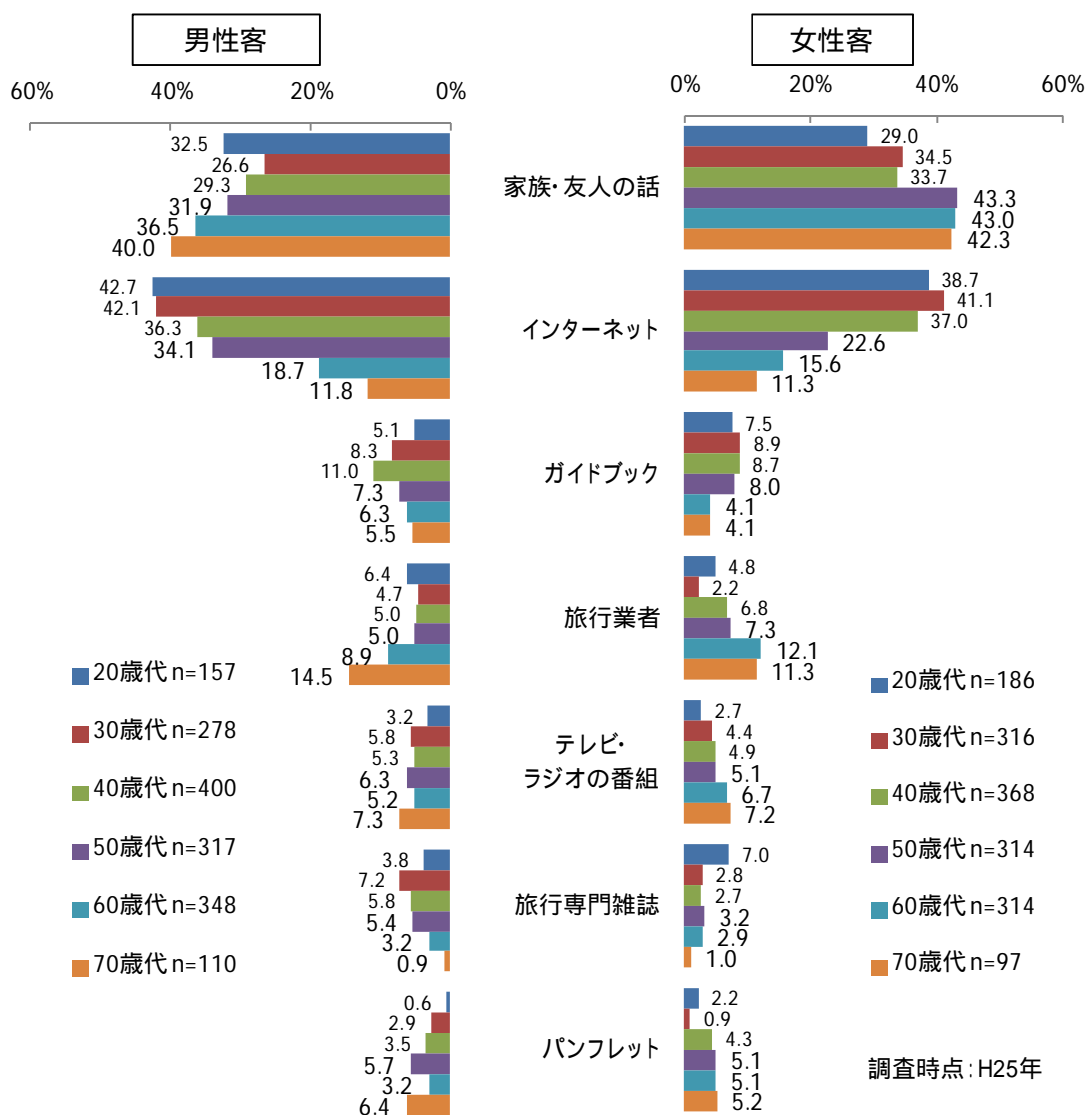
女性	20歳代 (n=186)	30歳代 (n=316)	40歳代 (n=368)	50歳代 (n=314)	60歳代 (n=314)	70歳代 (n=97)	合計 (n=1656)
自然を楽しむ	30.6	31.3	31.5	33.8	35.4	34.0	32.1
温泉を楽しむ	18.3	28.5	24.5	34.4	26.8	27.8	26.9
名所・旧跡・歴史	11.8	13.6	10.9	17.2	18.2	13.4	14.2
行楽(遊園地、観光施設等)	34.9	24.1	25.8	7.0	8.3	12.4	19.1
慰安旅行	1.1	1.3	0.5	1.3	0.6	0.0	1.0
登山・トレッキング	2.2	1.6	1.9	1.3	1.6	0.0	1.6
スポーツ・レクリエーション	2.2	4.7	4.6	1.0	2.2	3.1	3.0
収穫体験	1.6	6.0	2.4	2.9	3.8	2.1	3.3
ものづくり体験	0.5	0.6	0.3	0.6	0.3	1.0	0.5
ショッピング	23.1	19.3	16.8	15.0	16.9	19.6	17.8
郷土料理	2.2	5.7	4.1	4.1	6.4	1.0	4.3
文化・芸術	5.9	7.0	11.4	12.1	15.6	16.5	11.5
祭り・イベント	3.2	1.9	2.2	1.3	2.2	2.1	2.1
保養・休養	3.8	6.6	5.4	8.9	8.3	8.2	6.8
旅先での出会い・交流	1.6	0.6	0.5	0.0	0.0	2.1	0.6
目的地とは別の立寄り	1.1	1.9	1.9	2.2	1.9	4.1	2.0
その他	7.0	8.5	10.6	13.7	12.1	11.3	10.9
不明	3.2	1.6	2.4	4.5	3.2	2.1	2.8
サンプル数	186	316	368	314	314	97	1656

■ 上位3項目

* 複数回答

旅行計画の参考資料

旅行の際に参考にする資料は、ほぼ全ての年代・性別で「家族・友人の話」は高い割合となっているが、20～50歳代の男性と20～40歳代の女性では「インターネット」が最も高くなっている。

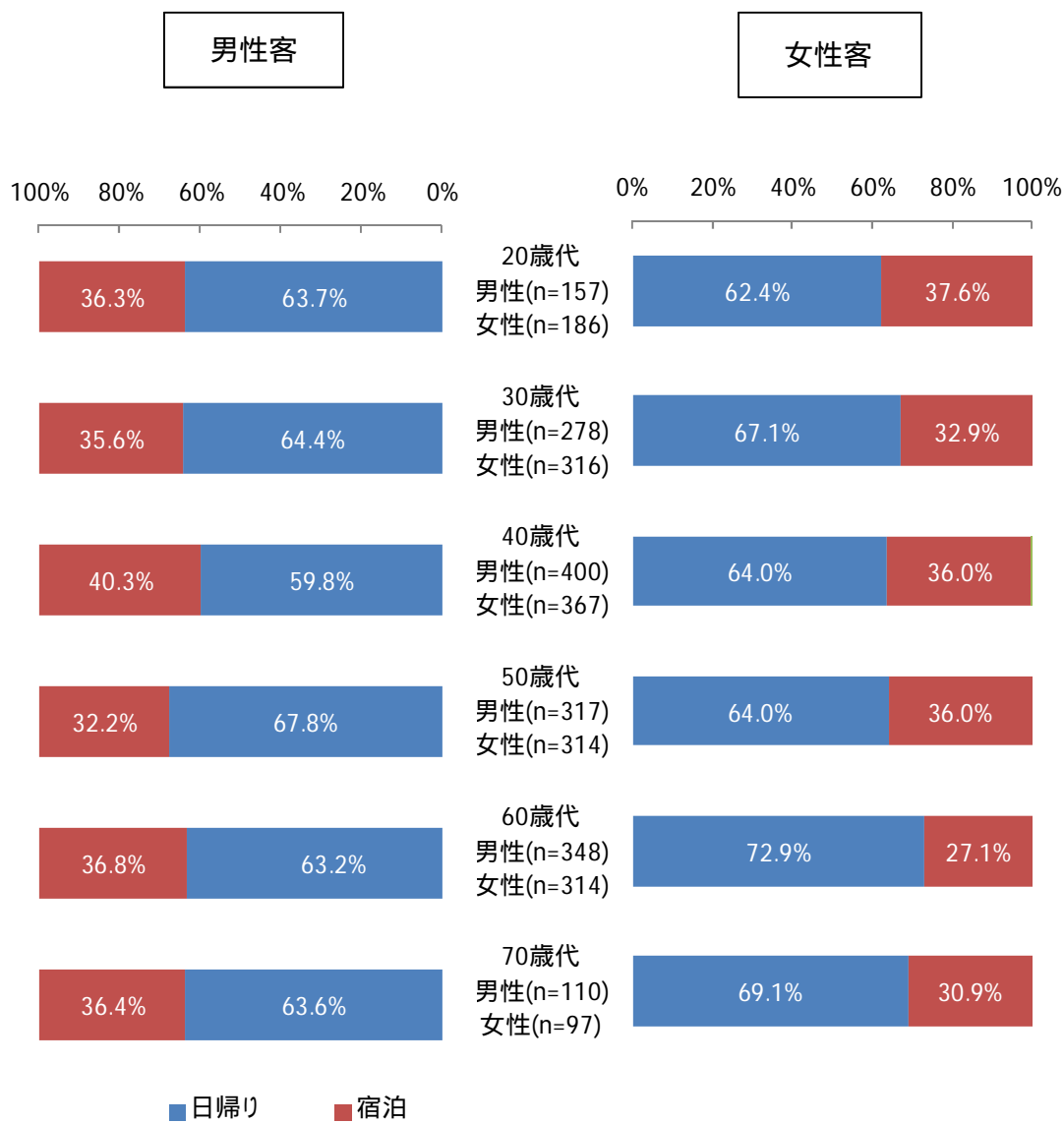


調査時点: H25年

* 複数回答

宿泊の有無

属性別に旅行形態（宿泊か日帰りか）を分析すると、男女ともに年代間で大きな差異はみられないが、50歳代の男性と60歳代の女性で宿泊の割合がやや少なくなっている。



調査時点：H25年

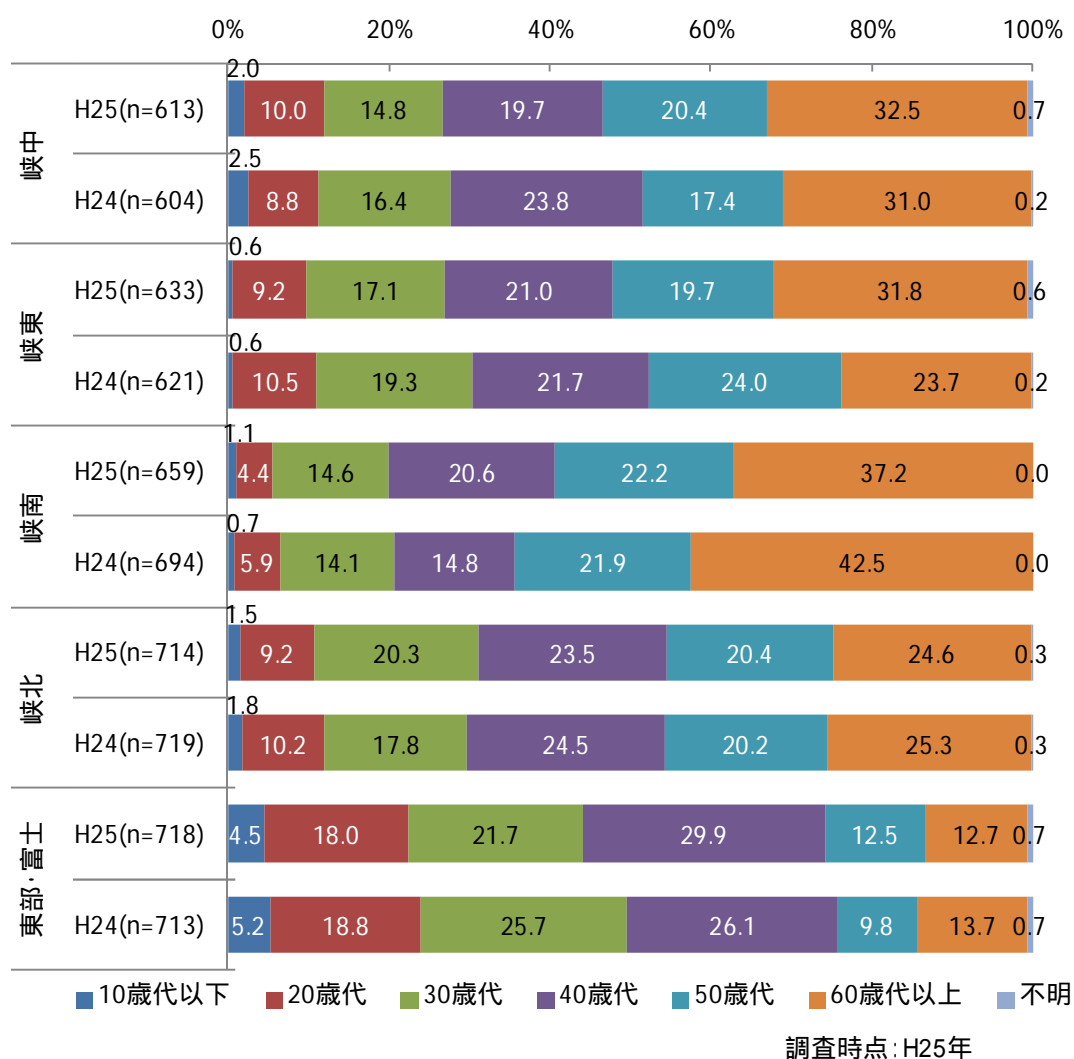
(3) 圏域別の観光客の特徴

圏域別の観光客の特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

- アンケート回答者の属性
- 観光客の同行人数
- 観光客のグループ形態
- 宿泊の有無
- 観光客の満足度

アンケート回答者の属性

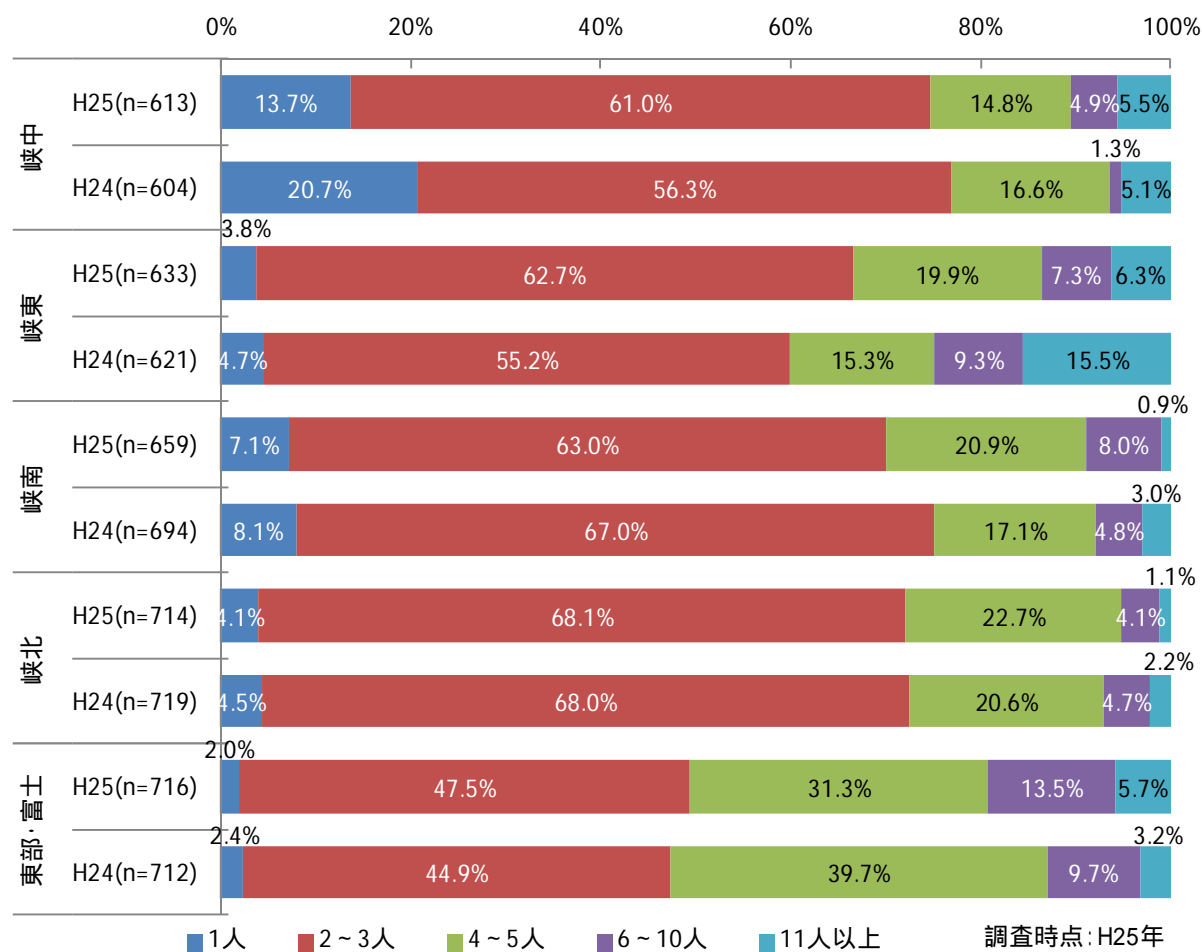
圏域別の年代構成をみると、「峡中」、「峡東」、「峡北」はほぼ県全体と同じ傾向を示しているが、「峡南」で50歳代以上が59.4%を占め、他の圏域よりも高齢者の割合が高くなっている。一方、「富士・東部」では40歳代以下が74.1%を占めている。



観光客の同行人数

圏域別に旅行者の同行者数を比較すると、いずれの圏域においても「2～3人」の割合が最も高いが、「富士・東部」では4人以上の割合が50.5%と他の圏域に比べて高くなっている。また、「峡中」では「1人」の割合が高い(13.7%)。前年と同じような傾向であった。

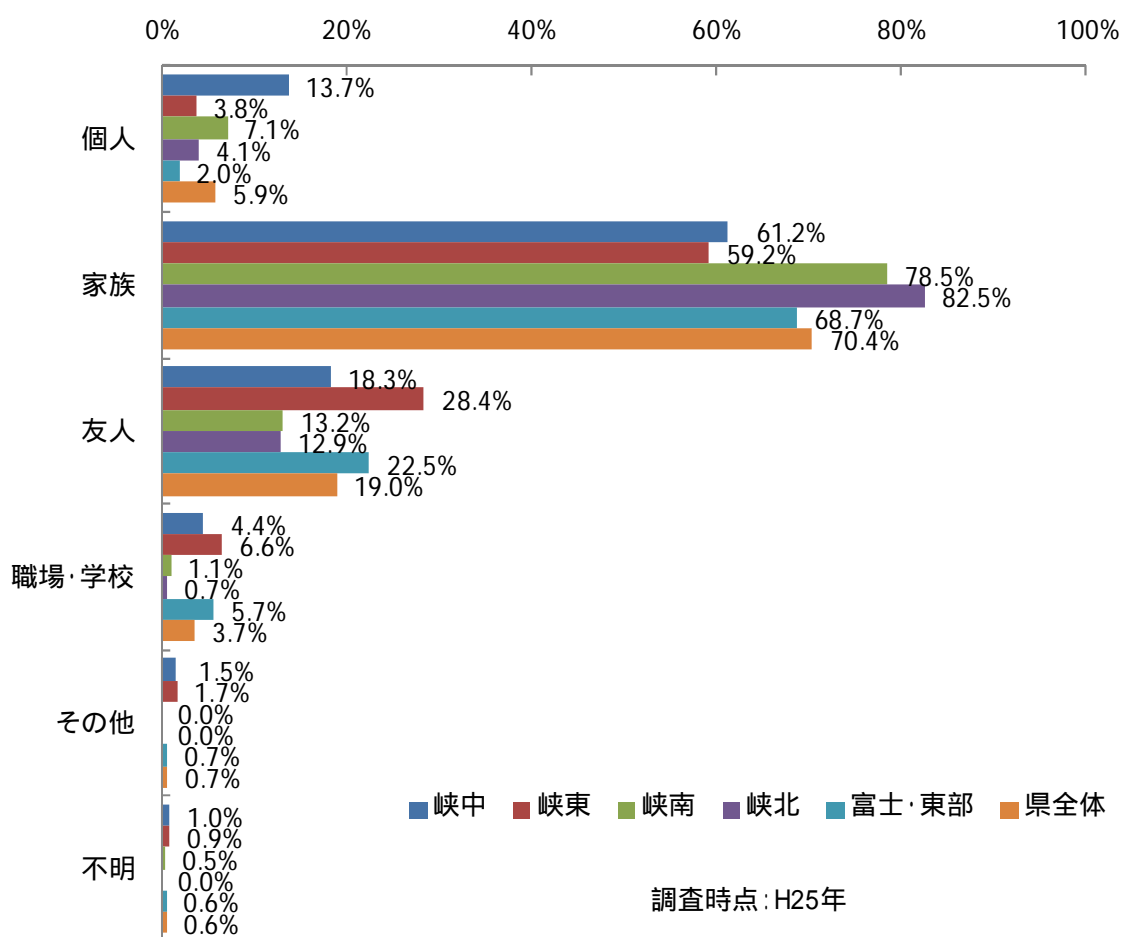
	峡中		峡東		峡南		峡北		東部・富士	
	H25(n=613)	H24(n=604)	H25(n=633)	H24(n=621)	H25(n=659)	H24(n=694)	H25(n=714)	H24(n=719)	H25(n=716)	H24(n=712)
1人	13.7%	20.7%	3.8%	4.7%	7.1%	8.1%	4.1%	4.5%	2.0%	2.4%
2～3人	61.0%	56.3%	62.7%	55.2%	63.0%	67.0%	68.1%	68.0%	47.5%	44.9%
4～5人	14.8%	16.6%	19.9%	15.3%	20.9%	17.1%	22.7%	20.6%	31.3%	39.7%
6～10人	4.9%	1.3%	7.3%	9.3%	8.0%	4.8%	4.1%	4.7%	13.5%	9.7%
11人以上	5.5%	5.1%	6.3%	15.5%	0.9%	3.0%	1.1%	2.2%	5.7%	3.2%



観光客のグループ形態

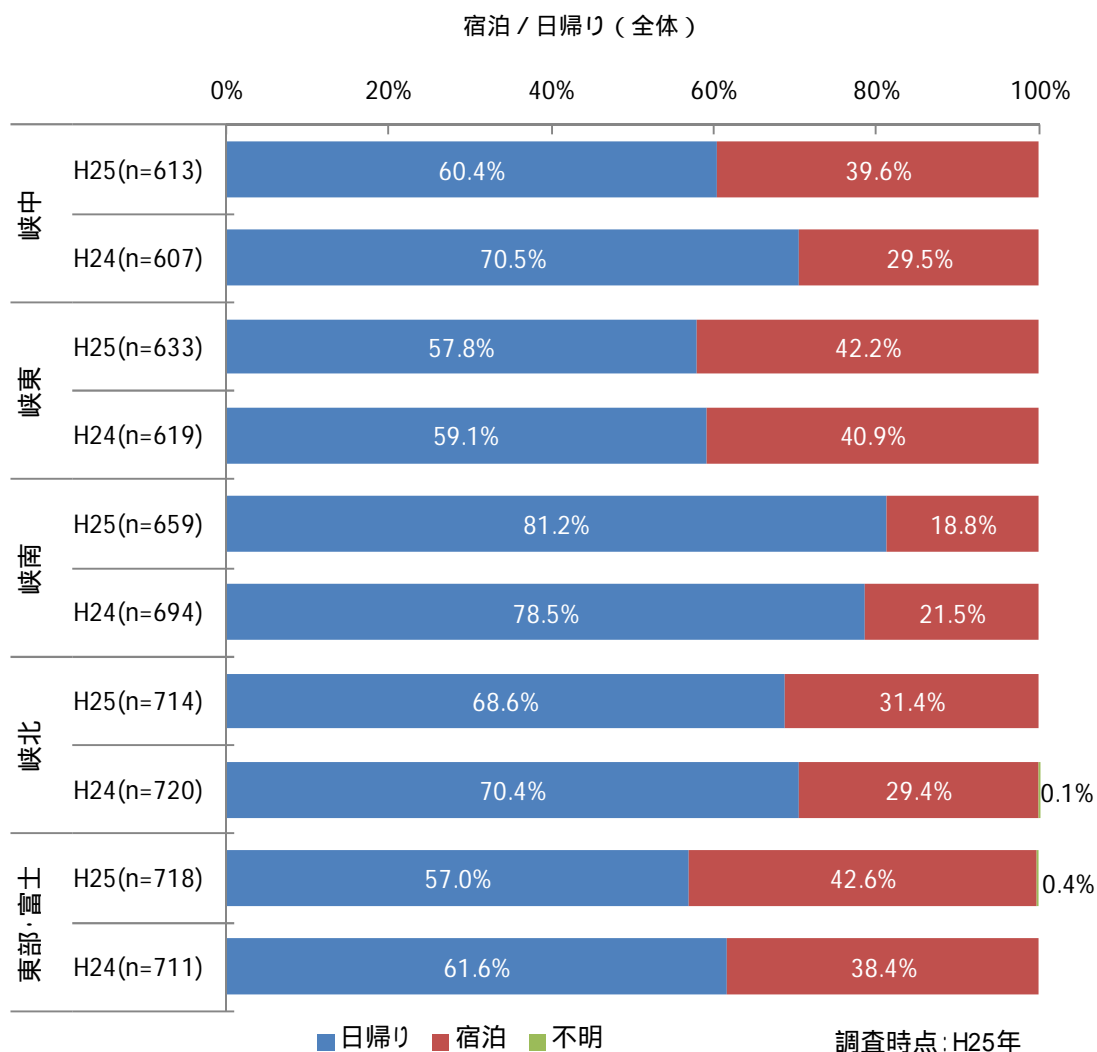
圏域別のグループ形態では、いずれの圏域も「家族」での旅行が最も多く、特に「峡北」では82.5%と高い割合となっている。

「峡東」では、「家族」が他圏域に比べて低くなっている代わりに、「友人」(28.4%)が高く、「峡中」では「個人」(13.7%)の割合が高い。



宿泊の有無

圏域別に旅行形態（宿泊か日帰りか）をみると、県外客と県内客を合わせた全体では「峡南」で「日帰り」の割合が81.2%となり、他圏域に比べ高くなっている。調査地の一つが県内客もよく利用する温泉施設であることが影響していると考えられる。「富士・東部」（42.8%）、「峡東」（42.2%）、「峡中」（39.6%）については、いずれも「宿泊」の割合が4割前後を占めている。



観光客の満足度

観光の分野別の満足度を、圏域別に比較した（ただし、「わからない」及び不明の回答は除く）。

峡中

全体的に県平均と比較して満足度が高い項目が多く、特に「山梨県全体の満足度」、「文化・歴史」、「食べ物」、「地元のおもてなし」などは他の圏域と比較して最も高くなっているが、おもてなしの「旅館」、「バス」、「土産品店」に対する満足度が、他の圏域と比較して最も低い。

峡東

おもてなしに関する項目では「地元のおもてなし」以外の全項目において県平均を上回っており、全体的な満足度も高い。その一方で、「道路整備」、「案内標識・看板」の満足度は他の圏域と比較して最も低い。

峡南

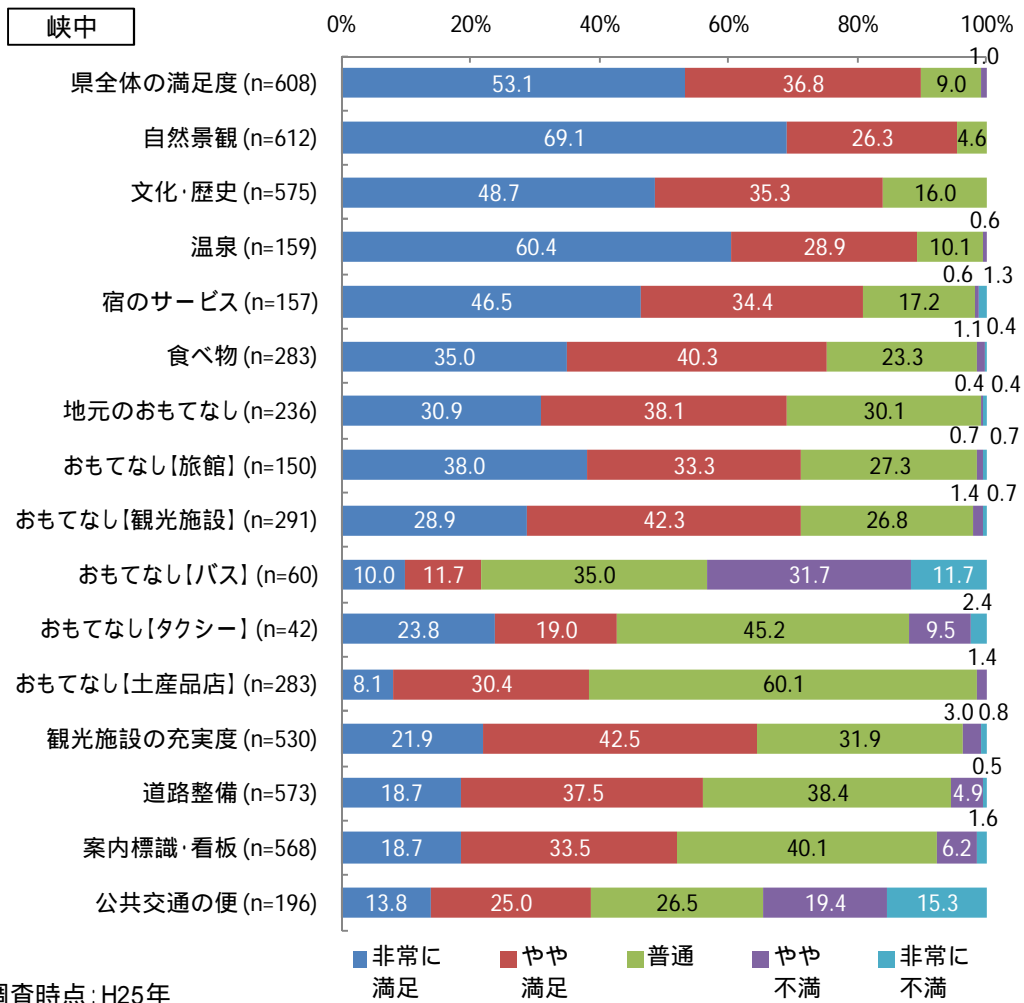
「県全体の満足度」は県平均を下回り、他の圏域と比較しても最も低くなっている。全体的にやや満足中心ではあるが、県平均と比較して満足度が高い項目が多く、「温泉」、「宿のサービス」、「おもてなし【旅館】」などで高くなっている。

峡北

「道路設備」、「案内標識・看板」については他の圏域と比較して最も高かったが、旅館や観光施設について、県平均を下回る項目が多い。また、サンプル数は少ないが、「おもてなし【タクシー】」の満足度は他の圏域と比較して最も低い。

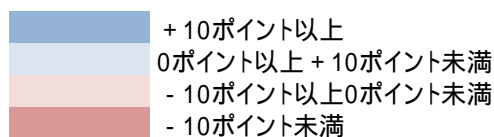
富士・東部

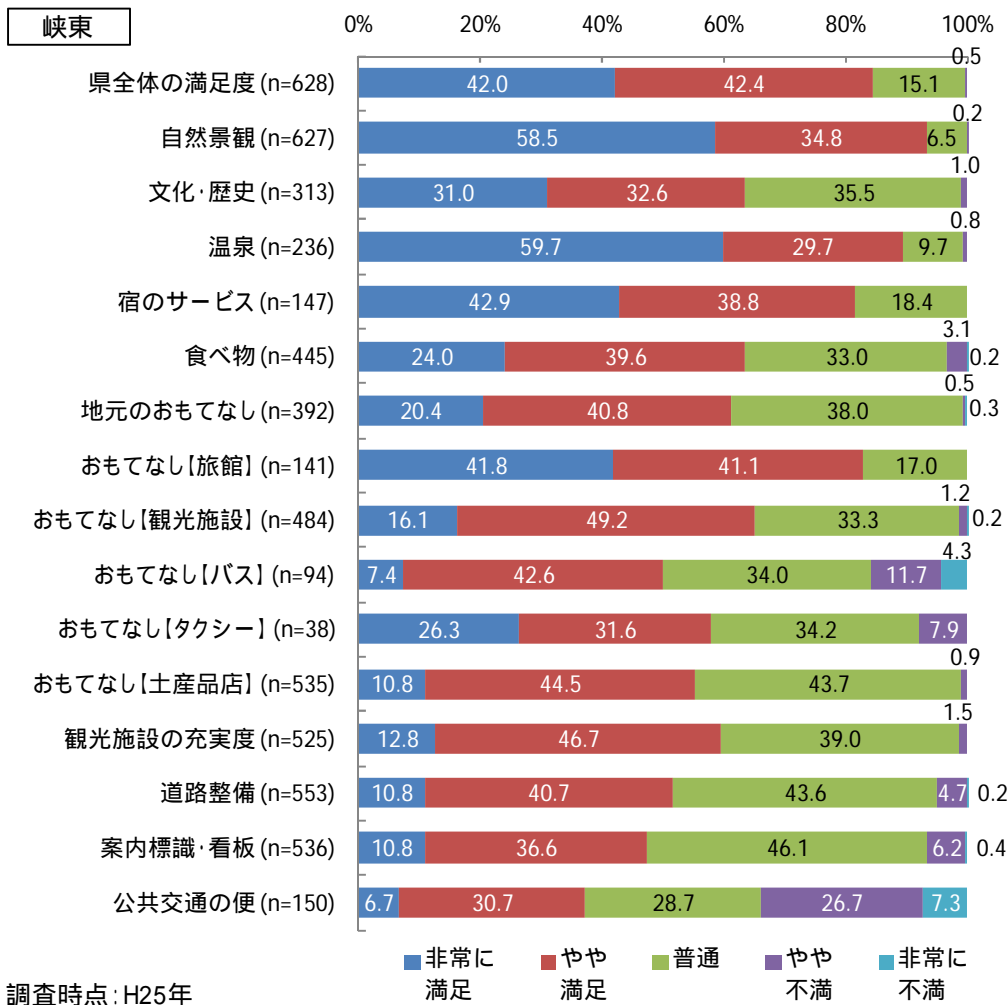
全体的にやや満足が低いため、満足度が県平均を下回る項目が多くなっている。一方で、交通に関する項目について満足度が高くなっており、特に「おもてなし【バス】【タクシー】」、「公共交通の便」などは、他の圏域と比較して大きく上回っている。



【県全体との差分】

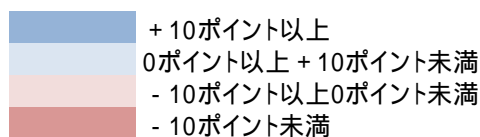
【峡中】県全体との比較	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=608)	12.6	-5.9	-7.0	0.4	-0.1
自然景観 (n=612)	6.6	-4.7	-1.6	-0.2	-0.0
文化・歴史 (n=575)	14.8	-2.0	-11.9	-0.8	-0.0
温泉 (n=159)	6.2	-4.3	-1.7	-0.3	0.0
宿のサービス (n=157)	6.5	-3.7	-3.4	-0.2	0.8
食べ物 (n=283)	7.8	-1.2	-5.3	-1.3	-0.0
地元のおもてなし (n=236)	10.3	-2.6	-7.1	-0.8	0.2
おもてなし【旅館】 (n=150)	3.3	-9.3	5.8	-0.2	0.4
おもてなし【観光施設】 (n=291)	8.4	-2.2	-5.8	-0.9	0.4
おもてなし【バス】 (n=60)	-4.5	-16.6	-2.2	17.9	5.3
おもてなし【タクシー】 (n=42)	-4.1	-9.5	9.9	3.4	0.3
おもてなし【土産品店】 (n=283)	-3.9	-10.1	14.6	-0.4	-0.2
観光施設の充実度 (n=530)	4.1	-1.3	-0.9	-2.2	0.3
道路整備 (n=573)	2.2	-3.3	2.1	-1.0	-0.1
案内標識・看板 (n=568)	2.4	-4.6	2.6	-0.9	0.5
公共交通の便 (n=196)	-0.4	0.6	-5.9	-0.6	6.3

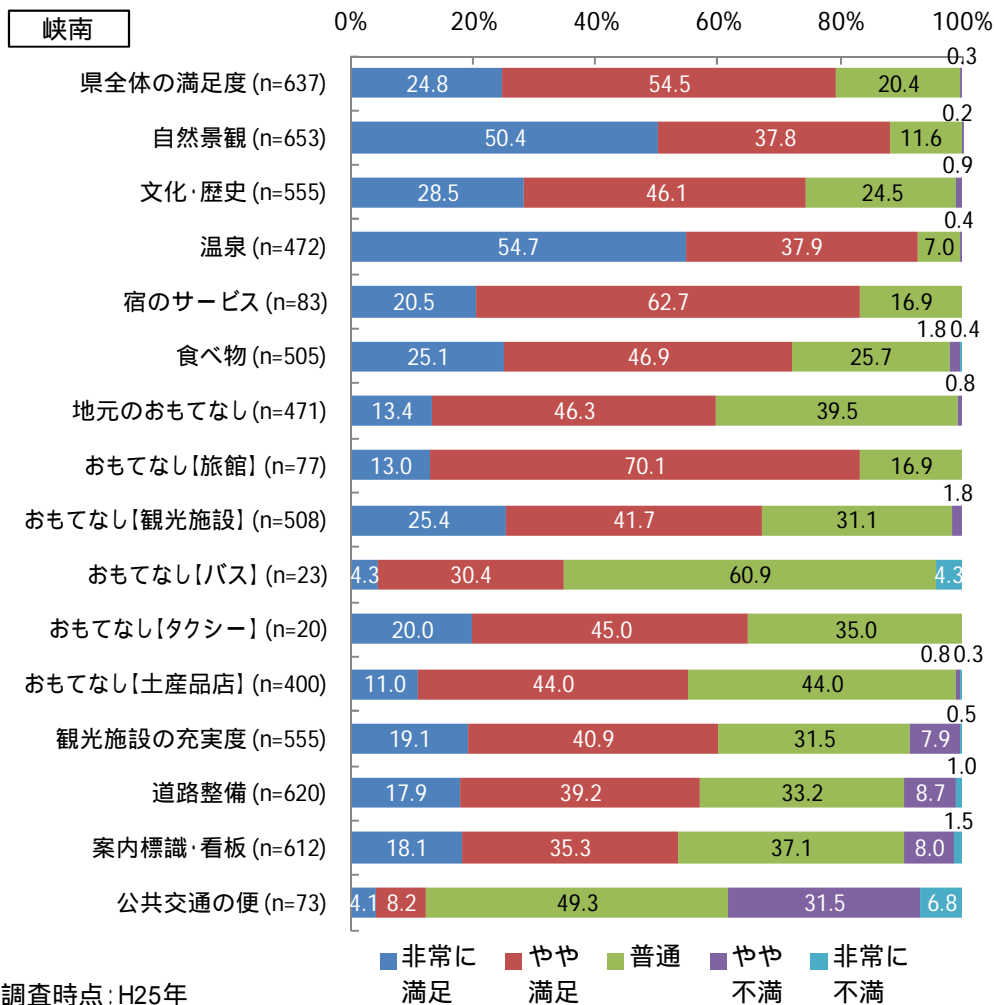




【県全体との差分】

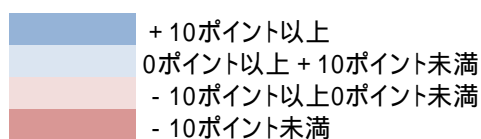
【峡東】県全体との比較	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=628)	1.5	-0.4	-0.9	-0.1	-0.1
自然景観 (n=627)	-4.0	3.8	0.3	-0.1	-0.0
文化・歴史 (n=313)	-2.9	-4.7	7.5	0.2	-0.0
温泉 (n=236)	5.6	-3.6	-2.0	-0.0	0.0
宿のサービス (n=147)	2.9	0.7	-2.2	-0.9	-0.4
食べ物 (n=445)	-3.2	-1.9	4.4	0.8	-0.2
地元のおもてなし (n=392)	-0.2	0.0	0.9	-0.7	0.0
おもてなし【旅館】 (n=141)	7.2	-1.5	-4.5	-0.9	-0.3
おもてなし【観光施設】 (n=484)	-4.3	4.8	0.7	-1.0	-0.1
おもてなし【バス】 (n=94)	-7.1	14.3	-3.1	-2.1	-2.1
おもてなし【タクシー】 (n=38)	-1.6	3.0	-1.2	1.8	-2.0
おもてなし【土産品店】 (n=535)	-1.2	4.0	-1.8	-0.8	-0.2
観光施設の充実度 (n=525)	-5.1	2.9	6.2	-3.7	-0.5
道路整備 (n=553)	-5.6	-0.1	7.3	-1.2	-0.4
案内標識・看板 (n=536)	-5.4	-1.5	8.5	-0.9	-0.7
公共交通の便 (n=150)	-7.5	6.3	-3.8	6.6	-1.6

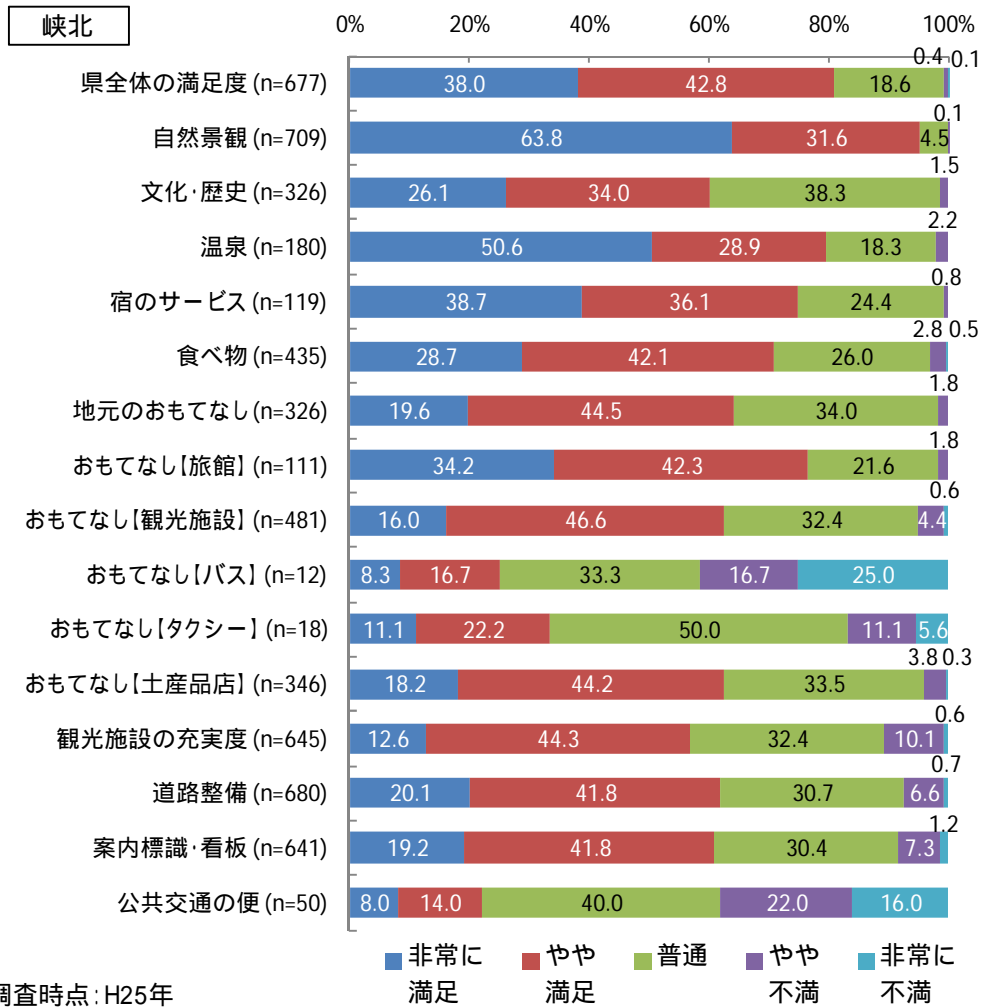




【県全体との差分】

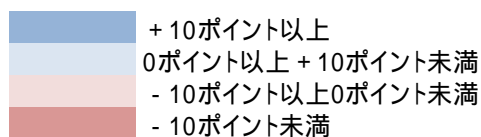
【峡南】県全体との比較	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=637)	-15.7	11.7	4.4	-0.2	-0.1
自然景観 (n=653)	-12.1	6.8	5.4	-0.1	-0.0
文化・歴史 (n=555)	-5.4	8.8	-3.4	0.1	-0.0
温泉 (n=472)	0.5	4.7	-4.8	-0.5	0.0
宿のサービス (n=83)	-19.5	24.5	-3.7	-0.9	-0.4
食べ物 (n=505)	-2.1	5.5	-2.9	-0.5	0.0
地元のおもてなし (n=471)	-7.2	5.5	2.3	-0.4	-0.2
おもてなし【旅館】 (n=77)	-21.7	27.5	-4.6	-0.9	-0.3
おもてなし【観光施設】 (n=508)	4.9	-2.7	-1.5	-0.5	-0.3
おもてなし【バス】 (n=23)	-10.2	2.2	23.7	-13.8	-2.0
おもてなし【タクシー】 (n=20)	-7.9	16.4	-0.4	-6.1	-2.0
おもてなし【土産品店】 (n=400)	-1.0	3.5	-1.5	-1.0	0.1
観光施設の充実度 (n=555)	1.3	-2.8	-1.3	2.7	0.1
道路整備 (n=620)	1.4	-1.6	-3.0	2.8	0.4
案内標識・看板 (n=612)	1.9	-2.7	-0.5	0.9	0.4
公共交通の便 (n=73)	-10.1	-16.1	16.9	11.5	-2.1

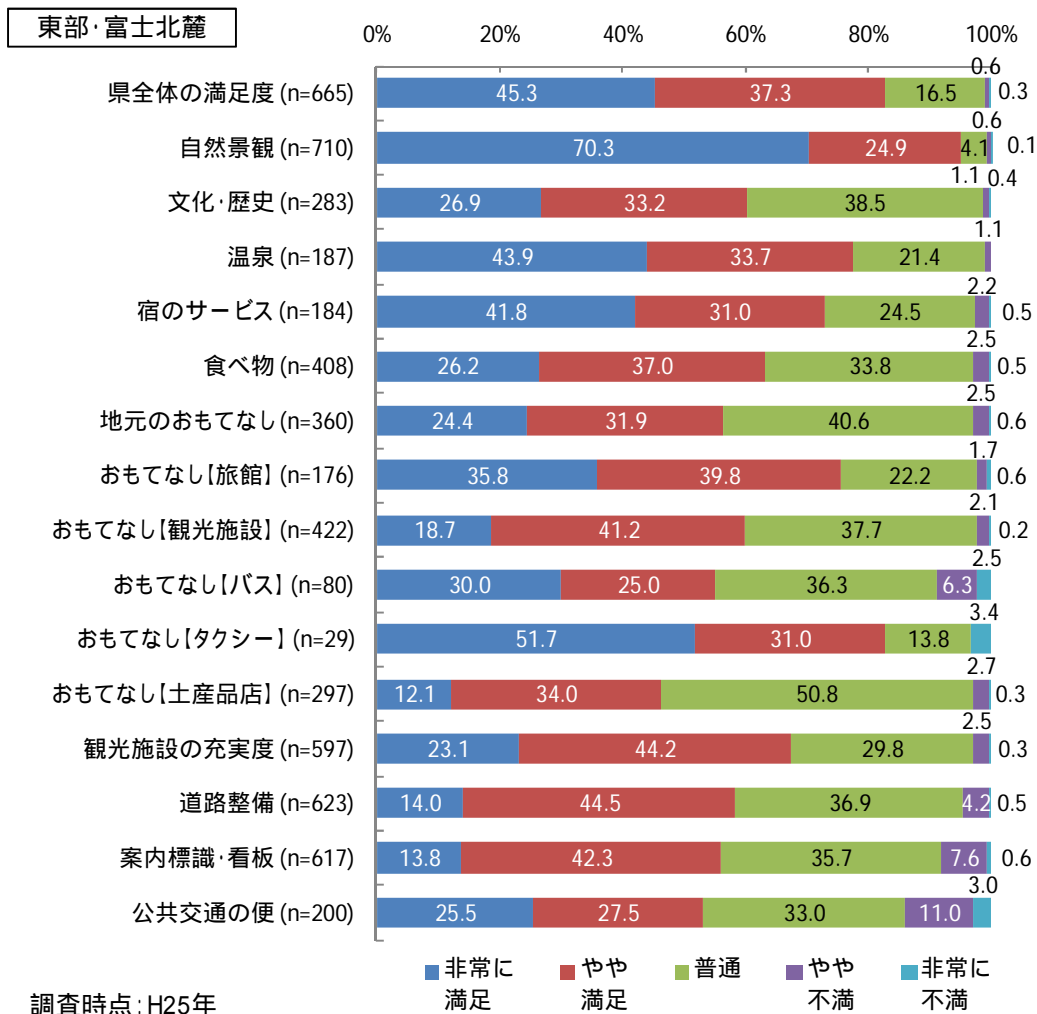




【県全体との差分】

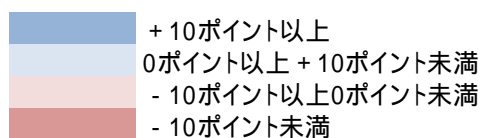
【峡北】県全体との比較	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=677)	-2.6	0.1	2.6	-0.1	0.1
自然景観 (n=709)	1.2	0.6	-1.7	-0.1	-0.0
文化・歴史 (n=326)	-7.8	-3.3	10.4	0.8	-0.0
温泉 (n=180)	-3.6	-4.3	6.6	1.3	0.0
宿のサービス (n=119)	-1.3	-2.0	3.8	-0.0	-0.4
食べ物 (n=435)	1.5	0.6	-2.6	0.4	0.1
地元のおもてなし (n=326)	-1.0	3.7	-3.1	0.6	-0.2
おもてなし【旅館】 (n=111)	-0.4	-0.3	0.1	0.9	-0.3
おもてなし【観光施設】 (n=481)	-4.4	2.2	-0.1	2.1	0.3
おもてなし【バス】 (n=12)	-6.2	-11.6	-3.8	2.9	18.7
おもてなし【タクシー】 (n=18)	-16.8	-6.3	14.6	5.0	3.5
おもてなし【土産品店】 (n=346)	6.2	3.7	-12.0	2.0	0.1
観光施設の充実度 (n=645)	-5.3	0.6	-0.4	4.9	0.2
道路整備 (n=680)	3.7	1.0	-5.5	0.7	0.1
案内標識・看板 (n=641)	2.9	3.8	-7.1	0.2	0.2
公共交通の便 (n=50)	-6.2	-10.4	7.6	2.0	7.0



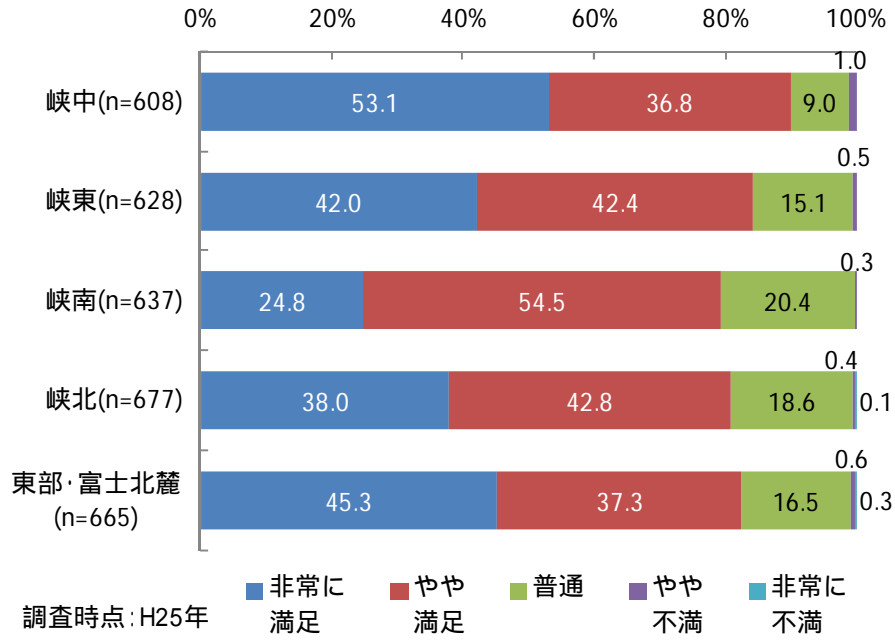


【県全体との差分】

【東部・富士北麓】県全体との比較	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=665)	4.7	-5.5	0.5	0.0	0.2
自然景観 (n=710)	7.8	-6.1	-2.1	0.4	0.1
文化・歴史 (n=283)	-7.1	-4.1	10.6	0.3	0.3
温泉 (n=187)	-10.3	0.5	9.6	0.2	0.0
宿のサービス (n=184)	1.8	-7.1	3.9	1.3	0.1
食べ物 (n=408)	-1.0	-4.5	5.2	0.1	0.1
地元のおもてなし (n=360)	3.8	-8.8	3.4	1.3	0.3
おもてなし【旅館】 (n=176)	1.1	-2.8	0.6	0.8	0.3
おもてなし【観光施設】 (n=422)	-1.7	-3.2	5.1	-0.1	-0.1
おもてなし【バス】 (n=80)	15.5	-3.3	-0.9	-7.5	-3.8
おもてなし【タクシー】 (n=29)	23.8	2.5	-21.6	-6.1	1.4
おもてなし【土産品店】 (n=297)	0.1	-6.5	5.3	0.9	0.2
観光施設の充実度 (n=597)	5.3	0.5	-3.0	-2.7	-0.1
道路整備 (n=623)	-2.5	3.7	0.6	-1.7	-0.1
案内標識・看板 (n=617)	-2.5	4.3	-1.9	0.5	-0.4
公共交通の便 (n=200)	11.3	3.1	0.6	-9.0	-6.0



【山梨県全体の満足度】



Q8 . 旅行を計画されるにあたって主に何を参考にされましたか。(複数回答可)

- 1.家族・友人の話 2.観光案内所・情報センター 3.旅行者 4.テレビ・ラジオの番組
 5.テレビ・ラジオのCM 6.インターネット 7.新聞・雑誌の記事 8.新聞・雑誌の広告・チラシ
 9.ガイドブック 10.旅行専門雑誌 11.旅行・歴史等に関する本、小説
 12.観光物産展、キャンペーン 13.パンフレット 14.駅・車内のポスター 15.その他()

Q9 . 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。
 また、当県に訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)都道府県があれば記入下さい。

		ここに来る前にいた場所		現在地	これから行く予定の場所			
居住地	→		→	調査地点	→		→	居住地
		交通機関		交通機関	交通機関			
		〔 〕		〔 〕	〔 〕			

【表】交通機関

J R 新幹線	J R 在来線	私鉄・地下鉄	モノレール	貸切バス・観光バス
高速バス	市内バス	市内電車	タクシー・ハイヤー	
レンタカー	自家用車、社用・公用車	その他		

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください

		ここに来る前にいた県		現在地	これから行く予定の県			
居住地	→	県	→	当 県	→	県	→	居住地
		交通機関			交通機関			
		〔 〕			〔 〕			

交通機関は上表から選択

Q10 . 今回の旅行で、使う費用(これから使う予定も含めて)を教えてください。

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入

今回の旅行がパック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択

	使用費用		使用費用	
交通費	(県内分)	円	(県外分)	円
宿泊費	(県内分)	円		
土産代	(県内分)	円		
飲食費	(県内分)	円		
入場料	(県内分)	円		
その他	(県内分)	円		
パック料金				円
			↑ 県内分のみ	もしくは 県外分含む

Q1 1 . 今回の山梨県内の旅行での満足度をお答え下さい。(該当するもの 印をつけて下さい)

	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない
1 .山梨県全体の満足度	1	2	3	4	5	6
2 . 自然景観	1	2	3	4	5	6
3 . 文化・歴史	1	2	3	4	5	6
4 . 温泉	1	2	3	4	5	6
5 . 宿のサービス	1	2	3	4	5	6
6 . 食べ物	1	2	3	4	5	6
7 . 旅先でのおもてなし	1	2	3	4	5	6
旅館等	1	2	3	4	5	6
観光施設	1	2	3	4	5	6
バス	1	2	3	4	5	6
タクシー	1	2	3	4	5	6
土産品店	1	2	3	4	5	6
8 . 観光施設の充実度	1	2	3	4	5	6
9 . 道路整備	1	2	3	4	5	6
10 . 案内標識・看板	1	2	3	4	5	6
11 . 公共交通の便	1	2	3	4	5	6

Q 1 2 . 県外又は外国にお住まいの方に伺います。また山梨に来てみたいと思いますか。

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1 . すごくそう思う | 2 . やや思う | 3 . どちらでもない |
| 4 . あまり思わない | 5 . 全く思わない | |

Q 1 3 . 山梨県では、皆さまに気軽に何度でも訪れていただける観光地づくりを目指しています。ご意見を自由にご記入下さい。

調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。

調査票コード	都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
1. 観_共通_日				:	

調査員記入欄

調査地点名 :	調査年月日 : 平成 年 月 日
調査員名 :	調査時刻 : (:)